

公立大学法人広島市立大学の概要

平成 3 0 年 6 月

公立大学法人

広島市立大学

目 次

項 目

ページ

1 大学の概要

(1) 建学の基本理念	1
(2) 沿革	1
(3) 運営組織	(平成30年4月1日時点)	2
(4) 学部、大学院、附置研究所の概要	(平成30年4月1日時点)	3
(5) 附属施設の概要(概要)	(平成29年度実績)	7
	(利用状況)	7
(6) 施設	(平成30年4月1日時点)	9
(7) 学年暦	(平成30年度)	11
(8) 教職員数(平成30年度)	(平成30年5月1日時点)	12
	(平成29年度) (平成29年5月1日時点)	13
(9) 学生数	(平成30年5月1日時点)	14
(10) 研究生・留学生等	(平成29年度)	14
(11) 入学検定料、入学料、授業料等	(平成30年4月1日時点)	15

2 教育・研究

(1) 人材育成の目標及び各ポリシー	16
(2) 特色ある講義科目	(平成30年度)	36
(3) 外部資金の獲得状況	(平成25年度～29年度)	39
(4) 科学研究費補助金の内訳	(平成29年度)	40
(5) 研究開発費助成制度等の採択状況	(平成21年度～29年度)	45
(6) FD・SD活動実施状況	(平成29年度)	51

3 入学試験

(1) 入学試験の概要(学部)	(平成31年度入試)	53
	(大学院) (平成31年度入試)	54
(2) 入学試験実施状況	(平成30年度入試)	55
(3) 年次別競争率等	(平成21年度～30年度入試)	57
(4) 入学者の状況(出身都道府県別内訳(学部))	(平成26年度～30年度)	58
(5) 社会人入試(大学院)の状況(募集人員等)	(平成30年度入試)	59
	(入学者数) (平成25年度～29年度)	59

4 学生生活

(1) 学生の受賞状況	(平成29年度)	60
-------------	----------------	----

目 次

項 目

ページ

5 就職

(1) 就職・進学等			
ア 学部別の状況	(平成29年度)	63
イ 就職率の推移	(平成19年度～29年度)	64
(2) 就職先の構成比			
ア 業種別	(平成29年度卒)	65
イ 地域別	(平成29年度卒)	66
(3) 就職先企業等一覧	(平成29年度)	67

6 社会連携

(1) 産学官連携			
ア 推進体制	(平成30年4月1日時点)	70
イ 研究・事業等の実施状況	(平成19年度～29年度)	70
(2) 地域連携			
ア 公開講座	(平成29年度)	73
イ その他の事業	(平成29年度)	80
ウ 広島市等の審議会委員等の就任状況	(平成29年度)	81
(3) 高大連携			
ア 教育ネットワーク中国における高大連携	(平成29年度)	85
イ 広島市教育委員会との高大連携講座	(平成29年度)	85
ウ 高校での模擬授業の開催	(平成29年度)	85
(4) その他の連携	(平成30年4月1日時点)	87

7 国際交流

(1) 海外学術交流協定校	(平成30年4月1日時点)	89
(2) 学生交流に関する覚書締結校	(平成30年4月1日時点)	89
(3) 国際交流事業実績	(平成29年度)	89

1 大学の概要

(1) 建学の基本理念

「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」

(2) 沿革

- 平成元年11月 広島市立大学（仮称）設立準備委員会を設置
- 平成3年7月 「広島市立大学（仮称）基本構想」策定
- 平成4年11月 校舎建設工事起工式
- 平成5年12月 文部省設置認可
- 平成6年4月 **開学**
- 平成8年10月 講堂完成
- 平成10年4月 **大学院博士前期課程開設。広島平和研究所を設置**
- 平成12年3月 情報科学部棟別館完成
- 平成12年4月 **大学院博士後期課程開設**
- 平成15年3月 大学院芸術学研究科博士後期課程で最初の博士学位授与
- 平成15年4月 情報科学部情報数理学科、大学院情報科学研究科博士前期課程情報数理学専攻を、それぞれ情報メディア工学科、情報メディア工学専攻に名称変更
- 平成19年4月 情報科学部を情報メディア工学科、情報工学科、知能情報システム工学科、情報機械システム工学科の4学科から情報工学科、知能工学科、システム工学科の3学科に再編（平成19年度入学生より）
大学院情報科学研究科博士前期課程を情報メディア工学専攻、情報工学専攻、知能情報システム工学専攻、情報機械システム工学専攻から情報工学専攻、知能工学専攻、システム工学専攻、創造科学専攻に再編（平成19年度入学生より）
- 平成19年7月 社会連携センターを設置
- 平成22年4月 「広島市」から「公立大学法人広島市立大学」に設置者変更
- 平成24年4月 情報科学部を情報工学科、知能工学科、システム工学科の3学科から情報工学科、知能工学科、システム工学科、医用情報科学科の4学科に再編（平成24年度入学生より）
- 平成25年4月 大学院芸術学研究科博士前期課程を絵画専攻、彫刻専攻、造形計画専攻の3専攻から、造形芸術専攻の1専攻に再編（平成25年度入学生より）
国際交流推進センターを設置
- 平成25年10月 サテライトキャンパスを開設
- 平成26年4月 キャリアセンターを設置
- 平成28年4月 大学院情報科学研究科博士前期課程創造科学専攻を医用情報科学専攻に名称変更（平成28年度入学生より）
- 平成28年10月 COC+宮島教育研究施設（サテライトハウス宮島）を開設
- 平成30年4月 国際学生寮「さくら」を開寮

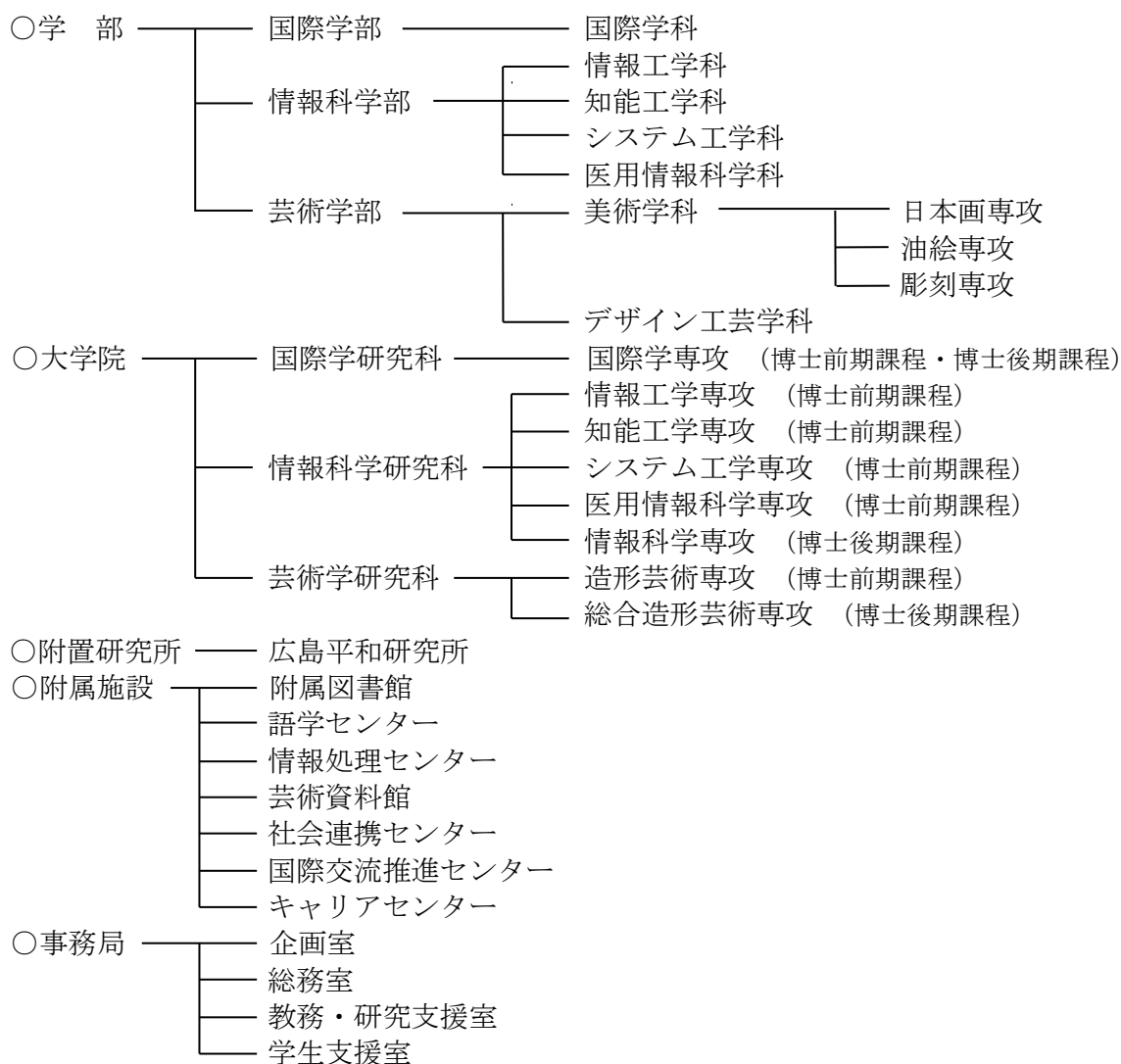
(3) 運営組織（平成 30 年 4 月 1 日時点）

ア 公立大学法人広島市立大学の概要

- ・ 所在地
広島市安佐南区大塚東三丁目 4 番 1 号
- ・ 設立年月日
平成 22 年 4 月 1 日
- ・ 資本金
155 億 1,019 万 1,000 円
(広島市出資額 155 億 1,019 万 1,000 円 出資割合 100%)
- ・ 役員

役職名	氏名	備考
理事長	青木 信之	学長
理事（企画・戦略担当）	若林 真一	副学長（企画・戦略担当）
理事（教育・研究担当）	前川 義春	副学長（教育・研究担当）
理事（総務・危機管理担当）	重村 隆彦	事務局長
理事（非常勤）	今中 亘	元(株)中国新聞社社長
理事（非常勤）	牟田 泰三	元広島大学学長
監事（非常勤）	大本 和則	弁護士
監事（非常勤）	吉中 邦彦	公認会計士

イ 構成図



(4) 学部、大学院、附置研究所の概要（平成30年4月1日時点）

ア 学部／大学院

(7) 国際学部／大学院国際学研究科

a 教育方針

(a) 国際学部：

国際学部は、異質で多様な知識を、単なる情報としてではなく、問題の解決に役立つべく統合された新しい知として身につけ、世界各地の違いのあり方を尊重し、共生の必要性を理解できる国際的な感覚を備えた人材を育成することを目的としている。真の国際人を目指し、5つのプログラム（「国際政治・平和」、「公共政策・NPO」、「多文化共生」、「言語・コミュニケーション」、「国際ビジネス」）を柱とした学際的なカリキュラムを設け、学生の関心や将来目的に応じた多様な履修形態を可能にするとともに、学生同士や教員としっかりとした議論ができるように、少人数による演習科目を重視している。

(b) 大学院国際学研究科：

博士前期課程においては、国際研究の先導的な役割を担うとともに、国際社会の問題点や課題を自ら発見し、解決できる実践的な真の国際人の養成と、高度で先端的な国際研究に携わることのできる教育・研究者の育成を目指している。

博士後期課程においては、新しい時代の要請に応じて、国際社会の文化、政治、経済、教育、科学、産業等、様々な分野において指導的役割を果たしうる高度な専門職業人及び高度で先端的な学際的研究に携わる能力を備えた教育・研究者の育成を目指している。

b 研究活動状況

学際的な学術研究やコロキウム形式による国際的な研究交流活動などを行っている。その研究成果を学術書の公刊や国内外の学会、シンポジウム等において研究発表するとともに、公開講演会、公開講座を通して地域社会への還元を行っている。

また、平成14年度より、本学部教員が独自に開発したコンピュータ・ネットワークによる英語集中教育プログラム（※注）を正規の英語科目として導入したほか、本プログラムを本市の生涯学習施設が主催するリカレント教育事業の一環として取り入れるとともに、公民館等でも市民向けの講座を開催している。

※注：英語の語学力のうち、主に「聞く」「読む」の2技能をより高い水準に向上させることを目的に、コンピュータ・ネットワークを利用して英語学習を実施するもので、将来的にはインターネットによる受講により市民を対象とした在宅での英語の授業実施を目指している。

(1) 情報科学部／大学院情報科学研究科

a 教育方針

(a) 情報科学部：

情報科学を統合する視点に立って、理論的な基礎や情報メディアからコンピュータ、人工知能、ヒューマンインタフェース及びこれらを統合したロボットなどの各種システムに至るまで、幅広く情報科学に関する専門的な教育研究を行っている。

また、高速なキャンパス情報ネットワークと多数のコンピュータを活用し、電子メールや掲示板などによる学生相互の情報交換やレポート提出、インターネット上に公開されている情報の調査や調査研究結果の公表など、知的生産のためにコンピュータを道具として有効活用できる人材を育成している。

さらに、21世紀の知的社会で、問題解決ができる人材を育成するため、実践、実習、演習、口頭発表などの体験的・総合的学習を重視した教育プログラムや、論理的思考の訓練や発表・表現の手段としての言語（日本語、英語及びコンピュータ言語など）の教育訓練プログラムを実施している。

(b) 大学院情報科学研究科：

博士前期課程においては、情報科学に関する学理の探求と科学技術の発展を推進するとともに、情報科学に関する研究開発を担う研究者及び高度専門技術者を養成することを目的とし、①コンピュータとネットワークの要素技術の研究とその応用、そして次世代のコンピュータ&ネットワークを創生する能力 ②知識基盤社会におけるさまざまな形態のコミュニケーションに対応する知識情報処理およびシステム化する能力 ③人間、コンピュータ、機械が有機的に結合した人にやさしい高機能システムの開発・実現能力 ④情報、自然科学、工学の3分野を医用情報科学分野の基礎と位置付け体系化し、それらを実践的に応用展開する能力 ⑤自主プロジェクト演習を通し、自ら独創的研究を計画推進できる実践能力を養うとともに、独立して専門的ないし学際的研究を行える総合的な分析力、企画力、判断力さらに国際的視野を身につけた人材の養成を行っている。

博士後期課程においては、新しい時代の要請に応え、高度研究開発能力の育成・向上と実践的課題解決能力の育成を目的とし、①高度な専門知識と幅広い識見、実践力を持つ研究者・技術者 ②先端的な科学技術に柔軟に対応し、均衡のとれた学識と感性をもって後進を指導できる教育者 ③高度な科学技術を広く社会に還元し、地域の活性化に資する人材 ④自主的課題発掘能力、実践的課題解決能力、高度な研究開発能力を備えた人材の養成を行っている。

b 研究活動状況

多岐にわたる情報科学の研究分野において、高度で先端的な学術研究を行っており、特に他大学・企業との人的交流、受託研究、共同研究を実施しながら多様かつ柔軟な研究活動を実施している。

産学官連携への取り組みも積極的に実施しており、本学の産学官連携推進活動の中核として、多様な研究活動を推進しているほか、地域産業界を対象とした研究公開など、積極的な情報発信を行っている。

(ウ) 芸術学部／大学院芸術学研究科

a 教育方針

(a) 芸術学部：

創作活動の基本となる基礎実技をしっかりと習得し、多様な技術を総合的に学んだ上で、地域社会や国際社会でもアートを通じて活躍できる能力を育むことを目指している。

このため、自己の表現を追求する創作活動を続けていくために必要な観察力と造形力を養う基礎実技の習得を重視した教育を行うとともに、独自の表現方法と出会えるよう過去から現在に至る様々な分野の素材や技術を学ぶことができる多角的かつ総合的な教育を行っている。また、地域社会との連携や海外との学術交流などを通して、芸術の社会的な役割を学び、社会の中で表現活動を行う実践的な機会を提供している。

さらに、単科大学が多い芸術系大学の中で3学部構成という特色を生かし、国際的な視野の下に教育・研究を推進するため、3学部の連携による幅広い教養教育を基礎に美術教育を行っている。

(b) 大学院芸術学研究科：

芸術創造活動を自ら行う芸術家、研究者の養成と、地域文化振興のための人材養成を目指し教育・研究を行っている。また、各研究分野の内容を深化させるとともに、各領域を横断する研究や理論的研究など、より深く総合的な教育・研究を行っている。前期、後期課程とも、複数の専攻に分割する構成をとらず、造形芸術専攻、総合造形芸術専攻の各1専攻とし、一貫した教育体制とし、以下の内容の高度な教育・研究を実践している。

- ・ 古典研究を重視しつつ現代の視点に立って、伝統的な文化芸術を継承・発展・創造する専門的人材を育成する教育・研究
- ・ 新しい素材や技法への研鑽を深め、電子メディア社会に即した先端表現を推進する教育・研究。
- ・ 理論の習熟を基にした創作を探求し、創造、表現及びその応用に必要な高度な技術と理論の教育・研究
- ・ 地域文化振興と国際文化交流等、社会における文化芸術の振興において指導的な役割を果たすことのできる人材を育成する教育・研究

b 研究活動状況

地域の美術文化及び産業の振興・発展に多様な形で貢献に努めるため、地域とともに歩む大学として専門分野に関わる諸活動に参画し、作品制作にかかわる研究や実技指導、展覧会の審査委員等の活動を幅広く行っている。

特に、地域団体との協力による文化イベントの開催は、高い評価を得ている。

イ 広島平和研究所

(7) 研究方針

- ・世界で最初の核兵器による被爆を体験した都市としての歴史を背景に、学術研究活動を通じて、核兵器の廃絶に向けての役割を担うとともに、地球社会が直面する諸問題の解決にも寄与し、世界平和の創造・維持と地域社会の発展に貢献する国際的な平和研究機関を目指す。
- ・国内外における平和研究機関と積極的に連携してネットワークを構築することにより、平和研究の発展に寄与するとともに、学術研究の成果を社会に積極的に公開する。

(4) 研究活動状況

「核」に関する諸問題の研究、「平和」に関する理論的及び実証的研究並びに東アジアの平和に関する研究を主な研究領域として、国際社会に通用する高度な水準の学術研究を実施している。(実施中の研究会：「核・軍縮研究会」、「人間の安全保障研究会」、「信頼安全保障醸成措置 (CSBMs) 研究会」)

・研究成果の公開

市民を対象とした国際シンポジウムの開催、紀要(ジャーナル)及びニューズレターの発行やホームページの運営等により研究成果の地域社会への還元に努めている。また、時宜に応じたテーマで講師を招き意見交換する「HP I 研究フォーラム」を開催するとともに、平和に関する様々な問題について講義形式により共に学ぶ機会を市民に提供する「連続市民講座」を実施している。

(5) 附属施設の概要（平成 29 年度実績）

ア 附属図書館

図書約 33 万冊（年間受入数 約 6,000 冊）、雑誌約 400 誌、視聴覚資料約 1,700 タイトルをコンピュータで集中管理。必要な資料をスピーディに手に入れることができる。館内には LAN 環境が整備されており、Web 情報や所蔵資料を活用しながら学習することもできる。自然光を取り入れた、気持ちの安らぐ空間設計も特徴。地域にも開放された図書館である。

○ 利用状況

平成 29 年度	入館者数	106,587 名（448 名／日）
	図書貸出	31,405 冊（132 冊／日）
	〃	14,205 件（60 件／日）

イ 語学センター

各教室に CALL（コンピュータ支援による言語学習）システムを備え、英語や第二外国語の授業が行われるとともに、e ラーニングを利用した自学習型英語授業「CALL 英語集中」や「e ラーニング英語」の教室としても利用されている。

自習室では、約 4,600 点の視聴覚教材や各種語学雑誌、NHK 語学講座のテキストや CD が利用可能である。語学センター入口のランゲージラウンジは、ホワイトボードやソファを備え、リラックスした雰囲気外国語での会話や交流を楽しむ場として利用されている。

○ 利用状況

平成 29 年度	自習室の利用者数	38,349 名（155 名／日）
	自習者（その他含む）	34,250 名
	CALL 英語集中・e ラーニング英語受講者	4,099 名

ウ 情報処理センター

高性能なネットワーク機器を備え、利便性に優れた情報通信サービスを提供している。実習室にはパソコンを約 160 台設置し、一般情報処理科目の実施や自習スペースとして活用されている。

教育環境は仮想化されており、自宅のパソコンや学内の貸出パソコンなど実習室以外でも実習室内と同じ環境が利用できる。

また、学内各所で無線 LAN を整備しているほか、他大学の講義が受講可能となる遠隔教育設備の技術支援、履修登録や成績確認を行うことができる大学情報サービスシステムの運用管理の支援など、学内の様々なネットワークサービス支援を行っている。

○ 利用状況

平成 29 年度	実習室の学内利用者数（講義含む）	25,477 名（107 名／日）
	実習室の学外利用者数	389 名
	自宅等からの仮想環境利用者数	8,732 名（24 名／日）

エ 芸術資料館

本館は、平山郁夫、野田弘志、淀井敏夫、イサム・ノグチ他、国内外の作品約1,300点を保存している。世界の有名なデザイナーズチェアは67点と、まとまった数を収蔵している。そして、大学の教育成果としての作品群、「卒業制作優秀買い上げ作品」、被爆者の肖像画「光の肖像」シリーズを収蔵するなど、幅広い分野の作品の収集を行ってきた。

展示室では、企画展や学部・大学院の研究発表展を随時開催している。また、国内外の美術館や美術展への作品貸出を実施し、大学での研究や広島市立大学芸術資料館のコレクションを一般に公開している。

- 入場者数
平成29年度 3,895名
- 収蔵作品貸出美術展数
平成29年度 3件

(6) 施設（平成30年4月1日時点）

ア 校地面積等

面積（未取得の面積を含む）	取得費（未取得分を除く）
総面積 30万2,432㎡	総額 135億5,126万円

イ 建物

施設名	建設工事費
総延床面積 7万9,830㎡	
[内訳]	
・本部棟（RC造2F）	1,822㎡
・国際学部棟・講義棟（SRC一部S造7F）	1万2,085㎡
・情報科学部棟・情報処理センター （SRC一部S造8F）	1万8,912㎡
・情報科学部棟別館（SRC一部S造6F）	5,892㎡
・芸術学部棟・芸術資料館・第一工房棟 （SRC一部S造6F）	1万4,086㎡
・第二工房棟（S造2F）	489㎡
・第三工房棟（S造2F）	975㎡
・第四工房棟（S一部RC造1BF2F）	1,277㎡
・図書館・語学センター（RC造4F）	6,310㎡
・講堂（RC一部S造2F）	2,543㎡
・体育館（RC一部S造2F）	3,100㎡
・クラブハウス（RC造2F）	400㎡
・第2クラブハウス（軽量鉄骨造1F）	105㎡
・第3クラブハウス（軽量鉄骨造1F）	105㎡
・トラック&フィールド倉庫（RC一部S造1F）	118㎡
・学生寮もみじ（RC造3F）	2,874㎡
・国際学生寮さくら（RC造6F）	2,830㎡
・学生会館（RC造2F）	2,542㎡
・特殊排水処理施設（RC造1F）	106㎡
・エネルギーセンター（RC造1F）	1,002㎡
・その他（コリドール、駐輪場、公用車車庫）	2,257㎡
	総額 329億6,863万円

※ 第3クラブハウスについてはリース物件であり、建設工事費には含まない。

ウ 屋外

トラック&フィールド

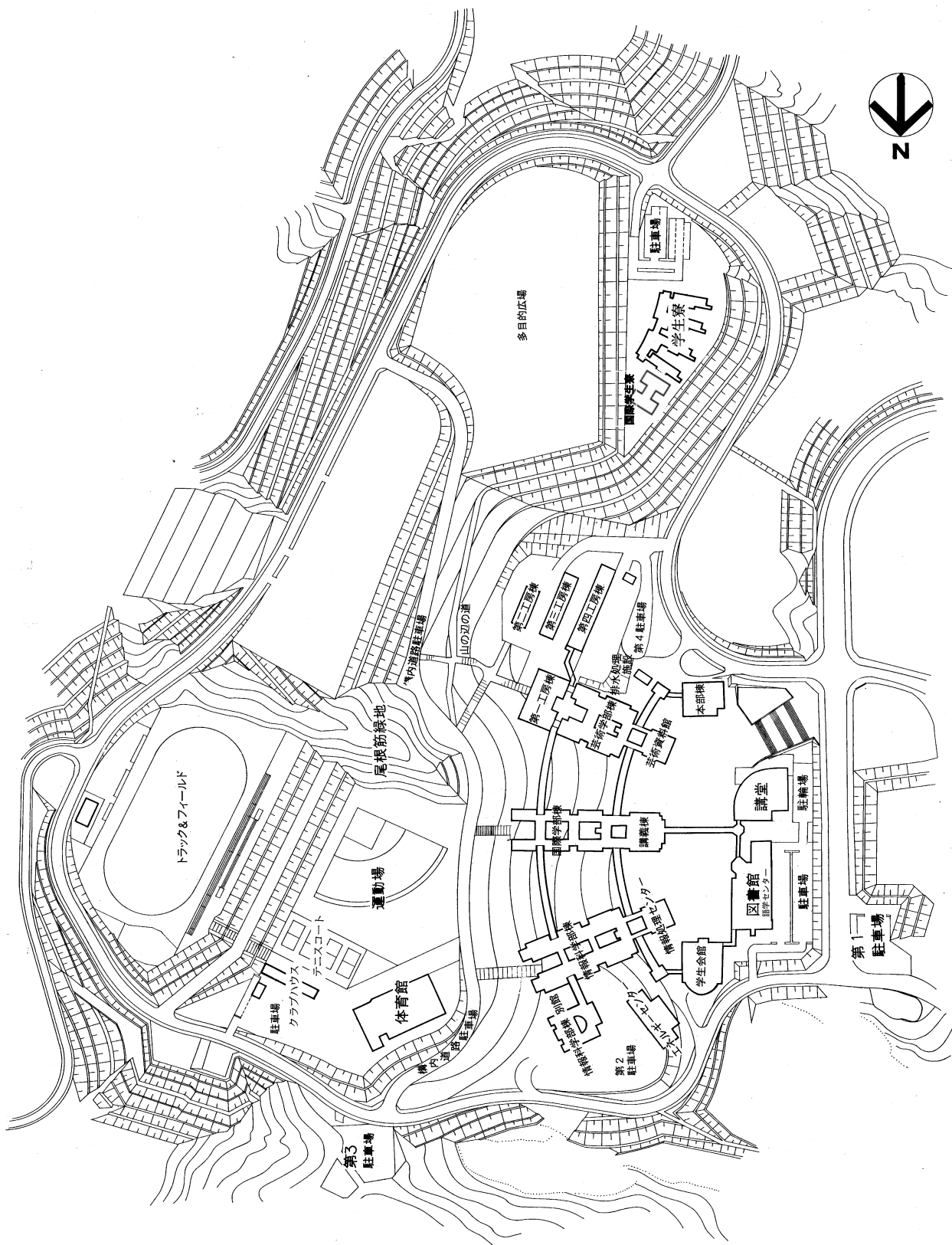
運動場

全天候型テニスコート（4面）

駐車場（約796台）

駐輪場（約350台）

Ⅰ 施設配置図



施設配置図

(7) 学年暦 (平成30年度)

前期 (4月1日～9月30日)

第1 ター ム (4 /9 5 6 /6)	4月1日 (日)～8日 (日)	春季休業
	4月3日 (火)	入学式
	4月3日 (火)～6日 (金)	オリエンテーション・ガイダンス
	4月3日 (火)～6日 (金)	定期健康診断
	4月9日 (月)	前期授業開始
	4月9日 (月)～20日 (金)	前期履修手続期間
	5月31日 (木)～6月6日 (水)	第1ターム試験期間 (通年・セメスター科目は授業を行う。)
第2 ター ム (6 /7 5 8 /1 0)	6月14日 (木)	開学記念日 (授業実施)
	7月26日 (木)・27日 (金)	前期補講日
	7月31日 (火)～8月10日 (金)	前期定期試験
	8月11日 (土・山の日)	ホームカミングデー
	8月11日 (土)～9月30日 (日)	夏季休業
	8月13日 (月)	全学休業日

後期 (10月1日～3月31日)

第3 ター ム (1 0 /1 5 1 1 /2 6)	10月1日 (月)	後期授業開始
	10月1日 (月)～12日 (金)	後期履修手続期間
	10月8日 (月・体育の日)	月曜日の授業実施
	10月27日 (土)・28日 (日)	大学祭
	11月19日 (月)～26日 (月)	第3ターム試験期間 (通年・セメスター科目は授業を行う。)
第4 ター ム (1 1 /2 7 5 2 /1 3)	11月30日 (金)	防火・防災訓練の日
	12月23日 (日)～1月3日 (木)	冬季休業
	1月18日 (金)	開学記念日の振替日 (授業は実施しない)
	1月30日 (水)・31日 (木)	後期補講日
	2月1日 (金)～13日 (水)	後期定期試験
	2月14日 (木)～3月31日 (日)	学年末休業
	3月22日 (金)	卒業式

(8) 教職員数

ア 平成30年5月1日時点

(7) 教員数

区分等		学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	特任教員	計
学長・副学長	小計	1	2						3
	男	1	2						3
	女								0
国際学部	小計			18 (3)	20 (3)	7 (1)			45 (7)
	男			11 (2)	14 (3)	4			29 (5)
	女			7 (1)	6	3 (1)			16 (2)
情報科学部	小計			27	36	17	21	2	103 (0)
	男			26	35	16	20	2	99 (0)
	女			1	1	1	1		4 (0)
芸術学部	小計			12 (1)	7	8	3		30 (1)
	男			12 (1)	4	8	1		25 (1)
	女				3	0	2		5 (0)
広島平和研究所	小計			7 (2)	5 (2)			1	13 (4)
	男			6 (2)	3 (1)			1	10 (3)
	女			1	2 (1)				3 (1)
企画室	小計							1	1 (0)
	男							1	1 (0)
	女								0 (0)
社会連携センター	小計							7	7 (0)
	男							6	6 (0)
	女							1	1 (0)
国際交流推進センター	小計							1	1 (0)
	男							1	1 (0)
	女								0 (0)
合計	計	1	2	64 (6)	68 (5)	32 (1)	24 (0)	12 (0)	203 (12)
	男	1	2	55 (5)	56 (4)	28 (0)	21 (0)	11 (0)	174 (9)
	女	0	0	9 (1)	12 (1)	4 (1)	3 (0)	1 (0)	29 (3)

区分等	教員からの兼務	教員以外からの兼務	計
非常勤講師	69	116	185 (17)
男	58	86	144 (14)
女	11	30	41 (3)

※ 平成30年5月1日現在 学校基本調査
特任教員を含む
カッコ内の数字は外国人教員数で内数

(イ) 職員数

区分等		職員	嘱託	臨時職員
事務局	小計	47	31	15
	男	29	5	-
	女	18	26	-
社会連携センター	小計	6	2	0
	男	2	1	-
	女	4	1	-
国際交流推進センター	小計	1	1	2
	男	0	0	-
	女	1	1	-
合計	計	54	34	17
	男	31	6	-
	女	23	28	-

(ウ) 非常勤特任教員数

区分等	非常勤特任教員
事務局	3
男	1
女	2

※ 職員 …… 平成30年5月1日現在 学校基本調査、育休中の者及び特任職員を含む
嘱託 …… 平成30年5月1日現在
臨時職員 …… 平成30年5月1日現在 7時間45分勤務の者のみ

イ 平成29年5月1日時点

(7) 教員数

区分等		学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	特任教員	計
学長・副学長	小計	1	2						3
	男	1	2						3
	女								0
国際学部	小計			21 (4)	19 (3)	3 (1)			43 (8)
	男			12 (3)	14 (3)	2 (0)			28 (6)
	女			9 (1)	5 (0)	1 (1)			15 (2)
情報科学部	小計			26	36	15	24	3	104 (0)
	男			25	35	14	23	2	99 (0)
	女			1	1	1	1	1	5 (0)
芸術学部	小計			12 (1)	8	8	3		31 (1)
	男			12 (1)	5	8	1		26 (1)
	女				3	0	2		5 (0)
広島平和研究所	小計			6 (2)	5 (2)	0		1	12 (4)
	男			5 (2)	3 (1)			1	9 (3)
	女			1	2 (1)				3 (1)
企画室	小計							1	1 (0)
	男							1	1 (0)
	女								0 (0)
社会連携センター	小計							7	7 (0)
	男							6	6 (0)
	女							1	1 (0)
国際交流推進センター	小計							1	1 (0)
	男							1	1 (0)
	女								0 (0)
合計	計	1	2	65 (7)	68 (5)	26 (1)	27 (0)	13 (0)	202 (13)
	男	1	2	54 (6)	57 (4)	24 (0)	24 (0)	11 (0)	173 (10)
	女	0	0	11 (1)	11 (1)	2 (1)	3 (0)	2 (0)	29 (3)

区分等	教員からの兼務	教員以外からの兼務	計
	非常勤講師	74	105
	58	79	137 (17)
	16	26	42 (6)

※ 平成29年5月1日現在 学校基本調査
特任教員を含む
カッコ内の数字は外国人教員数で内数

(イ) 職員数

区分等		職員	嘱託	臨時職員
事務局	小計	47	31	15
	男	27	6	-
	女	20	25	-
社会連携センター	小計	6	2	0
	男	2	1	-
	女	4	1	-
国際交流推進センター	小計	2	1	1
	男	0	0	-
	女	2	1	-
合計	計	55	34	16
	男	29	7	-
	女	26	27	-

(ウ) 非常勤特任教員数

区分等	非常勤特任教員
事務局	5
	3
	2

※ 職員 … 平成29年5月1日現在 学校基本調査、育休中の者及び特任職員を含む
嘱託 … 平成29年5月1日現在
臨時職員 … 平成29年5月1日現在 7時間45分勤務の者のみ

(9) 学生数（平成30年5月1日時点）

ア 学部

(単位：人)

学部	学科	総定員	1年次		2年次		3年次		4年次		計		
国際学部	国際学科	400	110	(80)	109	(74)	112	(85)	146	(111)	477	(350)	
情報科学部	(学部所属)	-	233	(49)							233	(49)	
	情報工学科	240			91	(10)	62	(6)	58	(5)	211	(21)	
	知能工学科	240			67	(15)	70	(13)	58	(12)	195	(40)	
	システム工学科	240			68	(11)	66	(16)	69	(19)	203	(46)	
	医用情報科学科	120			45	(10)	29	(4)	29	(9)	103	(23)	
	計	840	233	(49)	271	(46)	227	(39)	214	(45)	945	(179)	
芸術学部	美術学科	日本画専攻	40	10	(9)	10	(9)	12	(8)	11	(10)	43	(36)
	油絵専攻	80	21	(17)	24	(17)	22	(15)	20	(18)	87	(67)	
	彫刻専攻	40	10	(6)	10	(7)	10	(9)	14	(7)	44	(29)	
	小計	160	41	(32)	44	(33)	44	(32)	45	(35)	174	(132)	
	デザイン工芸学科	160	44	(37)	45	(41)	43	(37)	41	(33)	173	(148)	
	計	320	85	(69)	89	(74)	87	(69)	86	(68)	347	(280)	
合計		1,560	428	(198)	469	(194)	426	(193)	446	(224)	1,769	(809)	

注：（ ）内は女子の人数で内数

イ 大学院

(単位：人)

研究科	専攻	総定員	1年次		2年次		3年次		計	
研究国際科学	国際学	30	4	(3)	16	(7)			20	(10)
	国際学(後期)	21	1	(0)	2	(1)	6	(4)	9	(5)
	計	51	5	(3)	18	(8)	6	(4)	29	(15)
研究情報科学	情報工学	46	23	(3)	21	(0)			44	(3)
	知能工学	46	12	(1)	13	(2)			25	(3)
	システム工学	46	20	(3)	20	(1)			40	(4)
	医用情報科学	30	8	(3)	4	(1)			12	(4)
	(前期計)	168	63	(10)	58	(4)	0	(0)	121	(14)
	情報科学(後期)	84	5	(0)	3	(0)	6	(0)	14	(0)
計	252	68	(10)	61	(4)	6	(0)	135	(14)	
研究芸術科学	造形芸術専攻	60	19	(16)	26	(16)			45	(32)
	総合造形芸術(後期)	18	4	(1)	8	(6)	4	(3)	16	(10)
	計	78	23	(17)	34	(22)	4	(3)	61	(42)
計	前期	258	86	(29)	100	(27)	0	(0)	186	(56)
	後期	123	10	(1)	13	(7)	16	(7)	39	(15)
合計		381	96	(30)	113	(34)	16	(7)	225	(71)

注：（ ）内は女子の人数で内数

(10) 研究生・留学生等（平成29年度）

(単位：人)

区分	人数	摘要
研究生	1	
外国人研究生	17	中国16、韓国1
科目等履修生	9	
特別聴講学生	25	中国9、ドイツ8、韓国4、フランス4
外国人留学生	59	中国41、ベトナム8、韓国7、フランス2、シリア1

※ 外国人留学生は、平成29年度12月31日の在籍状況。その他は平成29年度の受入数

※ 平成29年度外国人留学生の学部等別内訳

国際学部22、情報科学部4、国際学研究科16、情報科学研究科7、芸術学研究科10

(11) 入学検定料、入学料、授業料等（平成30年4月1日時点）

区 分			金 額	
入学検定料	学生	学部	17,000円 (転学、編入学又は再入学に係る入学検定料については、30,000円)	
		大学院	30,000円	
	研究生		9,800円	
	科目等履修生		9,800円	
入学料	学生	市内の者	282,000円	
		市外の者	423,000円	
	研究生	市内の者	84,600円	
		市外の者	126,900円	
	科目等履修生	市内の者	28,200円	
		市外の者	42,300円	
授業料	学生		年額	535,800円
	研究生		月額	29,700円
	科目等履修生		1単位につき	14,800円
	特別聴講学生		1単位につき	14,800円
公開講座受講料			1講座につき5時間まで	5,200円
			1講座につき5時間を超える時間5時間までごとに	1,000円
学位論文審査手数料			1件につき	57,000円
学生寮使用料			月額	5,900円
国際学生寮使用料			月額	20,000円
			日額	710円
証明書交付手数料			1件につき（証明書又は翻訳文書用の用紙1枚を1件とする。）	350円

※1 この表において「市内の者」とは次の各号のいずれかに該当する者をいい、「市外の者」とは市内の者以外の者をいう。

- (1) 入学の日の属する月の初日において引き続き1年以上広島市の区域内に住所を有する者
- (2) 入学の日の属する月の初日において配偶者又は1親等の親族が引き続き1年以上広島市の区域内に住所を有する者
- (3) 理事長が前2号に掲げる者に準ずると認める者

※2 国際学生寮使用料の日額については、短期滞在者に適用する。

2 教育・研究

(1) 人材育成の目標及び各ポリシー

ア 学士課程

人材育成の目標

広島市立大学は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成することを目標としています。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

広島市立大学は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の知識・技能・能力を身につけたうえで当該学部が定める審査に合格した学生に対して卒業を認定し、学位を授与します。

- 多様な文化・価値観を尊び、人間、社会、自然、平和に関する幅広い関心と知識〈普遍的教養〉
- 専門領域に関する体系的な知識・技術・技能〈専門的知識・技術・技能〉
- 豊かな感性と真理探究への情熱に基づく課題発見・分析・解決能力〈課題解決能力〉

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

広島市立大学は「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」を建学の基本理念とし、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに、幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成することを目標として、教育課程を次のとおり編成します。

1. 幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、感性豊かな人間性を涵養するとともに、新しい時代の潮流に対応できる能力を身につけるため、全学共通系科目・外国語系科目を開設します。
2. 各学部の理念と専門教育の特色に対応した専門教育科目を開設します。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

広島市立大学は、次のような人の入学を求めています。

1. 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
2. 知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
3. 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

(7) 国際学部

人材育成の目標

国際学部は、グローバル化の進展など社会が変化の中で、豊かな学識と広い視野に基づいて、グローバルな視点から平和で持続可能な国際社会の実現や地域社会の持続的な発展に貢献できる人材を育成することを教育理念とし、次のような人材を育成します。

1. 人文・社会科学の分野を幅広く系統的に理解し、分野を統合して思考し判断することができる人材
2. 社会が抱える諸課題を自発的に見出し、課題の解決に向かって主体的に取り組むことができる人材
3. 多様な価値観を持った人々と対話し、協働して課題の解決に向かって取り組むことができる人材

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

国際学部は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の専門的な知識・技能及びそれらを社会で活用するための資質・能力を身につけた上で、卒業論文を執筆し審査に合格した学生に対して卒業を認定し、「学士（国際学）」の学位を授与します。

（知識・技能）

- 1 人文・社会科学の専門的な知見や理論についての幅広く系統的な知識。
- 2 分野を統合して学際的に思考・探究する知識・技能。

（思考力・判断力・表現力）

- 1 人文・社会科学の様々な分野に関する知見や理論を基に社会の諸問題を探究し、根拠に基づいて論理的に考え判断する能力。（思考力・判断力）
- 2 自らの考えを説得的に分かりやすく表現する能力。（表現力）

（主体性・協働性）

- 1 社会が抱える課題を自発的に見出し、その解決に取り組む姿勢。（主体性）
- 2 グローバル化が進展する世界の中で、多様な背景を持った人々と共に生き、かつ社会を築いていくために他者と協働する態度。（協働性）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

国際学部が掲げるディプロマ・ポリシーを達成するため、教育課程を次のように編成します。

（全学共通系科目）

- 1 幅広い教養・知識の修得を通じ、多様な価値観を尊び平和を希求する精神や感性豊かな人間性を涵養するとともに、グローバル化・情報化等に対応できる能力を身に付けるため、全学共通系科目・外国語系科目を教育課程に組み入れます。

（学際的なカリキュラム編成）

- 1-2 人文・社会科学の分野を幅広く系統的に理解するための学際的なカリキュラムを編成し、分野を統合して思考・判断し、国際社会や地域社会の諸問題を多面的・複眼的

に解決できる能力を養成します。

(少人数教育)

- 1-3 演習や各授業クラスを少人数で編成し、対話を通じた主体的で深い学びを推進するとともに、少人数教育ならではの濃密できめ細かな指導を行います。

(専門基礎科目)

- 2 国際学部における専門分野を学ぶ上で基礎となる知識と技能を修得し、国際学部での学びを展望することを目的に、専門基礎科目を開設します。

(専門科目)

- 3 専門的な知識・技能を修得し、思考力・判断力・表現力を高めるため、以下のプログラム分野に専門科目を開設します。専門科目では、人文・社会科学の理論や知見を幅広く系統的に理解するとともに、学際的な視野を開くことを目指します。

(3-1) 国際政治・平和プログラム

紛争、テロ、難民、開発、環境などの地球規模の課題を解決するため、国際関係の理論や歴史、平和研究の方法や実践について学ぶ科目。

(3-2) 公共政策・NPOプログラム

望ましい社会を創造するため、人々の生活の基礎である経済や社会のあり方、市民・NPO・政府などが果たす役割について学ぶ科目。

(3-3) 多文化共生プログラム

国家、地域、民族、文化の垣根を越えて、多様な考え方を持つ人々との共生に関する理論や実践について学ぶ科目。

(3-4) 言語・コミュニケーションプログラム

人間の社会的営みの基礎である言語・コミュニケーションに関する諸問題を学ぶ科目。

(3-5) 国際ビジネスプログラム

経営学や経済学上の諸問題など、国際的な視点からビジネスについて学ぶ科目。

(領域認定)

- 4 専門科目のプログラム科目群のひとつで、所定の単位数を修得した場合、当該プログラム領域を主専攻として専門に履修したことを認定します。

(外国語運用能力を発展させる科目)

- 5 実践的な外国語運用能力を身につけ発展させるため、国際学部専門科目として英語特講科目群を開設します。また、英語を含む外国語で授業を行う専門科目を各プログラム科目群や国際研究特講科目群に開設します。

(演習科目、卒業論文)

- 6 発表や討論などの主体的な学修を重視する少人数双方向での演習科目を、1年次から

4年次まで継続して開設します。自らのテーマを多面的に追究するため、3年次には複数の専門演習の履修を可能とします。各年次の演習は、国際学部における学修の集大成としての卒業論文に有機的につなげる指導と結びつけます。

- 6-1) 国際学部における学びに必要な知識・技能や協働性に加え、関心・意欲をもって学び続ける態度を身につける基礎演習（1年次）
- 6-2) 専門分野を見極め、論理的な思考力・判断力・表現力に磨きをかける発展演習（2年次）
- 6-3) 専門性を磨き、応用力を養うための専門演習（3年次）
- 6-4) 自らのテーマを専門的かつ総合的に追究し、学修の集大成として卒業論文を執筆する卒論演習（4年次）

（キャリア教育）

- 7 実社会において求められるスキルやコミュニケーション能力、社会人としての資質を育み、学生のキャリア形成を支援する科目を開設します。

（グローバル人材育成）

- 8 グローバルな視点から国際社会や地域社会に貢献できる能力を養成するため、海外学術交流協定大学への学生派遣や短期語学留学、海外インターンシップなど、国際感覚を養う教育活動への学生の参加を促進します。

（地域志向人材育成）

- 9 地域に愛着・誇りを持ち、地域に根ざした視点から、その発展に貢献する人材を育成するため、地域再生や地域の課題解決を実践的に試行する科目などの地域志向科目を開設します。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

複雑化する国際社会及び地域社会においては、単一の学問分野のみならず、領域を超えた幅広いアプローチから課題の解決に取り組むことが必要です。

国際学部では、豊かな学識と幅広い視野に基づいて、平和で持続可能な国際社会や地域社会の実現に貢献できる人材の育成を教育理念としています。

そのため、国際学部では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、次のような多様な人物を求めています。

〔求める人物像〕

（関心・意欲）

国際社会や地域社会が抱える課題に関心をもち、かつその解決に意欲をもつ人。

（知識・技能）

国際学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき現代社会についての基本的

な知識・教養を持っている人。また、外国語を含む言語の基本を修得し、基本的な運用能力を身につけている人。

(思考力・判断力・表現力)

- ・社会の諸課題について、根拠に基づいて筋道を立てて考え、自分の意見をまとめることができる人
- ・日本語と外国語を使って、自分の考えを分かりやすく表現できる人。

(主体性・協働性)

- ・何事にも主体性を持って行動し、海外留学やさまざまな活動に積極的に関わる意欲を持つ人。
- ・国際社会や地域社会で起こっている人間の営みに関連する諸課題の解決にむけて、さまざまな意見を持つ人とも対話し、協働して活動することができる人。

(4) 情報科学部

人材育成の目標

情報科学部は、情報工学及び情報科学分野の専門的な知識・技能を基に、高度情報化社会を支え創造していくことができる人材を育成することを教育理念とし、次のような人材を育成します。

1. コンピュータとネットワークの融合技術、情報環境を創造できる人材（情報工学科）
2. 人間の知的コミュニケーション及び情報行動を支援する知的情報システムを開発・研究できる人材（知能工学科）
3. 効率・環境・安全などの多様な価値観のもとで、システム全体の調和と協調を図った創造的な解決策を提案できる人材（システム工学科）
4. 情報科学・自然科学・工学にわたる広範な領域における知識や技術を組み合わせ、医用生体工学をはじめとする融合分野で活用することができる人材（医用情報科学科）

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

情報科学部は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の専門的な知識・技能及びそれらを社会で活用するための資質・能力を身につけた上で、卒業論文の執筆と発表を行い審査に合格した学生に対して卒業を認定し、「学士（情報工学又は情報科学）」の学位を授与します。

(知識・技能)

- 1 以下の分野における専門的な知識・技能。

〔情報工学科〕

コンピュータとネットワークに関するハードウェア（回路など）やソフトウェア（プログラムなど）の技術をもとに、コンピュータとネットワークの融合技術やコミュニケーシ

ョン技術の開発・活用などに取り組む研究分野。

〔知能工学科〕

人と人、人と機械のコミュニケーションの円滑化や創造的活動の支援を実現するための人工知能などの知的情報システムの仕組み、膨大なデータから法則性を見つけ出す情報解析技術などに関する研究分野。

〔システム工学科〕

人間が安全・安心・快適・便利に生活するための社会システムの実現を目指し、ロボット開発のためのシステム化技術や、ロボットや情報機器をより快適に使うための機器開発などに取り組む研究分野。

〔医用情報科学科〕

安心・安全で豊かな社会の実現を目指し、情報科学・自然科学・工学に関する知識・技能を基に、医療、生命、環境等の分野における諸問題の解決に向け、既存の学問体系の枠を超えて取り組む研究分野。

2 グローバル化が進む社会で応用できる英語力。

（思考力・判断力・表現力）

- 1 情報科学とその応用分野における専門的な知識・技能に基づき総合的に思考し、論理的・合理的に判断する能力。（思考力・判断力）
- 2 自らの考えを論理的に分かりやすく表現する能力。（表現力）

（主体性・協働性）

- 1 自ら課題を発見して目標を設定し、情報科学の切り口から課題の解決に向けて主体的に取り組む態度。（主体性）
- 2 グローバル化の進展や高度情報化など社会が変化する中で、多様な価値観や新たな技術・知見を受け入れ、課題の解決や新たな価値の創造に向けて協働して取り組む態度。（協働性）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

情報科学部が掲げるディプロマ・ポリシーを達成するため、教育課程を次のように編成します。

（全学共通系科目）

- 1 幅広い教養・知識の修得を通じ、多様な価値観を尊び平和を希求する精神や感性豊かな人間性を涵養するとともに、グローバル化・情報化等に対応できる能力を身に付ける

ため、全学共通系科目・外国語系科目を教育課程に組み入れます。

(数学、プログラミング及び英語の重点的な教育)

1-2 情報科学を学ぶ上での基礎となる数学、プログラミング及び英語の重点的な教育を行います。

(学生の多様化への対応)

1-3 少人数教育、習熟度別のクラス編成、主体的・対話的で深い学びの推進などにより、知識や学力の多様化した学生に対して効果的な教育を行います。

(専門基礎科目)

2 情報科学の基礎的・普遍的な知識・技能を修得するため、専門基礎科目を開設します。
また、専門基礎科目を履修した上で、学生一人ひとりの興味関心、適性に基づいて専門分野を適切に選択できる仕組みを導入します。

(専門科目)

3 各学科の専門分野における専門的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を修得するため、専門科目を開設します。

[情報工学科]

- (3-1) コンピュータ及びネットワークの基盤技術、融合技術及び運用技術分野
- ・(3-1-1) コンピュータ及びネットワークの基盤技術と専門知識を身につける科目。
 - ・(3-1-2) コンピュータの先端的な技術と専門知識を身につける科目。
 - ・(3-1-3) ネットワークの先端的な技術と専門知識を身につける科目。
 - ・(3-1-4) コンピュータとネットワークの融合技術と運用技術を身につける科目。

[知能工学科]

- (3-2) 人間の知的活動を支援する知的情報システム技術分野
- ・(3-2-1) ソフトウェア開発のための技能と情報処理理論の基礎を身につける科目。
 - ・(3-2-2) 知識情報処理・メディア情報処理とその数理を中心とする知能工学に関する知識を身につける科目。
 - ・(3-2-3) 人間の知的コミュニケーションや情報行動を支援するシステムを開発する実践的技能を身につける科目。

[システム工学科]

- (3-3) 効率・環境・安全などの多様な価値観のもとで人と機械の調和と協調を図るシステム技術分野
- ・(3-3-1) システム工学の基盤である数学・情報・工学に関する知識と応用力を身につける科目。

- ・(3-3-2) 様々な分野で活躍するロボットと人間の共生に必要な専門知識を身につける科目。
- ・(3-3-3) 人が機械と快適にコミュニケーションを図るためのインタフェースデザインに関する専門知識を身につける科目。

[医用情報科学科]

(3-4) 情報科学・自然科学・工学および医用生体工学に関する融合分野

- ・(3-4-1) 情報科学・自然科学・工学の三つを柱とした基礎学力を身につける科目。
- ・(3-4-2) 情報科学・自然科学・工学を基盤とし、融合・発展させた医用情報科学の専門知識を身につける科目。
- ・(3-4-3) 医用情報科学を展開し、医用情報システムへと応用する実践的能力を身につける科目。

(実験科目、卒業研究)

- 4 実験、演習、口頭発表などの体験的・総合的な学修を重視した以下の科目を開設します。
- ・(4-1) 専門基礎科目で修得した知識を具体的な問題に適用する能力を育成するための実験科目
 - ・(4-2) 専門科目で修得した知識を具体化させ、思考力、洞察力を養い、実際的な問題・課題を解決する能力を育成するための実験科目
 - ・(4-3) 研究に対する方法論、問題解決力を身につけ、研究の成果、意義、有用性を論理的にまとめ、発表、討論する能力を育成するための卒業研究

(キャリア教育)

- 5 技術者・研究者としての使命感・倫理観の養成、実社会において求められるスキルやコミュニケーション能力、社会人としての資質を育み、学生のキャリア形成を支援する科目を開設します。

(グローバル人材育成)

- 6 技術者・研究者としてグローバルに活躍できる能力を養成するため、海外学術交流協定大学への学生派遣や短期語学留学、海外での研究発表など、国際感覚を養う教育活動への学生の参加を促進します。

(地域志向人材育成)

- 7 地域に愛着・誇りを持ち、地域に根ざした視点から、その発展に貢献する人材を育成するため、情報科学を用いた地域振興や地域の課題解決を実践的に試行する科目などの地域志向科目を開設します。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

科学技術の発展による高度情報化社会の到来に伴い、我が国を取り巻く産業・社会構造は年々複雑化し続けています。

情報科学部では、このような複雑化する社会に対応するため、情報工学・情報科学分野の基礎知識・能力及び専門学識・技術を身に付け、高度情報化社会を支える人材の育成を教育理念としています。

そのため、情報科学部では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、次のような多様な人物を求めています。

[求める人物像]

（関心・意欲）

情報工学・情報科学に関心があり、自ら積極的に情報工学・情報科学を学修する意欲を持つとともに、学んだことを活用して国際社会や地域社会の発展に貢献したいという大志を抱いている人。

（知識・技能）

情報工学・情報科学を学ぼうと土台となる高等学校等で修得すべき数学、理科及び語学の知識・技能を有している人。

（思考力・判断力・表現力）

- ・物事を多面的にとらえ、総合的かつ論理的に思考して合理的に判断することができる人。
- ・自らの考えを分かりやすく説明するよう努力できる人。

（主体性・協働性）

- ・国際社会や地域社会で起こっている情報工学・情報科学に関連する課題を意識し、その課題の本質を理解し、自ら率先して解決しようとする熱意を持っている人。
- ・共通の目的を達成するために、他人の価値観を尊重し、他人と協調して活動する主体的なコミュニケーション力を身に付けている人。

(ウ) 芸術学部

人材育成の目標

芸術学部は、創造性、先見性及び独創性に富み、文化芸術の創造及び発展に貢献できる人材を育成することを教育理念とし、次のような人材を育成します。

1. 美術、デザイン・工芸に関する専門性の高い知識と技術を基に、創造性に富んだ創作と先見性、独創性に富んだ表現・研究を発信できる人材。
2. 美術、デザイン・工芸に関する専門性の高い知識と技術を基に、地域や産業など様々な社会分野において、文化芸術の創造及び発展に貢献できる人材。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

芸術学部は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の専門的な知識・技能及びそれらを自らの創作と社会で活かすための資質・能力を身につけた上で卒業制作を行い、審査に合格した学生に対して卒業を認定し、「学士（芸術）」の学位を授与します。

（知識・技能）

1 以下の分野における専門的な知識・技能。

〔美術学科〕

- ・日本画における伝統的絵画表現、技法材料研究、独創的な絵画表現を探究する分野。（日本画専攻）
- ・西洋の伝統的絵画である油絵の本質を理解し、絵画の新しい造形と表現を探究する分野。（油絵専攻）
- ・彫刻の伝統と芸術文化の歴史を踏まえ、現代における独創的な造形表現を探究する分野。（彫刻専攻）

〔デザイン工芸学科〕

現代表現、視覚造形、映像メディア造形、立体造形、金属造形、染織造形、漆造形といった、社会や生活に関わる造形・表現を探究する分野。

2 修得した専門的な知識・技能を基に新たな創作を生み出す応用力。

（思考力・判断力・表現力）

- 1 専門的な知識・技能とそれらを修得する中で磨いた感性と表現力を基に、次代の文化芸術の創造を目指し、柔軟な思考を以って、独創的な創作に向けて判断する能力。（思考力・判断力）
- 2 創作に込めた自らの考えを作品と言葉によつて的確に他者や社会に伝える能力。（表現力）

（主体性・協働性）

- 1 自らの創作を社会との関わりの中で主体的に生かそうとする。（主体性）
- 2 自らの創作を通じて他者と協働して取り組む。（協働性）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

芸術学部が掲げるディプロマ・ポリシーを達成するため、教育課程を次のように編成します。

（全学共通系科目）

- 1 幅広い教養・知識の修得を通じ、多様な価値観を尊び平和を希求する精神や感性豊かな人間性を涵養するとともに、グローバル化・情報化等に対応できる能力を身につけるため、全学共通系科目・外国語系科目を教育課程に組み入れます。

(基礎実技の重視と応用力の修得)

1-2 自らの表現を追求するために必要な観察力と造形力を養成するため、専門基礎科目及び専門科目において基礎実技の修得を重視した教育を行います。また、修得した基礎実技を基に新たな創作を生み出す応用力を養成します。

(少人数教育と領域横断的な教育)

1-3 少人数教育によるきめ細かな指導のもと、それぞれの分野における専門的な知識・技能を高めるとともに、学生の表現や創作の幅を広げることを目的として領域横断的な教育を行います。

(専門基礎科目)

2 芸術を学び専門性を高めていく上での基礎となる知識・技能を修得するため、芸術の理論、歴史に関する科目、技術や素材に関する科目等で構成する専門基礎科目を開設します。

(専門科目)

3 専門性の高い知識・技能を段階的、体験的に学び、思考力・判断力・表現力を身につけ、創作を通じて主体性、協働性を養うための実習・演習を主とした専門科目を開設します。

(1) [学部共通]

- ・専門基礎科目で修得した知識・技能を自らの創作に展開する能力を育成する実習・演習科目。
- ・国内外の古典芸術について事前調査・実地研究を行い、より専門的な知見を修得する科目「古美術研究」。
- ・専門科目で修得した創作能力を自らの研究テーマに展開し、成果を上げる能力を育成する科目。
- ・創作活動における言語化能力と視覚的伝達能力の向上を図るため、実習・演習等の科目の中でプレゼンテーションを課します。また、教員と学生、あるいは学生同士が積極的に意見交換を行う場を設け、学生の芸術学生、あるいは学生同士が積極的に意見交換を行う場を設け、学生の芸術観を育成し、他者に自らの考えを伝えるための能力を身につけます。
- ・専門基礎科目、専門科目で修得した創作能力を社会や地域の課題解決に展開できる能力を育成する科目。

(2) [美術学科日本画専攻]

日本画専攻では、基礎的な描写力と材料技法に関する専門知識の修得及び独創的な表現の獲得を目指すため、以下の内容の専門科目を段階的に開設し、創作の基礎力、応用力、

展開力を養う教育を行います。

- ・(3-1-a) 絵画表現の基礎となる観察力、描写力を身につける科目。
- ・(3-1-b) 絵画表現の構成力を高めるために、線や形、色彩、さらに立体的な造形力、空間把握能力を身につける科目。
- ・(3-1-c) 日本画の伝統的・専門的な基礎知識、思考方法、材料技法の修得、及び独創的な絵画表現を身につける科目。
- ・(3-1-d) より高度で専門的な材料技法を身につける科目。
- ・(3-1-e) 日本の彫刻・絵画・建築等の文化財の現地研究を行い、自らの創作に対する多様な感性と知見、美意識を身につける科目。

(3) [美術学科油絵専攻]

油絵専攻では、油絵の創作に必要な知識・理論・技法等を学び、創造性を磨くため、以下の内容の専門科目を段階的に開設し、創作の基礎力、応用力、展開力を養う教育を行います。

- ・(3-2-a) 油絵を思考し創作する基礎を身につける科目。
- ・(3-2-b) ヨーロッパ絵画のセオリーを元に、油絵の材料や技法の基礎を段階的に身につける科目。
- ・(3-2-c) 人体モデルによる学習を基軸に置き、立体的・空間的把握能力を養い、身につけた基礎技術を独自の絵画表現に展開する力を身につける科目。
- ・(3-2-d) 専攻の特色である充実した版画設備を活用し、「銅版画」や「木版画」などの版式を用いたグラフィカルな表現を身につける科目。
- ・(3-2-e) 西洋の彫刻・絵画・建築等の文化財の現地研究を行い、自らの創作に対する多様な感性と知見、美意識を身につける科目。

(4) [美術学科彫刻専攻]

彫刻専攻では、彫刻の創作に必要な知識・理論・技法等を学び、創造性を磨くため、以下の内容の専門科目を段階的に開設し、創作の基礎力、応用力、展開力を養う教育を行います。

- ・(3-3-a) 彫刻を思考し創作する基礎を身につける科目。
- ・(3-3-b) 彫刻の伝統的な素材である木・石・金属・土の加工技術の基礎を身につける科目。
- ・(3-3-c) 修得した知識・技能を用い、自身の考えを彫刻として表現する応用力や展開力を実践的に身につける科目。
- ・(3-3-d) 日本の彫刻・絵画・建築等の文化財の現地研究を行い、自らの創作に対する多様な感性と知見、美意識を身につける科目。
- ・(3-3-e) 彫刻芸術の幅広い理念、素材、技法、歴史について学修するとともに、キャリア形成につながる能力を身につける科目。

(5) [デザイン工芸学科]

デザイン工芸学科では、デザインや工芸に必要な知識・理論・技法等を学び創造性を磨くため、以下の内容の専門科目を段階的に開設し、創作の基礎力、応用力、展開力を養う教育を行います。

- ・(3-4-a) 創作活動の基礎として必要となる観察、調査、構想、実験、制作、検証、記録の方法を修得し、幅広い表現技法と基礎的な造形感覚を身につける科目。
- ・(3-4-b) 7つの専門分野の中から選択し、各分野独自の教育課程の中で専門的な基礎技術を身につける科目。
- ・(3-4-c) 修得した基礎技術をより専門性の高い創作と展開力を身につける科目。
- ・(3-4-d) 日本の彫刻・絵画・建築等の文化財の現地研究を行い、自らの創作に対する多様な感性と知見にもとづく美意識を身につける科目。
- ・(3-4-e) 与えられた「テーマ」に沿って創作を行い、展示、発表までの課程を主体性、協働性を持って実行できる力を身につける科目。

(卒業制作)

- 4 (3-5) 学部4年間の学修・研究・創作の集大成となる作品を制作し、公開展示を通じて社会に発表する力を養う卒業制作を開設します。

(キャリア教育)

- 5 芸術の専門的な知識・技能を生かして社会で活躍できる能力を養成するため、専門科目の中で学生のキャリア形成を支援する教育を行います。

(グローバル人材育成)

- 6 グローバルな視点に立った創作を行うことができるよう、海外学術交流協定大学への学生派遣や短期語学留学など、国際感覚を養う教育活動への学生の参加を促進します。

(地域志向人材育成)

- 7 地域に愛着・誇りを持ち、地域に根ざした視点から、その発展に貢献する人材を育成するため、芸術による地域振興や地域の課題解決を実践的に試行する科目などの地域志向科目を開設します。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国際化や情報化の急激な進展などにより社会の急速な変化や価値観の多様化が進む中、社会に豊かさをもたらす芸術の社会的役割はますますその重要性を高めています。

芸術学部では、創造性に富んだ創作を行うための専門的な知識と確かな技術を備え、文化芸術の創造及び発展に貢献できる先見性、創造性及び独創性に富んだ人材の育成を教育理念としています。

そのため、芸術学部では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、次のような多様な人物を求めています。

[求める人物像]

(関心・意欲)

芸術に関心があり、創作・表現に意欲を持ち、創作を通じて国際社会や地域社会の発展に貢献したいと考えている人。

(知識・技能)

高等学校等で習得すべき知識・技能を持ち、創作・表現を学ぶための基礎的な技術・感性を備えている人。

(思考力・判断力・表現力)

関心を持ったことを深く思考し、自らの考えを作品や言葉によって表現できる人。

(主体性・協働性)

創作、協働に対して積極性、主体性を持って取り組み、創作を通じて国際社会や地域と関わりたい人。

イ 大学院課程

人材育成の目標

広島市立大学大学院は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに、最先端かつ高度な専門性と深い学識を有し、課題発見・分析・解決能力を持ち、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成することを目標としています。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

広島市立大学大学院は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の高度な知識・技能・能力を身につけたうえで研究科が定める審査に合格した学生に対して修了を認定し、学位を授与します。

- 多様な文化・価値観を尊び、人間、社会、自然、平和に関する幅広い関心と知識〈普遍的教養〉
- 専門領域に関する体系的な知識・技術・技能〈専門的知識・技術・技能〉
- 豊かな感性と真理探究への情熱に基づく課題発見・分析・解決能力〈課題解決能力〉

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

広島市立大学大学院は、それぞれ博士前期課程と博士後期課程を有する3研究科で構成され、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに、最先端かつ高度な専門性と深い学識を有し、課題発見・分析・解決能力を持ち、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成することを目標として、教育課程を次のとおり編成します。

1. 高度の専門性を要する職業等に必要能力を養うため、各研究科において、基礎から応用に至る教育課程を編成します。
2. 博士前期課程については、幅広い視野に立った学識を身につけ、高い倫理観を養うことを目的とする全研究科共通科目群を開設します。
3. 博士後期課程については、各研究科の特性に応じた、高度な研究指導を行います。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

広島市立大学大学院は、次のような人の入学を求めています。

1. 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
2. 知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
3. 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

(7) 国際学研究科

人材育成の目標

国際学研究科は、深い学識と広い視野に基づいて、専門的な立場から国際社会や地域社会に貢献できる国際人の育成を教育理念とし、次のような人材の育成を目標としています。

1. 文化、政治、法律、経済、経営、言語の諸側面の様々な機能と役割の分析・研究を通じて、国際社会が直面している問題の分析と解決に資するための教育・研究を行い、国際研究の先導的な役割を担うとともに、国際社会の問題点や課題を自ら発見し、解決できる実践的な人材
2. 高度で先端的な国際研究に携わることのできる教育者・研究者

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程

国際学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の学識・能力を身につけたうえで、修士論文あるいは課題研究報告書を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、修士（国際学、学術又は平和学）の学位を授与します。

- 学際的な教育課程によって広い視野と各々の専門分野の高度な学識を有する者
- 高い研究能力を修得した者

博士後期課程

国際学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の学識・能力を身につけたうえで、博士学位論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、博士（国際学、学術又は平和学）の学位を授与します。

- 学際的な教育課程によって広い視野と各々の専門分野の極めて高度な学識を有する者
- 研究者として自立できる研究能力を修得した者
- 課程修了見込者および課程修了者と同等以上の学力があると認められ、博士学位請求論文を提出して審査に合格した者

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

国際学研究科は、深い学識と広い視野に基づいて、専門的な立場から国際社会や地域社会に貢献できる国際人の育成を基本理念とし、文化、政治、法律、経済、経営、言語の諸側面のさまざまな機能と役割の分析・研究を通じて、国際社会が直面している問題の分析と解決に資するための教育・研究を行い、国際研究の先導的な役割を担うとともに、国際社会の問題点や課題を自ら発見し、解決できる実践的な人材の養成と、高度で先端的な国際研究にたずさわることのできる教育者・研究者の養成を目的として、教育課程を次のように編成し、実践します。

博士前期課程

1. 高い倫理観をもち、幅広い視野に立った学識を身につけるために、研究科独自の開設科目に全研究科共通科目群を組み入れた教育課程とします。
2. 歴史、理論、政策の基本的な3領域を念頭におき、学際的に国際研究に取り組めるように、国際関係研究群、公共政策研究群、経営政策研究群、社会文化研究群、言語文化研究群という多彩な教育・研究内容の授業科目を開設します。

博士後期課程

国際社会の多彩な側面を正確に把握し、多種多様な領域を解明するために、歴史、理論、政策の基本的な3領域を念頭におき、国際社会研究分野と地域研究分野の二つの研究分野から教育課程を編成します。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国際学研究科では、次のような人の入学を求めています。

1. 広い教養を身につけ、世界や地域の様々な課題に関心を寄せている人。
2. 大学院で学ぶ上で必要な読解力、思考力、表現力を備えている人。
3. 本研究科の研究分野に関する基礎知識を有し、さらに専門的な知識や研究能力を高めようとする人。

(4) 情報科学研究科

人材育成の目標

情報科学研究科は、情報工学及び情報科学分野において、学理の探求と科学技術の発展に貢献するとともに、高度な専門学識、専門技術及び創造力を身につけた人材の育成を教育理念とし、次のような人材の育成を目標としています。

1. コンピュータ及びネットワークについて深く、広い知識を身に付けるとともに、コンピュータとネットワークの両者が融合した新たな情報環境の創出を担える人材
2. 知能ソフトウェアや知能メディアに基づいた高度な知的情報システムの研究開発能力を持った人材
3. 広範な価値観のもとでシステム全体の高機能化と協調を図る広い視野をもった研究開発能力を身に付けた人材

4. 分野間研究に横断的に取り組み、柔軟に境界領域、応用領域を開拓する問題発見・解決型能力を持った人材

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程

情報科学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の分野において、高度な専門的技術と理論を修得したうえで、修士論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、修士（情報工学又は情報科学）の学位を授与します。

- コンピュータ及びネットワークの基盤技術、融合技術並びに運用技術分野
- 人間の知的活動を支援する知的情報システム技術分野
- 効率・環境・安全などの多様な価値観のもとで調和と協調を図ったシステム技術分野
- 情報科学・自然科学・工学および医用生体工学に関連する学際融合分野

博士後期課程

情報科学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の分野において、極めて高度な専門的技術と理論を修得したうえで、博士学位論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、博士（情報工学又は情報科学）の学位を授与します。

- コンピュータ及びネットワークの基盤技術、融合技術並びに運用技術分野
- 人間の知的活動を支援する知的情報システム技術分野
- 効率・環境・安全などの多様な価値観のもとで調和と協調を図ったシステム技術分野
- 情報科学・自然科学・工学および医用生体工学に関連する学際融合分野

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

情報科学研究科は、以下の分野において、学理の探究と科学技術の発展に貢献するとともに高度な専門学識・技術と創造力を身に付けた人材の育成を理念としています。

- コンピュータ及びネットワークの基盤技術、融合技術並びに運用技術分野
- 人間の知的活動を支援する知的情報システム技術分野
- 効率・環境・安全などの多様な価値観のもとで調和と協調を図ったシステム技術分野
- 情報科学・自然科学・工学および医用生体工学に関連する学際融合分野

これらの分野において、高度な専門的知識・技能・能力を修得させる教育を実施するために、教育課程を次のように編成します。

博士前期課程

1. 幅広い視野に立った学識を身につけ、高い倫理観を養うため、全研究科共通科目群を教育課程に組み入れます。
2. 専門分野における知識・技術・技能を養うために、理学・工学を統合する視点から教育課程を編成し、以下の科目を開設します。
 - 基礎から応用までの学識・技術の体系を修得する科目
 - 幅広い専門知識を修得するコア科目

- 情報科学の最先端事項を修得する科目
- 高度技術者・研究者の素養を修得する科目（研究成果の学会発表の原則義務化）
- 創造性と自立性および問題解決能力を育成する科目
- 産学連携による創造的な人材を育成する科目

博士後期課程

専門分野に必要な深い学識を養い、高度な研究開発能力および実践的課題解決能力を育成するため、以下の科目を開設します。

- 最先端の極めて高度な学識・技術の体系を修得する科目
- 創造性と自立性の育成、および研究成果の社会的還元を目指す科目
- 産学連携による創造的な人材を育成する科目

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

情報科学研究科では、次のような人の入学を求めています。

1. 情報科学に関する学理の探究と、科学技術の発展に関心がある人。
2. 自ら進んで問題に取り組み、その成果を社会に還元する意欲がある人。
3. 情報科学の探求に必要な数理的・科学的思考ができる人。

(ウ) 芸術学研究科

人材育成の目標

芸術学研究科は、文化芸術の創造及び発展をけん引できる、卓越した創作研究能力及び芸術理論に関する高度の専門性を有した人材の育成を教育理念とし、美術、デザイン・工芸に関する卓越した制作・研究能力を培い、地域文化振興と国際文化交流において指導的な役割を果たす、理論を踏まえた高度の専門性を有する人材を育成することを目標としています。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程

芸術学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の技術や能力を身につけたうえで、以下の修了作品（研究報告書を含む）又は修士論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、修士（芸術）の学位を授与します。

- 研究分野の創作・研究活動において高度な能力を有する。
- 研究分野の創作・研究活動における多様な素材や技術に関して高度な能力を有する。
- 地域や国際社会と関わりながら、芸術と社会に関する豊かな学識と経験を有する。
- 修了作品にあっては、専門的な技術をもち、独創的な表現を追求した作品
- 修士論文にあっては、文献を十分に調査したうえで、独自の洞察を行っている論文

博士後期課程

芸術学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の技術や能力を身につけるか、それと同等以上の学力があると確認された上で、以下の研究作品及び博士学位論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、博士（芸術）の学位を授与します。

- 研究分野の創作・研究活動において卓越した能力を有する。
- 研究分野の創作・研究活動における多様な素材や技術に関して卓越した能力を有する。
- 地域や国際社会と関わりながら、芸術と社会に関する高度な学識と経験を有する。
- 研究作品にあつては、高度に専門的な技術をもち、独創的で卓越した表現を追求したうえで、更なる芸術上の展開が期待できる作品
- 博士学位論文にあつては、適切なテーマを設定し、文献を十分に調査した上で、独自の洞察を行い、的確な構成と表現によって一貫した主張を行っている論文

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

芸術学研究科は、文化芸術の創造・発展をけん引することを理念とし、美術、デザイン・工芸に関する卓越した創作研究、および芸術理論に関する研究の能力を培うことにより、地域文化振興と国際文化交流において指導的な役割を果たし、理論を踏まえた高度の専門性を有する人材を育成することを目的として、教育課程を次のように編成します。

博士前期課程

1. 幅広い視野から芸術を理解し、深い教養を身につけることができるよう、全研究科共通科目群を教育課程に組み入れます。
2. 専門分野における知識・技能を養うための科目を開設し、研究指導を行います。
 - 専門的な創作と理論の研究および発表
 - 創作を基礎づける理論に習熟するための芸術学関連講義
 - 理論構築能力を養う論文作成の演習
 - 分野を超えた造形演習や語学演習
 - 国際的、社会的な環境における創造に関わる研究実践

博士後期課程

専門分野に必要な深い学識と高度な研究能力を養うための科目を開設し、研究指導を行います。

- 高度で専門的な創作の研究および発表
- 専門的な理論研究と高度な理論構築能力を養う論文作成の演習
- 専門領域での探究を基に領域を超えた横断的な研究実践

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

芸術学研究科では、次のような人の入学を求めています。

1. 美術、デザイン・工芸に関する高度な創造や表現を行うために、卓越した制作・研究能力を身につけたい人。
2. 自らの創造や表現の幅を広げるために、多様な素材や技術に関する専門的な知識を学

びたい人。

3. 芸術理論研究を通して、芸術に対する高度な感性と思考力を身につけ、幅広い芸術文化に関わる専門的な知識・研究能力を身につけたい人。
4. 地域文化振興と国際文化交流において指導的な役割を果たすために、芸術と社会に関する豊かな学識と経験を身につけたい人。

(2) 特色ある講義科目（平成 30 年度）

科 目 名		学部等	概 要																		
広島・長崎講座	学部授業科目	ひろしま論	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島歴史、行政、経済、産業、文化などをひもといてその特色を知り、地域社会への関心を深め、地域社会の問題解決と将来の繁栄を思考できる幅広い見識を持った人材を育てる。また、国際平和文化都市広島原点である被爆体験及び広島からの平和の取り組みについて講義する。 																	
		平和と人権A (ヒロシマと国際平和)	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平和と人権の問題を考えるにあたり、特に「平和」の側面に焦点を当て、現代社会におけるその意義、構造、実現するための課題について探求する。 ・ 広島の被爆体験を軸に、様々な角度から広島と平和の関連について考える。 																	
		広島からの平和学：実践の方法	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島からの平和の取り組みに関する一定の基礎知識や関心を持つ学生を対象とし、広島市における平和の取り組みの経験を生かしながら平和活動を実践するための具体的な方法論を学ぶ。 ・ 学内における講義は最小限にとどめ、広島平和文化センター主催の市民向け平和講座「ヒロシマ・ピースフォーラム」と連携し、被爆体験の継承や平和の実践活動を行っている学外の専門家から学ぶ。 																	
		平和インターンシップ	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島市周辺に存在する資料館、美術館、広島城をはじめ、平和や戦争、原爆被爆などについて学べる施設、史跡等に足を運び、実際に見学しながら専門家から講義を受けることで、平和に関する問題を多角的に学ぶ。 ※本インターンシップは、前期集中講義「広島からの平和学：実践の方法」の後期日程として、平成23年度まで単位なしの課外活動として実施してきたが、内容をより充実させ、平成24年度から授業科目化した。 																	
		HIROSHIMA and PEACE	国際学部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島への原爆投下を含む戦時経験について、様々な観点から光を当てるとともに、グローバル化時代における世界平和に関連した今日的課題を取り上げることにより、戦争と平和の本質に対する理解を深める機会を、国内外の学生に提供することを目的として、国際学部と広島平和研究所との協力により、夏期集中講座として開講する。 																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>応募者</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25(2013)</td> <td>国外43名(21カ国) 国内24名</td> <td>国外11名(7カ国) 国内23名</td> </tr> <tr> <td>H26(2014)</td> <td>国外40名(14カ国) 国内31名</td> <td>国外21名(7カ国) 国内24名</td> </tr> <tr> <td>H27(2015)</td> <td>国外49名(13カ国) 国内22名</td> <td>国外16名(8カ国) 国内20名</td> </tr> <tr> <td>H28(2016)</td> <td>国外101名(26カ国) 国内26名</td> <td>国外20名(12カ国) 国内21名</td> </tr> <tr> <td>H29(2017)</td> <td>国外38名(21カ国・地域) 国内19名</td> <td>国外17名(12カ国・地域) 国内16名</td> </tr> </tbody> </table>			応募者	参加者	H25(2013)	国外43名(21カ国) 国内24名	国外11名(7カ国) 国内23名	H26(2014)	国外40名(14カ国) 国内31名	国外21名(7カ国) 国内24名	H27(2015)	国外49名(13カ国) 国内22名	国外16名(8カ国) 国内20名	H28(2016)	国外101名(26カ国) 国内26名	国外20名(12カ国) 国内21名	H29(2017)	国外38名(21カ国・地域) 国内19名	国外17名(12カ国・地域) 国内16名
	応募者	参加者																			
H25(2013)	国外43名(21カ国) 国内24名	国外11名(7カ国) 国内23名																			
H26(2014)	国外40名(14カ国) 国内31名	国外21名(7カ国) 国内24名																			
H27(2015)	国外49名(13カ国) 国内22名	国外16名(8カ国) 国内20名																			
H28(2016)	国外101名(26カ国) 国内26名	国外20名(12カ国) 国内21名																			
H29(2017)	国外38名(21カ国・地域) 国内19名	国外17名(12カ国・地域) 国内16名																			

科 目 名		学部等	概 要
広島・長崎講座	学部授業科目 国際化時代の平和	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島の実体験をはじめ、世界が経験した多様な悲惨な体験とその記憶の継承、現在の社会への影響について学ぶことにより、悲惨な体験と記憶の継承が、平和の喪失から平和の創造へと転じる上で果たす役割について考える。
	研究科授業科目 Conflict and Security Law I・II	国際学 研究科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際法の中でも紛争の防止及び良好な安全保障環境の構築に資する法的知識の取得を通じて平和の創設・維持に寄与できるグローバル人材を養成する。今日の国際社会が直面する課題への考察、被爆地広島及びその近郊に所在する戦争遺構への訪問等を通じて、広島の見点から国際法の知識がどのように位置づけられうるのかについて再確認しつつ、その意義について理解を深める。

科 目 名		学部等	概 要
情報と企業 (産学連携による遠隔講座)		全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ IT技術を中心とした各企業の取り組みを通じて、実社会の状況を知ることが目的とする。 ・ (財) 経済広報センターによる教育支援活動の一環として慶応義塾大学に開設された寄附講座を、実時間遠隔講義環境を利用して、同志社大学、京都大学及び広島市立大学の3大学を接続し、広島市立大学から参加できるようにしている。 ・ 実時間遠隔講義環境を通して、講義中の質疑応答等双方向の対話が可能であり、講師及び他の大学の様子等が表示され、また本大学の様子も他の2大学や講師に対して表示される。
創作と人間		全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芸術学部を持った本学の特徴を最大限に生かし、人間の根源的な創造または創作する気持ちを触発し、作品を造る喜びを伝える。全学部生を対象とし、美術に関する幅広い教養と知識を養うことを目的とする。 ・ 絵画・彫刻・工芸・デザイン等の各領域で、優れた技術と豊富な経験を持つ芸術学部教員が、自らの創作体験や作品の紹介を通して創作への姿勢を示し、その多様な芸術観に触れる機会を提供することで人間的な創作について考察する。
広島観光学		全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島市を中心とする広域圏が有する自然、歴史・文化、食などの地域資源の魅力と可能性について学び、地域資源の付加価値を高める取り組み、地域での創意工夫と観光による地域活性化について理解を深める。 ・ 人々はなぜ観光をするのか、観光の要素、観光を支える仕組みの基礎知識を修得しながら、地域活性化における観光の役割と地域での創意工夫について学ぶ。

科 目 名	学部等	概 要
3 学部合同基礎演習	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> • 3 学部の学生が学部を超えて 10 数名ずつ集まって少人数クラスを作り、与えられた課題をグループワークで解決するなど、学部の専門分野を超えた多様な知識や価値観を身に付ける。 • 「知のトライアスロン」スタートアップコースを授業に取り入れ、読書、映画鑑賞、美術鑑賞を通して幅広い教養を身に付けると同時に、レポート作成やプレゼンテーション、ディスカッションによりコミュニケーション能力を養う。 • 少人数のゼミ形式の授業を体験することで、大学生活に必要な能動的な「学び」の姿勢を身に付ける。
CALL 英語集中 (ネットワーク型集中英語学習プログラム)	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> • コンピューターネットワークを利用した英語集中学習プログラムにより、リスニング、リーディング、文法を集中的に履修する。 • 履修者は、指定された期間中の自分の都合のよい時間に語学センターに来て、ネットワークを通じて配信される教材をコンピューターの指示に従って自分のペースで学習していく。 • このプログラムで用意されている教材をすべて消化するには、毎日 1 時間半程度の学習が必要となる。 • プログラムの受講前と受講後に TOEIC IP テストを実施し、英語力及び学習効果を測定する。 <p>※情報科学部においては、「e ラーニング英語」として学修時間を指定して実施している。</p>

(3) 外部資金の獲得状況（平成25年度～29年度）

(7) 科学研究費助成事業（交付決定額）

○平成29年度内訳は、別表「平成29年度科学研究費補助金交付決定内訳」のとおり

(平成30年3月31日現在)

区 分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
基盤研究(A)	1件	6,600千円	-件	-千円	-件	-千円	-件	-千円	-件	-千円
基盤研究(B)	8件	29,200千円	9件	27,200千円	9件	26,100千円	8件	31,700千円	8件	24,270千円
基盤研究(C)	43件	44,800千円	43件	46,700千円	44件	44,800千円	39件	40,460千円	49件	45,240千円
挑戦的萌芽研究	3件	3,000千円	5件	5,200千円	7件	7,700千円	7件	5,500千円	5件	3,900千円
若手研究(A)	-件	-千円	-件	-千円	-件	-千円	2件	18,600千円	2件	7,000千円
若手研究(B)	7件	5,200千円	10件	6,800千円	8件	5,700千円	6件	5,700千円	8件	6,300千円
新学術領域研究	1件	10,600千円	1件	9,400千円	1件	10,000千円	1件	10,300千円	1件	6,300千円
研究成果公開促進費	1件	1,600千円	-件	-千円	-件	-千円	-件	-千円	-件	-千円
研究スタート支援	1件	1,100千円	2件	1,700千円	1件	1,000千円	-件	-千円	1件	1,100千円
合 計	65件	102,100千円	70件	97,000千円	70件	95,300千円	63件	112,260千円	74件	94,110千円
【参考】間接経費	30,630千円		29,100千円		28,590千円		33,678千円		27,882千円	

※交付決定額(直接経費)の件数及び金額は、本学研究代表者分であり、特別研究員奨励費及び間接経費を除く。
 ※参考掲載の間接経費は、本学研究者代表者分である。

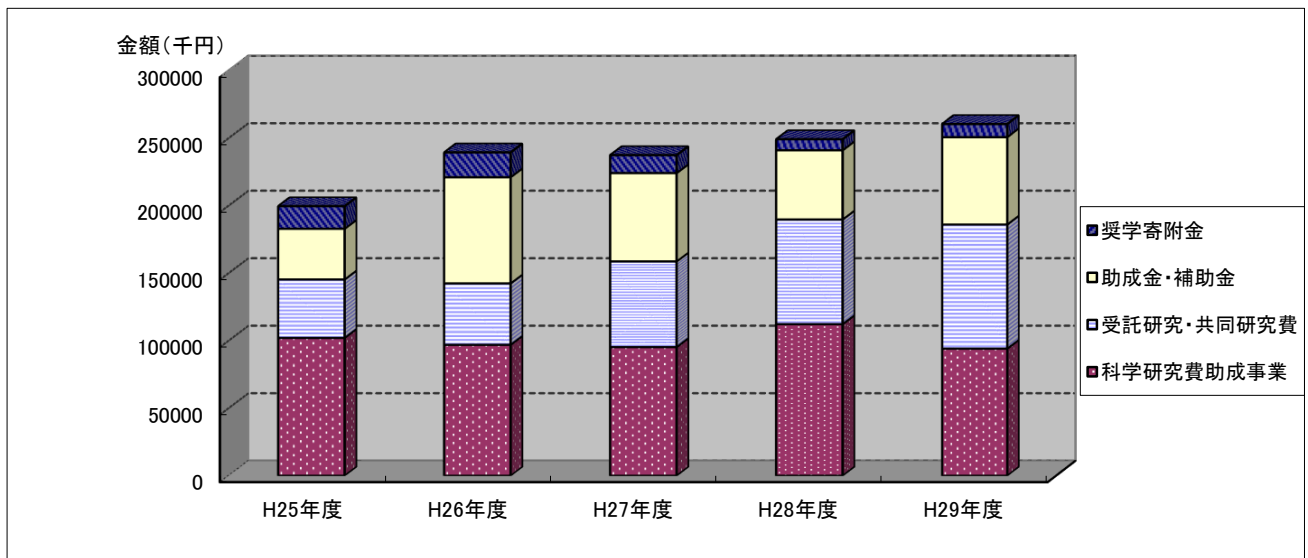
(4) その他外部資金獲得状況

(平成30年3月31日現在)

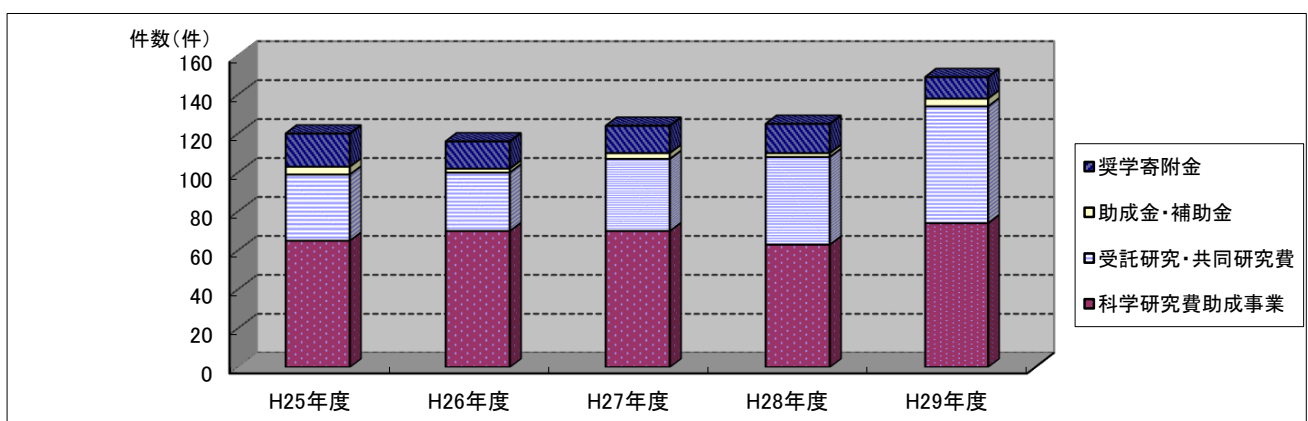
区 分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
受託研究・共同研究費	34件	43,280千円	30件	45,462千円	37件	63,457千円	45件	77,567千円	60件	91,982千円
助成金・補助金	4件	37,566千円	2件	78,650千円	3件	65,420千円	2件	51,238千円	4件	64,707千円
奨学寄附金	17件	16,685千円	14件	18,349千円	14件	13,279千円	15件	8,182千円	11件	9,694千円
合 計	55件	97,531千円	46件	142,461千円	54件	142,156千円	62件	136,987千円	75件	166,383千円

※助成金は助成決定額、奨学寄附金は寄附金受入時の年度で整理している。

(ウ) 外部資金獲得金額の推移



(イ) 外部資金獲得件数の推移



(4) 科学研究費補助金(平成29年度) ※交付決定額は直接経費のみ

① 基盤研究(B) 8件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
国際学部 教授 青木 信之	共通教育期間を通じた英語力向上のための多様な大学環境でのeラーニングマネジメント	4,100
国際学部 教授 岩井 千秋	「英語を英語で」教える高等学校新指導要領が大学英語教育に与える影響	1,800
情報科学研究科 教授 式田 光宏	呼吸器系末梢気道でのその場計測を可能にするカテーテルセンサ技術の開発	1,200
情報科学研究科 教授 日浦 慎作	メソスケール構造を有する物体表面の高精度なモデリングおよび再現	5,070
情報科学研究科 教授 三村 和史	非線形観測による推定の新展開	3,800
情報科学研究科 准教授 古川 亮	高輝度小型パターン光源を用いた3次元内視鏡の開発と人体消化器計測の試み	3,300
情報科学研究科 講師 池田 徹志	運転自動化における高齢者の行動分析に基づく運転システムの設計	2,700
芸術学部 名誉教授 服部 等作	ヒマラヤをめぐる展開された密教工芸の造形と表現の研究	2,300

② 基盤研究(C) 49件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
国際学部 教授 赤星 晋作	アメリカにおける「教職専門職基準」の策定とそのインパクトに関する研究	900
国際学部 教授 李 在鎬	自動車産業における中間財メーカー視点の成長戦略のパターン—独立系企業を中心に—	1,200
国際学部 教授 関村 誠	プロテノス美学におけるアイスステーシスの位置づけ—受容と把握の機能をめぐって—	700
国際学部 教授 高橋 広雅	消費増税が消費行動に与える影響に関する研究:行動経済学と経済実験によるアプローチ	700
国際学部 教授 田川 玄	エチオピアの無形文化遺産をめぐる文化の政治学	1,300
国際学部 准教授 卜部 匡司	三分岐型から二分岐型への中等学校制度改革に伴うドイツ教育評価制度の再編と機能変容	500
国際学部 准教授 大場 静江	フランスにおけるブルターニュの再話文学の系譜—『バルサズ=プレイス』を中心として	1,000
国際学部 准教授 金谷 信子	準市場・介護保険サービスにおける営利・非営利事業者比較の実証分析	500
国際学部 准教授 西田 竜也	第二次世界大戦における連合国間の協力と限界	600
国際学部 准教授 ゴーマン, マイケル	Rural Texts, Global Contexts: Willa Cather's Cosmopolitan Imagination	800
国際学部 准教授 田浪 亜央江	現代パレスチナ文化の観点による平和構築論の再検討 パフォーミング・アートを中心に	700
国際学部 准教授 武藤 彩加	味覚語彙における普遍性と相対性に関する研究	700
国際学部 名誉教授 ミハイロバ, ユリア	教科書の政治学:ロシアの歴史及び日本語教科書の一考察	1,200
情報科学研究科 教授 石田 賢治	新たな離散構造を用いたアシユランスネットワーク制御技術	700
情報科学研究科 教授 井上 智生	ディペンダブル・サイバーフィジカルシステムを指向した取組みLSIの動作合成法	1,100
情報科学研究科 教授 角田 良明	アシユランスネットワーク一般設計方法論に基づいたMANETシステムの強化	900
情報科学研究科 教授 鷹野 優	タンパク質構造形成の高次構造依存性の解明と高次構造依存型分子力場の開発	1,100
情報科学研究科 教授 高橋 健一	学生の振舞いに注目した知的学習支援システム	1,100
情報科学研究科 教授 高濱 徹行	高次元多峰性問題における山谷構造と分布タイプ推定を利用した効率的な集団的最適化	500
情報科学研究科 教授 永山 忍	決定グラフに基づく高速なプログラマブルネットワーク侵入検知システムの開発	1,000
情報科学研究科 教授 西 正博	920MHz帯無線リンクを用いた土砂災害前兆モニタリングネットワークの研究	500

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
情報科学研究科 教授 弘中 哲夫	深層学習を用いた配置配線手法の研究	500
情報科学研究科 教授 藤坂 尚登	量子力学的光・テラヘルツ波受信回路の非線形確率微分方程式による記述とモデリング	1,000
情報科学研究科 教授 松原 行宏	タブレット端末とポータブルな力覚デバイスによる仮想実験環境と学習支援システム	700
情報科学研究科 教授 李 仕剛	運転者の注意解析に基づく能動的運転補助システム	900
情報科学研究科 教授 若林 真一	ストリームデータに対する匿名化処理の情報損失低減と高速化に関する研究	1,200
情報科学研究科 准教授 市原 英行	次世代ストカスティックコンピューティング回路のための3つの要素技術とCAD技術	700
情報科学研究科 准教授 小野 貴彦	IoT技術の活用による救急車の制振性の向上に関する研究	700
情報科学研究科 准教授 岩田 一貴	形状記述子としての距離集合とその改良	700
情報科学研究科 准教授 大田 知行	無線ネットワークのための自律分散クラスタリングを用いた弾力的な通信経路選択技術	1,300
情報科学研究科 准教授 内田 智之	グラフ文法圧縮データからの省メモリ高速グラフマイニング手法の開発	800
情報科学研究科 准教授 河野 英太郎	端末密集環境で利用可能なBluetoothMANET構成法と高速データ転送手法	1,200
情報科学研究科 准教授 小嵯 貴弘	家庭用水道を主導力とする水圧人工筋駆動式パワーアシストの開発	1,100
情報科学研究科 准教授 齋藤 夏雄	正標数の代数的閉体上で定義されたファノ多様体についての研究	1,000
情報科学研究科 准教授 双紙 正和	ハッシュ連鎖の柔軟な構成法およびそれを応用した軽量認証法の研究	1,640
情報科学研究科 准教授 高野 知佐	スペクトル分析と射影追跡法を融合した大規模ユーザネットワークの視覚的分析技術	1,100
情報科学研究科 准教授 高橋 賢	ISDB-Tテレビ放送電波にて伝達される緊急自動起動信号の低消費電力待機受信方法	1,200
情報科学研究科 准教授 宮原 哲浩	強力な表現能力を持つグラフ構造パターンによるグラフ構造データからの深層知識の発見	900
情報科学研究科 講師 岡本 勝	ヘッドマウントディスプレイを活用した誇張現実型化学実験学習支援システム	1,300
情報科学研究科 講師 神尾 武司	マルチエージェント強化学習による実航路の改善	1,100
情報科学研究科 講師 川端 英之	高速な任意制度数値計算のための実数計算ライブラリの実現方式に関する研究	1,200
情報科学研究科 講師 馬場 雅志	実シーンのライトフィールドと仮想物体とのCG画像合成に関する研究	700
情報科学研究科 助教 高橋 雄三	自発的・持続的な学習を誘う良いエクスペリエンスを醸成する情報提示方法に関する研究	1,500
情報科学研究科 助教 中山 仁史	音響的クラスタリングによる骨伝導音の明瞭性改善に関する研究	500
芸術学部 准教授 石松 紀子	マレーシア美術(1960-80年代)にみる現代美術の同時代性についての考察	600
平和研究所 教授 直野 章子	集合的記憶論とトラウマ記憶論の接合可能性の探求ー記憶研究の学際的展開に向けて	500
平和研究所 教授 湯浅 剛	ユーラシアのエネルギー開発・供給と国際秩序に関する基礎的研究:原子力開発を中心に	1,700
平和研究所 准教授 河上 暁弘	歴史・平和教育と平和博物館論の課題ー「歴史・平和教育プログラム」調査を中心に	1,100
平和研究所 准教授 竹本 真希子	20世紀ドイツのジャーナリズムによる平和主義世論の形成に関する研究	700

③ 挑戦的萌芽研究 5件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付内定額
国際学部 教授 渡辺 智恵	英語eラーニングでの自律的学習促進ツールとしての学習履歴データの活用に関する研究	800
情報科学研究科 教授 三村 和史	圧縮センシングのダンピング付き反復再構成法の解析と応用	900
情報科学研究科 准教授 岩根 典之	デジタル教材における説明支援に関する研究	600
情報科学研究科 助教 稲葉 通将	人狼ゲーム研究:他者中の自己モデルを考えた説得的人工知能の開発に向けて	800
芸術学部 名誉教授 服部 等作	王座とその象徴性の基礎研究	800

④ 若手研究(A) 2件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付内定額
情報科学研究科 助教 稲葉 通将	対話的アプローチによる価値観の獲得に関する研究	1,900
情報科学研究科 助教 脇田 航	身体知解析に基づく複合現実型技能伝承システムの構築	5,100

⑤ 若手研究(B) 8件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
国際学部 准教授 古澤 嘉朗	平和構築における法の多元性に関する研究—治安部門改革(支援)に着目して	300
国際学部 准教授 山根 史博	原発災害の不確実性に対する人々の不安(厚生損失)形成メカニズムの実証的解明	400
国際学部 講師 目黒 紀夫	伝統をめぐるマサイの「ポジショニングス」の多様性と可能性	800
情報科学研究科 講師 常盤 達司	脳神経外科治療に必要な高精度測温を実現する配線レス熱電対内臓冷凍プローブの開発	2,300
情報科学研究科 講師 岡山 友昭	Sinc法の再定式化と応用拡大	600
情報科学研究科 助教 岩垣 剛	フィールドでの一時故障への耐性重視した非同期式回路の高信頼設計に関する研究	800
情報科学研究科 助教 齋藤 徹	金属酵素の反応活性と動的構造変化の理論的研究	500
芸術学部 講師 有持 旭	エストニア・アニメーションにおけるシュルレアリスム受容の調査研究	600

⑥ 新学術領域研究 1件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
情報科学研究科 教授 鷹野 優	分子シミュレーションによる生体活性サイトの構造・機能相関の解明とデザイン	6,300

⑦ 研究活動スタート支援 1件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
情報科学研究科 助教 石川 直樹	大規模アンテナアレイによる高速かつ非同期な広帯域通信方式の確立	1,100

74 件

94,110 千円

基盤研究:1人で行う研究または複数の研究者が共同して行う創造的・先駆的な研究

挑戦的萌芽研究:独創的な発想、特に意外性のある着想に基づく芽生え期の研究

若手研究:39歳以下の研究者が1人で行う研究

新学術領域研究:我が国の学術水準の向上・強化につながる新たな研究領域

⑧ 平成29年度科学研究費補助金採択状況（公立大学分）

（新規採択＋継続分）

○交付決定件数順

（金額単位：千円）

順位	機 関 名	件数	配分額	間接経費	合計
1	大阪市立大学	453	814,300	244,290	1,058,590
2	首都大学東京	424	858,500	257,550	1,116,050
3	名古屋市立大学	409	604,300	181,290	785,590
4	大阪府立大学	383	793,800	238,140	1,031,940
5	横浜市立大学	364	656,600	196,980	853,580
6	兵庫県立大学	248	435,500	130,650	566,150
7	福島県立医科大学	218	329,700	98,910	428,610
8	札幌医科大学	214	308,400	92,520	400,920
9	和歌山県立医科大学	208	288,800	86,640	375,440
10	奈良県立医科大学	207	283,800	85,140	368,940
11	静岡県立大学	153	252,600	75,780	328,380
12	滋賀県立大学	106	126,100	37,830	163,930
13	愛知県立大学	96	108,200	32,460	140,660
14	秋田県立大学	92	118,500	35,550	154,050
15	県立広島大学	86	85,500	25,650	111,150
16	高知県立大学	77	85,100	25,530	110,630
17	北九州市立大学	75	96,400	28,920	125,320
18	広島市立大学	74	92,700	27,810	120,510
19	埼玉県立大学	66	64,300	19,290	83,590
20	九州歯科大学	66	84,300	25,290	109,590
21	富山県立大学	58	136,900	41,070	177,970
22	岡山県立大学	54	60,400	18,120	78,520
23	岩手県立大学	51	53,900	16,170	70,070
24	福井県立大学	51	75,000	22,500	97,500
25	宮城大学	48	47,800	14,340	62,140
26	熊本県立大学	34	49,100	14,730	63,830
27	公立ほこだて未来大学	33	38,800	11,640	50,440
28	福岡県立大学	33	28,000	8,400	36,400
29	茨城県立医療大学	32	35,600	10,680	46,280
30	札幌市立大学	31	47,900	14,370	62,270
31	石川県立大学	29	58,300	17,490	75,790
32	神戸市外国語大学	29	29,300	8,790	38,090
33	山口県立大学	29	21,100	6,330	27,430
34	長崎県立大学	29	28,500	8,550	37,050
35	福岡女子大学	28	26,300	7,890	34,190
36	千葉県立保健医療大学	27	24,900	7,470	32,370
37	神奈川県立保健福祉大学	27	28,800	8,640	37,440
38	島根県立大学	27	27,500	8,250	35,750
39	会津大学	26	26,300	7,890	34,190
40	高崎経済大学	23	24,300	7,290	31,590
41	京都市立芸術大学	23	23,100	6,930	30,030
42	山梨県立大学	22	24,300	7,290	31,590
43	三重県立看護大学	22	20,600	6,180	26,780
44	大分県立看護科学大学	22	19,600	5,880	25,480
45	新潟県立大学	21	25,900	7,770	33,670
46	石川県立看護大学	20	28,700	8,610	37,310
47	青森県立保健大学	19	19,200	5,760	24,960
48	沖縄県立看護大学	18	20,000	6,000	26,000
49	都留文科大学	17	16,500	4,950	21,450
50	福山市立大学	17	20,400	6,120	26,520
51	香川県立保健医療大学	17	15,400	4,620	20,020
52	国際教養大学	16	13,500	4,050	17,550
53	山形県立保健医療大学	15	13,200	3,960	17,160

○交付決定件数順

(金額単位：千円)

順位	機 関 名	件数	配分額	間接経費	合計
54	前橋工科大学	15	16,200	4,860	21,060
55	下関市立大学	15	13,400	4,020	17,420
56	愛媛県立医療技術大学	14	11,600	3,480	15,080
57	新潟県立看護大学	12	9,000	2,700	11,700
58	静岡文化芸術大学	12	11,300	3,390	14,690
59	名桜大学	12	11,500	3,450	14,950
60	岐阜県立看護大学	11	8,300	2,490	10,790
61	産業技術大学院大学	10	16,500	4,950	21,450
62	愛知県立芸術大学	10	12,600	3,780	16,380
63	山陽小野田市立山口東京理科大学	10	13,600	4,080	17,680
64	静岡県立大学短期大学部	10	9,800	2,940	12,740
65	尾道市立大学	9	6,200	1,860	8,060
66	沖縄県立芸術大学	9	8,300	2,490	10,790
67	釧路公立大学	8	6,900	2,070	8,970
68	青森公立大学	8	11,800	3,540	15,340
69	長野大学	8	7,200	2,160	9,360
70	名寄市立大学	7	5,400	1,620	7,020
71	金沢美術工芸大学	7	6,100	1,830	7,930
72	新見公立大学	7	5,700	1,710	7,410
73	奈良県立大学	6	6,400	1,920	8,320
74	公立鳥取環境大学	6	7,600	2,280	9,880
75	山形県立米沢栄養大学	5	5,400	1,620	7,020
76	群馬県立女子大学	5	4,400	1,320	5,720
78	宮崎県立看護大学	5	3,300	990	4,290
79	鹿児島県立短期大学	5	3,100	930	4,030
80	秋田公立美術大学	4	3,100	930	4,030
81	長岡造形大学	4	4,200	1,260	5,460
82	会津大学短期大学部	4	5,000	1,500	6,500
83	岩手県立大学盛岡短期大学部	3	1,500	450	1,950
84	島根県立大学短期大学部	3	2,300	690	2,990
85	大分県立芸術文化短期大学	3	1,800	540	2,340
86	敦賀市立看護大学	2	2,400	720	3,120
87	福知山公立大学	2	1,500	450	1,950
88	山形県立米沢女子短期大学	2	1,600	480	2,080
89	岩手県立大学宮古短期大学部	1	800	240	1,040
90	川崎市立看護短期大学	1	500	150	650
91	岐阜市立女子短期大学	1	600	180	780
92	倉敷市立短期大学	1	400	120	520
93	新見公立短期大学	1	500	150	650

※平成29年度、日本学術振興会から交付決定された内定情報が対象(当年度の転出情報を含む。転入情報は含まない。)

(5) 研究開発費助成制度等の採択状況

《平成 29 年度》

◆戦略的創造研究推進事業（文部科学省）

【平成 27 年度採択】

情報科学研究科 教授 鷹野 優

研究課題：新規細胞膜電位シグナルの構造基盤の解明

平成 29 年度：8,710,000 円

◆センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム（文部科学省）

【平成 26 年度採択】

情報科学研究科 教授 竹澤 寿幸

拠点名：精神的価値が成長する感性イノベーション拠点

（平成 26 年度から 5 年間）

平成 29 年度：7,995,000 円

◆平成 29 年度研究拠点形成費等補助金（文部科学省）

【平成 29 年度採択】

プログラム名：成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成（enPiT-Pro）

（平成 29 年度から 5 年間）

平成 29 年度：10,578,000 円

◆平成 29 年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）（文部科学省）

【平成 27 年度採択】

プログラム名：地（知）の拠点大学による地方創生推進事業

（平成 27 年度から 5 年間）

平成 29 年度：50,464,000 円

《平成 28 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進事業[地域 ICT 型研究開発]（総務省）

【平成 27 年度採択】

情報科学研究科 准教授 難波 英嗣

研究課題：訪日外国人旅行者を対象とした地域情報マイニング技術の研究開発

平成 28 年度：5,252,000 円

◆平成 28 年度大学間連携共同教育推進事業運営交付金（文部科学省）

【平成 26 年度採択】

情報科学研究科 教授 増谷 佳孝

研究課題：臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成

（平成 24 年度から 5 年間）

平成 28 年度：6,408,000 円

◆平成 28 年度大学連携による新たな教育プログラム開発・実施事業（広島県）

【平成 26 年度採択】

情報科学研究科 教授 増谷 佳孝

プログラム名 : ひろしま医工学ウィンタースクール

平成 28 年度 : 4,440,000 円

◆平成 28 年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）（文部科学省）

【平成 27 年度採択】

プログラム名 : 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業

（平成 27 年度から 5 年間）

平成 28 年度 : 46,798,000 円

《平成 27 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進事業[地域 ICT 型研究開発]（総務省）

【平成 27 年度採択】

情報科学研究科 准教授 難波 英嗣

研究課題 : 訪日外国人旅行者を対象とした地域情報マイニング技術の研究開発

平成 27 年度 : 2,028,000 円

◆平成 27 年度大学間連携共同教育推進事業補助金（文部科学省）

【平成 26 年度採択】

情報科学研究科 教授 樋脇 治

研究課題 : 臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成

（平成 24 年度から 5 年間）

平成 27 年度 : 9,750,000 円

◆平成 27 年度大学連携による新たな教育プログラム開発・実施事業（広島県）

【平成 26 年度採択】

情報科学研究科 准教授 双紙 正和

プログラム名 : 大学間連携による新たなグローバル人材育成プログラム

（平成 25 年度から 3 年間）

平成 27 年度 : 4,207,000 円

◆平成 27 年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）（文部科学省）

【平成 27 年度採択】

プログラム名 : 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業

（平成 27 年度から 5 年間）

平成 27 年度 : 52,513,000 円

《平成 26 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[地域 ICT 型研究開発] (総務省)

【平成 25 年度採択】

情報科学研究科 講師 谷口 和弘

研究課題 : 広島発・産学官医連携体制による高齢者見守り支援システムの研究
開発

(平成 25 年度から 2 年間)

平成 26 年度 : 9, 243, 000 円

◆平成 26 年度大学間連携共同教育推進事業補助金 (文部科学省)

【平成 26 年度採択】

情報科学研究科 教授 樋脇 治

研究課題 : 臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成
(平成 24 年度から 5 年間)

平成 26 年度 : 12, 600, 000 円

◆平成 26 年度大学連携による新たな教育プログラム開発・実施事業 (広島県)

【平成 26 年度採択】

情報科学研究科 准教授 双紙 正和

プログラム名 : 大学間連携による新たなグローバル人材育成プログラム

(平成 25 年度から 3 年間)

平成 26 年度 : 4, 207, 000 円

《平成 25 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[ICT イノベーション創出型研究開発] (総務省)

【平成 25 年度採択】

情報科学研究科 教授 角田 良明

研究課題 : アシユアランスネットワーク設計原理に基づいた平常時災害時両用
システムの研究開発

平成 25 年度 : 4, 596, 800 円

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[地域 ICT 型研究開発] (総務省)

【平成 25 年度採択】

情報科学研究科 講師 谷口 和弘

研究課題 : 広島発・産学官医連携体制による高齢者見守り支援システムの研究
開発

(平成 25 年度から 2 年間)

平成 25 年度 : 11, 350, 300 円

◆平成 25 年度大学間連携共同教育推進事業補助金 (文部科学省)

【平成 25 年度採択】

情報科学研究科 教授 樋脇 治

研究課題 : 臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成
(平成 24 年度から 5 年間)

平成 25 年度 : 14, 000, 000 円

◆平成 25 年度大学連携による新たな教育プログラム開発・実施事業（広島県）

【平成 25 年度採択】

情報科学研究科 准教授 双紙 正和

プログラム名：大学間連携による新たなグローバル人材育成プログラム

（平成 25 年度から 3 年間）

平成 25 年度：6,390,000 円

《平成 24 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[ICTイノベーション創出型研究開発]（総務省）

【平成 24 年度採択】

情報科学研究科 講師 古川 亮

研究課題：4次元メディアシステムの研究開発

（平成 22 年度から 3 年間）

平成 24 年度：8,320,000 円

◆平成 24 年度大学間連携共同教育推進事業補助金（文部科学省）

【平成 24 年度採択】

情報科学研究科 教授 樋脇 治

研究課題：臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成

（平成 24 年度から 5 年間）

平成 24 年度：13,000,000 円

《平成 23 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[ICTイノベーション創出型研究開発]（総務省）

【平成 23 年度採択】

情報科学研究科 講師 古川 亮

研究課題：4次元メディアシステムの研究開発

（平成 22 年度から 3 年間）

平成 23 年度：7,540,000 円

◆平成 23 年度大学改革推進等補助金（文部科学省）

【平成 23 年度採択】

情報科学研究科 教授 佐野 学

研究課題：医療・情報・工学連携による学部・大学院連結型情報医工学プログラム構築と人材育成

平成 23 年度：23,000,000 円

◆未来の科学者養成講座（独立行政法人 科学技術振興機構）

【平成 23 年度採択】

情報科学研究科 教授 佐野 学

委託業務名：ひろしまコンピュータサイエンス塾～情報科学ってスゴイ！～

（平成 21 年度から 3 年間）

平成 23 年度：6,763,100 円

《平成 22 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[地域 ICT 振興型研究開発]（総務省）

【平成 22 年度採択】

情報科学研究科 教授 石田 賢治

研究課題：超高速衛星回線を有効利用する基盤技術の研究開発
(平成 21 年度から 2 年間) 平成 22 年度：11,196,900 円

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[若手 ICT 研究者育成型研究開発]（総務省）

【平成 22 年度採択】

情報科学研究科 講師 福田 浩士

研究課題：脳の感覚運動変換メカニズムの解明に関する研究開発
(平成 20 年度から 2 年間) 平成 22 年度：2,871,700 円

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[ICT イノベーション創出型研究開発]（総務省）

【平成 22 年度採択】

情報科学研究科 講師 古川 亮

研究課題：4次元メディアシステムの研究開発
(平成 22 年度から 3 年間) 平成 22 年度：6,890,000 円

◆平成 22 年度大学改革推進等補助金（文部科学省）

【平成 22 年度採択】

情報科学研究科 教授 佐野 学

研究課題：医療・情報・工学連携による学部・大学院連結型情報医工学プログラム構築と人材育成

平成 22 年度：18,460,000 円

◆未来の科学者養成講座（独立行政法人 科学技術振興機構）

【平成 22 年度採択】

情報科学研究科 教授 佐野 学

委託業務名：ひろしまコンピュータサイエンス塾～情報科学ってスゴイ！～
(平成 21 年度から 3 年間) 平成 22 年度：7,074,100 円

《平成 21 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[地域 ICT 振興型研究開発]（総務省）

【平成 21 年度採択】

情報科学研究科 教授 前田 香織

研究課題：モビリティ技術を活用した国際都市ホスピタリティ向上に関する研究開発
(平成 20 年度から 2 年間) 平成 21 年度：9,726,600 円

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[若手 ICT 研究者育成型研究開発]（総務省）

【平成 21 年度採択】

情報科学研究科 講師 福田 浩士

研究課題：脳の感覚運動変換メカニズムの解明に関する研究開発
(平成 20 年度から 2 年間) 平成 21 年度：4,386,200 円

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[地域ICT振興型研究開発]（総務省）

【平成21年度採択】

情報科学研究科 教授 石田 賢治

研究課題：超高速衛星回線を有効利用する基盤技術の研究開発
(平成21年度から2年間) 平成21年度：12,052,300円

◆未来の科学者養成講座（独立行政法人 科学技術振興機構）

【平成21年度採択】

情報科学研究科 教授 佐野 学

委託業務名：ひろしまコンピュータサイエンス塾～情報科学ってスゴイ！～
(平成21年度から3年間) 平成21年度：7,776,000円

(6) FD・SD活動実施状況（平成29年度）

内 容	年月日	テーマ／講師
新任教職員FD・SD研修会 ①参加者数：36名 ②場所：大会議室	平成29年4月6日 ～4月7日	理事長講話／青木理事長 大学紹介／若林理事・前川理事 事務局の概要／加茂主査 学内視察
前期授業アンケート ①受講登録者数：15,774人 ②回答者数：12,039人 （回答率：76.3%）	平成29年6月3日 ～9月29日	
IR研修会 ①参加者数：48人 ②場所：講義棟605講義室	平成29年7月28日	マネジメントツールとしてのIR／佐賀大学アド ミッションセンター教授イノベーションリサーチ室長 西郡 大教 授
競争的資金獲得研修会 ①参加者数：54名 ②場所：講堂小ホール	平成29年8月2日	本学の科研費の獲得状況について／日浦研究担当 副理事 競争的資金獲得の方法とメリット／九州大学大学 院 法学研究院 大賀 哲准教授
ウェブサイト研修 ①参加人数：42名 ②場所：大会議室	平成29年8月17日	「ウェブサイト研修」リニューアルしたウェブサ イトの編集方法（WordPress）についてなど
倫理研修 ①参加人数：112名 ②場所：大会議室	平成29年9月7日 ～9月13日	倫理研修 6班に分けて開催
高大接続システム改革研修会 ①参加者数：50名 ②場所：講堂小ホール	平成29年10月12日	高等学校における主体的な学びを促す授業実践／ 広島県立祇園北高等学校 柞磨 昭孝 校長
ハラスメント防止及び服務研修 （飲酒運転防止） ①参加者数：57人 ②場所：講堂小ホール	平成29年11月17日	ハラスメント防止・飲酒運転防止等の講習会／植 永企画室長
後期授業アンケート ①受講登録者数：14,870人 ②回答者数10,928人 （回答率：73.5%）	平成29年11月23日 ～ 平成30年2月28日	
第1回全学COC+研修会 ①参加者数98名 ②場所：講堂小ホール	平成29年11月30日	地域課題演習一初年度の取組の報告一／國本特任 教授（社会連携センター）

内 容	年月日	テーマ／講師
知的財産権について ①参加者数：27名 ②場所：講堂小ホール	平成29年12月6日	知的財産権について／島筒特任講師（社会連携センター）
産業医講習会によるストレスチェック ①参加者数：27名 ②場所：講堂小ホール	平成29年12月7日	産業医講習会「ストレスチェックについて」／講師：伊藤 仁
障害を理由とする差別の解消の推進に関する教職員の対応について ①参加者数：56名 ②場所：講堂小ホール	平成30年2月1日	障害者差別解消法の概要について／広島市健康福祉局障害福祉課 主査 酒井 美賀 広島市立大学障害を理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応要領について／川谷学生支援室長
情報セキュリティセミナー ①参加者数：50名 ②場所：講堂小ホール	平成30年2月6日	「正しく怖がるインターネット～事例に学ぶ情報モラル」／グリーン株式会社 社会貢献チーム マネージャー 小木曾 健
第2回全学COC+研修会 ①参加者数：79名 (COC+参加大学5名を含む) ②場所：講堂小ホール	平成30年2月19日	「社会プロジェクトに取り組む 広島経済大学の興動館教育プログラム ～ゼロから立ち上げる～ 興動人の育成」／広島経済大学 教育・学習支援センター長、興動館科目創造センター長 濱田 敏彦教授

3 入学試験

(1) 入学試験の概要

ア 学部（平成31年度入試）

◇一般入試

試験区分	募集人員	学部	試験科目等	備考
前期日程	60	国際学部	小論文	本学が指定する科目について大学入試センター試験の受験を課す。
	130	情報科学部	数学、外国語、理科	
	50	芸術学部 美術学科油絵専攻 デザイン工芸学科	実技検査	
後期日程	20	国際学部	総合問題	
	40	情報科学部	数学	
	27	芸術学部 美術学科日本画専攻 美術学科彫刻専攻 デザイン工芸学科	実技検査	
合計	327	(内訳 国際学部 80 情報科学部 170 芸術学部 77)		

◇特別入試

試験区分	募集人員	学部	試験科目等	備考
推薦入試	市内公募	国際学部	小論文、面接	市内公募:入学時の1年以上前から広島市に住所を有している者
	全国公募			
	市内公募	情報科学部	総合問題、面接	
	全国公募			
自己推薦入試	3	芸術学部 美術学科彫刻専攻	自己アピール資料、実技、面接	自己アピール資料は出願時に提出
外国人留学生入試	若干名	国際学部	小論文、面接	①本学が指定する科目について日本留学試験の受験を課す。 ②TOEIC [®] の受験を課す。(芸術学部のみ)
	若干名	情報科学部	数学、面接	
	若干名	芸術学部	実技検査、面接	
合計	63	(内訳 国際学部 20 情報科学部 40 芸術学部 3)		

◇編入学試験

試験区分	募集人員	学部	試験科目等	備考
一般入試	若干名	情報科学部	面接	TOEIC [®] の受験を課す。

イ 大学院（平成31年度入試）

◇一般入試

試験区分	募集人員	研究科	試験科目等	備考
博士前期課程	15	国際学研究科	外国語、共通問題及び専門問題、口述試験	平成30年10月入学有り (募集人員:若干名) TOEIC®の受験を課す。 (情報科学研究科のみ)
	47	情報科学研究科	外国語、数学、データ構造とアルゴリズム、面接 ※実施科目は全専攻で統一	
	30	芸術学研究科	外国語 作品提出又は論文 研究計画書 実技、プレゼンテーション又は筆記試験 口述試験 ※実施科目は志望研究室によって異なる	
博士後期課程	7	国際学研究科	外国語、専門問題、口述試験	平成30年10月入学有り (募集人員:若干名)
	28	情報科学研究科	専門科目、口述試験	
	6	芸術学研究科	外国語、作品提出、口述試験、小論文	
合計	133	(内訳 博士前期課程 92 博士後期課程 41)		

◇特別入試

試験区分	募集人員	研究科	試験科目等	備考	
博士前期課程	社会人入試	若干名	国際学研究科	共通問題及び小論文、口述試験	平成30年10月入学有り (募集人員:若干名)
		若干名	情報科学研究科	面接	
	海外学術交流協定大学推薦入試	若干名	国際学研究科	書類選考	
	推薦入試	37	情報科学研究科	面接	TOEIC®の受験を課す。
博士後期課程	社会人入試	若干名	国際学研究科	外国語、専門問題、口述試験	平成30年10月入学有り (募集人員:若干名)
		若干名	情報科学研究科	口述試験	
	海外学術交流協定大学推薦入試	若干名	国際学研究科	書類選考	
合計	37+若干名 (内訳 博士前期課程 37+若干名 博士後期課程 若干名)				

(2) 入学試験実施状況（平成30年度入試）

ア 学部1年次入学

・入学試験実施状況

学部	学科	募集人員	志願者数	受験者数 (A)	合格者数 (B)	入学者数	倍率 (A/B)	
国際学部	国際学科	人 100	人 645	人 466	人 129	人 110	倍 3.6	
情報科学部	情報工学科	210	812	563	256	233	2.2	
	知能工学科							
	システム工学科							
	医用情報科学科							
芸術学部	美術学科	日本画専攻	10	41	35	13	10	2.7
		油絵専攻	20	56	55	25	21	2.2
		彫刻専攻	10	41	38	15	10	2.5
	デザイン工芸学科	40	209	144	46	44	3.1	
	計	80	350	275	99	85	2.8	
合 計		390	1,807	1,304	484	428	2.7	

・入学者の男女別、県内・県外別、卒業年調

学 部	入学者数	男	女	広島県内		広島県外	卒 業 年	
				広島市内	広島市外		新卒	既卒・他
国際学部	人 110	人 30	人 80	人 36	人 17	人 57	人 99	人 11
情報科学部	233	184	49	92	51	90	206	27
芸術学部	85	16	69	25	10	50	63	22
合 計 (構成比)	428	230 (53.7%)	198 (46.3%)	153 (35.8%)	78 (18.2%)	197 (46.0%)	368 (86.0%)	60 (14.0%)

イ 学部3年次編入学

・入学試験実施状況

学 部	学 科	募集人員	志願者数	受験者数 (A)	合格者数 (B)	入学者数	倍率 (A/B)
情報科学部	情報工学科	人 若干名	人 1	人 1	人 1	人 1	倍 1.0
	知能工学科	若干名	-	-	-	-	-
	システム工学科	若干名	1	1	-	-	-
	医用情報科学科	若干名	1	1	1	1	1.0
	合 計	若干名	3	3	2	2	1.5

・入学者の男女別、県内・県外別、卒業年調

学部	入学者数	男	女	広島県内		広島県外	卒 業 年	
				広島市内	広島市外		新卒	既卒他
情報科学部	人 2	人 2	人 -	人 -	人 -	人 2	人 2	人 -

ウ 大学院（博士前期課程 平成30年4月入学分）

・入学試験実施状況

研究科	専攻	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
国際学研究科	国際学専攻	人 15	人 2 (2)	人 1 (1)	人 1 (1)	人 1 (1)
情報科学研究科	情報工学専攻	23	24 (0)	22 (0)	20 (0)	20 (0)
	知能工学専攻	23	13 (0)	13 (0)	13 (0)	12 (0)
	システム工学専攻	23	24 (0)	24 (0)	23 (0)	20 (0)
	医用情報科学専攻	15	9 (0)	9 (0)	9 (0)	8 (0)
	計	84	70 (0)	68 (0)	65 (0)	60 (0)
芸術学研究科	造形芸術専攻	30	23 (6)	22 (6)	20 (5)	19 (5)
合 計		129	95 (8)	91 (7)	86 (6)	80 (6)

※()内は留学生数で内数である。

※国際学研究科及び情報科学研究科の募集人員は、平成30年10月入学分を含む。

・入学者の男女別、出身大学別、卒業年調

研究科	入学者数	男	女	出身大学		卒業年	
				本学	他大学	新卒	既卒他
国際学研究科	人 1	人 1	人 0	人 0	人 1	人 0	人 1
情報科学研究科	60	52	8	59	1	60	0
芸術学研究科	19	3	16	14	5	14	5
計	80	56	24	73	7	74	6

エ 大学院（博士後期課程 平成30年4月入学分）

・入学試験実施状況

研究科	専攻	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
国際学研究科	国際学専攻	人 7	人 - (0)	人 - (0)	人 - (0)	人 - (0)
情報科学研究科	情報科学専攻	28	3 (0)	3 (0)	3 (0)	3 (0)
芸術学研究科	総合造形芸術専攻	6	5 (2)	5 (2)	5 (2)	4 (2)
合 計		41	8 (2)	8 (2)	8 (2)	7 (2)

※()内は留学生数で内数である。

※国際学研究科及び情報科学研究科の募集人員は、平成30年10月入学分を含む。

・入学者の男女別、出身大学院別、修了年調

研究科	入学者数	男	女	出身大学院		修了年	
				本学	他大学	新卒	既卒他
国際学研究科	人 -	人 -	人 -	人 -	人 -	人 -	人 -
情報科学研究科	3	3	-	2	1	2	1
芸術学研究科	4	3	1	3	1	3	1
計	7	6	1	5	2	5	2

(3) 年次別競争率等（平成21年度～30年度入試）

ア 年次別競争率

（単位：倍）

区 分		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
国際学部	推薦入試	2.8	2.1	1.8	2.3	2.2	1.9	1.9	2.0	2.4	2.1
	一般入試 前期日程	3.0	3.7	3.5	1.9	3.3	2.3	3.0	2.1	3.3	3.3
	一般入試 後期日程	5.9	5.6	5.0	3.8	5.3	3.3	4.1	4.0	5.5	6.7
情報科学部	推薦入試	1.5	1.8	1.8	1.7	2.1	1.9	2.1	1.8	1.8	2.2
	一般入試 前期日程	3.2	2.6	2.1	3.4	3.4	2.4	3.1	2.5	1.8	2.0
	一般入試 後期日程	4.9	3.7	5.9	4.0	6.7	2.4	4.7	4.0	3.1	3.0
芸術学部	彫刻専攻 自己推薦入試	/	/	/	4.4	3.8	2.8	3.5	3.0	1.5	3.5
	一般入試	2.6	2.0	2.3	2.5	2.4	2.3	3.0	2.8	3.0	2.7

イ 特別入試入学者数

（単位：人）

区 分		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
国際学部	推薦入試	26	27	25	25	22	25	26	25	25	27
	外国人留学生 入試	1	3	3	6	5	7	1	4	9	8
情報科学部	推薦入試	42	45	50	45	49	47	46	44	44	47
	外国人留学生 入試	—	2	3	2	2	2	1	1	1	1
芸術学部	彫刻専攻 自己推薦入試	/	/	/	5	4	4	4	4	4	4
	外国人留学生 入試	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	推薦入試	68	72	75	70	71	72	72	69	69	74
	彫刻専攻 自己推薦入試	/	/	/	5	4	4	4	4	4	4
	外国人留学生 入試	1	5	6	8	7	9	2	5	10	9

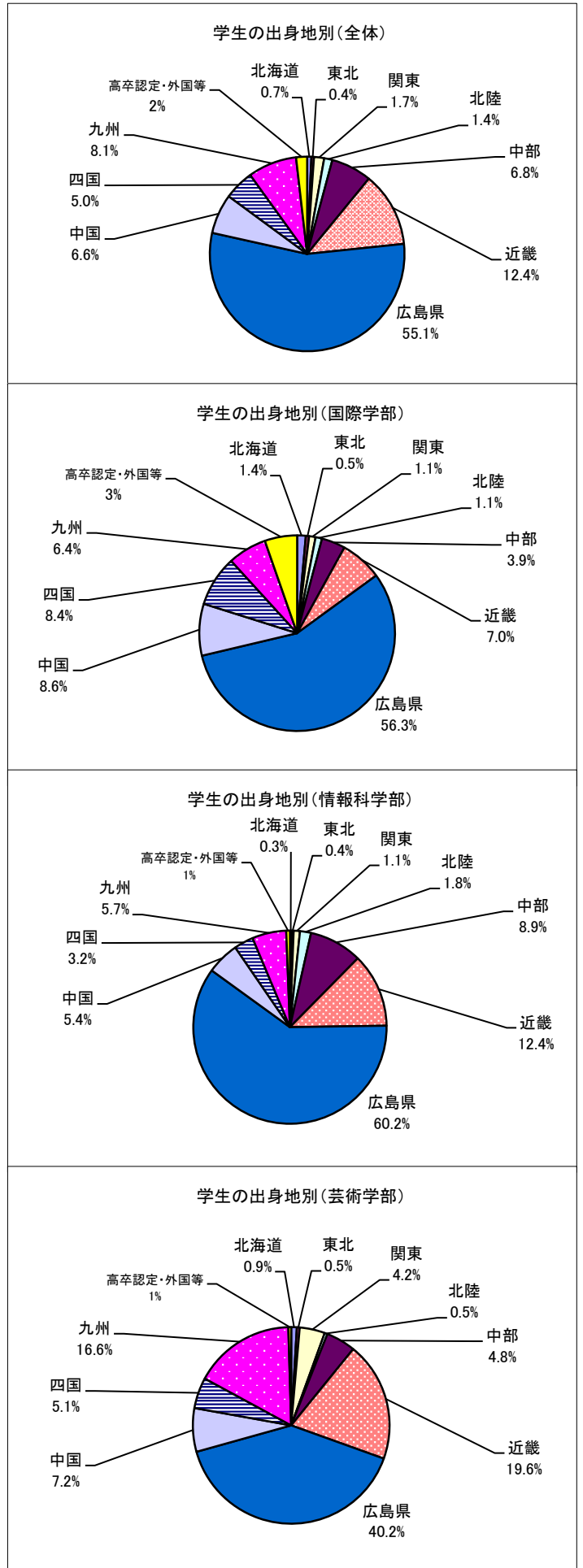
ウ 編入学者数

（単位：人）

区 分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
募集人員	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
受験者数	8	8	12	6	1	2	4	1	1	3
入学者数	2	4	2	2	0	1	1	0	0	2

(4) 入学者の状況
出身都道府県別内訳（平成26年度～30年度 学部）

出身地域	人数	内訳			
		国際学部	情報科学部	芸術学部	
北海道地方	15	8	3	4	
東北地方	青森県	1	0	1	0
	岩手県	0	0	0	0
	宮城県	6	3	1	2
	秋田県	0	0	0	0
	山形県	1	0	1	0
	福島県	1	0	1	0
	小計	9	3	4	2
関東地方	茨城県	6	2	1	3
	栃木県	5	2	3	0
	群馬県	1	0	0	1
	埼玉県	3	0	0	3
	千葉県	2	1	1	0
	東京都	12	1	4	7
	神奈川県	7	0	3	4
小計	36	6	12	18	
北陸地方	新潟県	1	0	1	0
	富山県	6	0	5	1
	石川県	8	2	5	1
	福井県	14	4	10	0
小計	29	6	21	2	
中部地方	山梨県	5	0	5	0
	長野県	7	2	4	1
	岐阜県	20	3	14	3
	静岡県	44	5	30	9
	愛知県	68	12	48	8
小計	144	22	101	21	
近畿地方	三重県	28	4	16	8
	滋賀県	18	3	11	4
	京都府	47	7	18	22
	大阪府	61	9	27	25
	兵庫県	75	10	53	12
	奈良県	22	2	7	13
	和歌山県	14	4	9	1
小計	265	39	141	85	
中国地方	鳥取県	10	3	6	1
	島根県	35	9	23	3
	岡山県	45	25	9	11
	広島県	1,176	316	686	174
	山口県	51	11	24	16
小計	1,317	364	748	205	
四国地方	徳島県	11	5	3	3
	香川県	42	20	12	10
	愛媛県	39	14	20	5
	高知県	14	8	2	4
小計	106	47	37	22	
九州地方	福岡県	60	5	20	35
	佐賀県	11	3	4	4
	長崎県	23	8	9	6
	熊本県	19	3	7	9
	大分県	11	2	8	1
	宮崎県	17	6	6	5
	鹿児島県	27	6	10	11
沖縄県	5	3	1	1	
小計	173	36	65	72	
高卒認定・外国等	39	30	7	2	
合計	2,133	561	1,139	433	



(5) 社会人入試（大学院）の状況

◆ 国際学研究所（平成 30 年度入試）

(1) 博士前期課程

- ア 募集人員 若干名
- イ 出願資格 学校教育法に規定する大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認めた者で、入学時において3年以上の職歴又はその他の経験（例えば主婦、ボランティア活動など）を有する者
- ウ 選抜方法 筆記試験、口述試験

(2) 博士後期課程

- ア 募集人員 若干名
- イ 出願資格 修士の学位を有する者又はこれと同等以上の学力があると認めた者で、入学時において3年以上の職歴又はその他の経験（例えば主婦、ボランティア活動など）を有する者
- ウ 選抜方法 筆記試験、口述試験

◆ 情報科学研究科（平成 30 年度入試）

(1) 博士前期課程

- ア 募集人員 若干名
- イ 出願資格 学校教育法に規定する大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認めた者で、教育機関又は研究機関・官公庁・企業等において、通算して2年以上の勤務経験を有する者
- ウ 選抜方法 面接

(2) 博士後期課程

- ア 募集人員 若干名
- イ 出願資格 修士の学位を有する者又はこれと同等以上の学力があると認めた者で、教育機関又は研究機関・官公庁・企業等において、通算して2年以上の勤務経験を有する者
- ウ 選抜方法 口述試験

◆ 社会人入試による入学者数（平成 25～29 年度）

単位：人

区 分		H25	H26	H27	H28	H29	
国際学研究所	博士前期課程	4月入学	2	1	3	2	0
		10月入学	1	2	0	0	2
	博士後期課程	4月入学	0	0	0	0	0
		10月入学	0	0	0	1	1
情報科学研究科	博士前期課程	4月入学	0	0	0	1	0
		10月入学	0	0	0	0	0
	博士後期課程	4月入学	0	0	0	2	0
		10月入学	0	1	0	0	0

4 学生生活

(1) 学生の受賞状況

《平成 29 年度》

※学年は受賞当時

◆印は学生表彰受賞者

国際学部・国際学研究科

◆国際学部 4 年 向地 由

官民協働海外留学支援制度（トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム）に採択され、2016 年 4 月から 2017 年 1 月までルワンダ・プロテスタント人文社会科学大学に留学した。本学で最初に採択された学生の一人であり、後輩へも申請の助言を実施している。

ルワンダ留学中、留学先の大学で「ヒロシマセミナー」を開催し、ヒロシマの歴史や直面する記憶の継承について発表し、先方の大学関係者・学生と意見交換を実施した。

また、広島の NGO と連携し、ヒロシマに関する絵本や資料を先方の大学に寄贈した。

情報科学部・情報科学研究科

◆情報科学研究科 知能工学専攻 2 年 上村 譲史

感情情報処理に関する国際ワークショップ「The Second Workshop on Processing Emotions, Decisions and Opinions (EDO 2017) at 8th Language & Technology Conference」において、最優秀論文賞 (Best Paper Award) を受賞した。

◆情報科学研究科 情報工学専攻 2 年 谷 隆磨

国際会議 The 16th International Workshop on Assurance in Distributed Systems and Networks (ADSN 2017) において、投稿論文が採択されたことに加え、全国的な学会である電子情報通信学会のネットワークソフトウェア研究会にて、学術研究活動に対する賞を続けて受賞している。

□情報科学研究科（博士前期課程） 知能工学専攻 1 年 堀部 智也

2017 年 3 月、香港（The Royal Garden Hotel, Kowloon）で開催された「The 2017 IAENG International Conference on Computer Science」において発表した論文が、「The Best Paper Award for The 2017 IAENG International Conference on Computer Science」（最優秀論文賞）を受賞した。

□情報科学研究科（博士前期課程） 情報工学専攻 1 年 湯浅 将 アプリ作成部門最優秀賞

□情報科学研究科（博士前期課程） 情報工学専攻 1 年 三宅 雄介 アプリ作品部門優秀賞

□情報科学研究科（博士前期課程） 情報工学専攻 1 年 山下 裕司 アプリ作品部門優秀賞

2017 年 10 月、本学で開催された「学生ケータイあわ〜ど 2017」で受賞した。

□情報科学研究科（博士前期課程） 情報工学専攻 2 年 久保田 直弥

2017 年 11 月、「デザインガイア 2017」において、最優秀ポスター賞を受賞した。

□ 情報科学部システム工学科 4年 永井 美和

2017年11月、山梨大学甲府キャンパスで開催された「第37回日本生体医工学会甲信越支部大会」において、「優秀賞」を受賞した。

□ 情報科学研究科（博士前期課程）1年 加森 剛徳

□ 情報科学研究科（博士前期課程）1年 林 健汰

2017年12月、熊本市国際交流会館で開催された、情報処理学会インターネットと運用技術研究会が主催する「第10回インターネットと運用技術シンポジウム」において、「優秀論文賞」を受賞した。

□ 情報科学部システム工学科 4年 早田 桃子

2017年12月、近畿大学産業理工学部で開催された「第42回人類動態学会西日本地方会」において、「若手優秀発表賞」を受賞した。

□ 情報科学部情報工学科 4年 平本 和樹

□ 情報科学部情報工学科 4年 原 智裕

□ 情報科学部情報工学科 4年 鎌田 時生

□ 情報科学研究科（博士前期課程）情報工学専攻1年 山下 裕司

2018年1月、「第8回ユニーク・自作チップ・コンテスト in ひびきの」において、「優秀賞」を受賞した。

□ 情報科学研究科（博士後期課程）情報科学専攻3年 酒井 達弘

「ラケシュ・アグラワル賞」と「学生プレゼンテーション賞」

□ 情報科学研究科（博士前期課程）知能工学専攻2年 平前 歩

「学生プレゼンテーション賞」

2018年3月、福井県あわら市で開催された「第10回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム（DEIM2018）」において受賞した。

□ 情報科学部情報工学科 4年 西山 佳志

2018年3月、芝浦工業大学豊洲キャンパスで開催された「情報処理学会第198回ソフトウェア工学研究発表会」において、「学生研究賞」を受賞した。

芸術学部・芸術学研究科

◆ 芸術学研究科総合造形芸術専攻3年 大庭 孝文

日本画の公募団体「創画展」で奨励賞を受賞した。創画展は全国規模の日本画公募団体展で、学生での受賞は稀であり、作品の質の高さが評価された。また、2016～2017年「若手新進芸術家育成交流展」では、各美術系大学から推薦された118名の中から17名の優秀作品賞に選ばれた。さらに受賞者から選出される「新進芸術家選抜展 FAUSS」の7名にも選ばれている。若手育成事業として国内の芸術系大学が参加したこの展覧会での受賞は、本学の芸術学部の評価にも大きく貢献している。

◆芸術学部デザイン工芸学科4年 松本 千里

東京ミッドタウンが、新しい日本の価値・感性・才能を創造し世界に発信し続ける街として、才能あるデザイナーやアーティストを表彰する「Tokyo Midtown Award2017 (第10回)」(東京ミッドタウン)アート部門において、327件の中の6点に選ばれ、優秀賞を獲得した。

また、「第5回広島新県美展」(広島県立美術館)では、工芸部門において優秀賞を受賞し、広島県立美術館と他8か所の巡回展で展示された。京都から日本の工芸界を見据えるために開催された「次世代工芸展」(京都市美術館)では、AI KOWADA賞(大賞)を受賞した。

さらに、マツダ・広島市立大学共創ゼミ「作品審査～次世代マツダデザインへ向けての仕込み」においても優秀作品に選出された。その他、旧日本銀行広島支店、大阪、SUNABAギャラリーでの企画展に選抜されるなど4年生でありながら新鋭作家として各分野及び各地域から高い評価を得て、数々の業績を挙げている。

◆芸術学研究科造形芸術専攻1年 但馬 敦

2017年7月、金属工芸公募展「いまからまめさら2017」展にて85名の応募者(出展総数:約100点)の中から最高賞の山中源兵衛賞を受賞した。

□芸術学研究科(博士後期課程)総合造形芸術専攻1年 久保田 寛子 入選

□芸術学研究科(博士前期課程)造形芸術専攻2年 梅田 綾香 努力賞

2017年10月、「第72回新匠工芸会展」において受賞した。

□芸術学研究科(博士後期課程)総合造形芸術専攻1年 久保田 寛子

2017年12月、一般財団法人ケンシン地域振興財団による「第33回県民文化奨励賞」を受賞した。

□芸術学研究科(博士後期課程)総合造形芸術専攻3年 浅埜 水貴

2018年1月、「広島信用金庫日本画奨励賞」を受賞した。

学生課外活動(クラブ活動)

◆芸術学部美術学科4年 第16回西風新都駅伝大会実行委員会実行委員長 梶田 綺女

第16回西風新都駅伝大会実行委員会は、本学のトライアスロン部が中心となり、大学構内及び周辺において駅伝大会を主催することより、大学と地域との連携、相互理解に努めている。これまで、参加された市民の方々から高い評価を受けており、今後も継続的に本学と地域の懸け橋としての活動、相互理解の発展に寄与するものと見込まれる。

□国際学部国際学科 3年 梶原 今日子

□情報科学部システム工学科 3年 坂井 美友

□情報科学部システム工学科 3年 畠中 菜々美

2017年12月、「魅力発信グランプリ2017」において優秀賞を受賞した。

魅力発信グランプリとは、地元企業の若手社員と学生がチームを組み、企業の採用パンフレットを作成するプロジェクト。

5 就職

(1) 就職・進学等

ア 学部別の状況(平成29年度)

平成30年3月30日現在

(ア) 学部生

(単位:名、%)

区 分		卒 業 者 (A + C + D)	就職希望者			進 学 者 (C)	進 学 ・ 就 職 以 外 (D)	前 年 度(H29年3月卒)					
			希 望 者 (A)	就 職 者 (B)	就 職 決 定 率 (B/A× 100)			卒 業 者	就職希望者			進 学 者	進 学 ・ 就 職 以 外 の 者
									希 望 者	就 職 者	就 職 決 定 率		
国際学部	男	28	24	24	100.0	3	1	24	15	15	100.0	5	4
	女	88	81	78	96.3	3	4	87	78	78	100.0	2	7
	計	116	105	102	97.1	6	5	111	93	93	100.0	7	11
情報科学部	男	154	93	92	98.9	57	4	164	94	92	97.9	61	9
	女	49	33	33	100.0	11	5	39	32	32	100.0	5	2
	計	203	126	125	99.2	68	9	203	126	124	98.4	66	11
芸術学部	男	10	5	5	100.0	2	3	16	4	4	100.0	7	5
	女	68	35	34	97.1	14	19	65	35	32	91.4	15	15
	計	78	40	39	97.5	16	22	81	39	36	92.3	22	20
合 計	男	192	122	121	99.2	62	8	204	113	111	98.2	73	18
	女	205	149	145	97.3	28	28	191	145	142	97.9	22	24
	計	397	271	266	98.2	90	36	395	258	253	98.1	95	42

(イ) 大学院生(博士前期課程)

(単位:名、%)

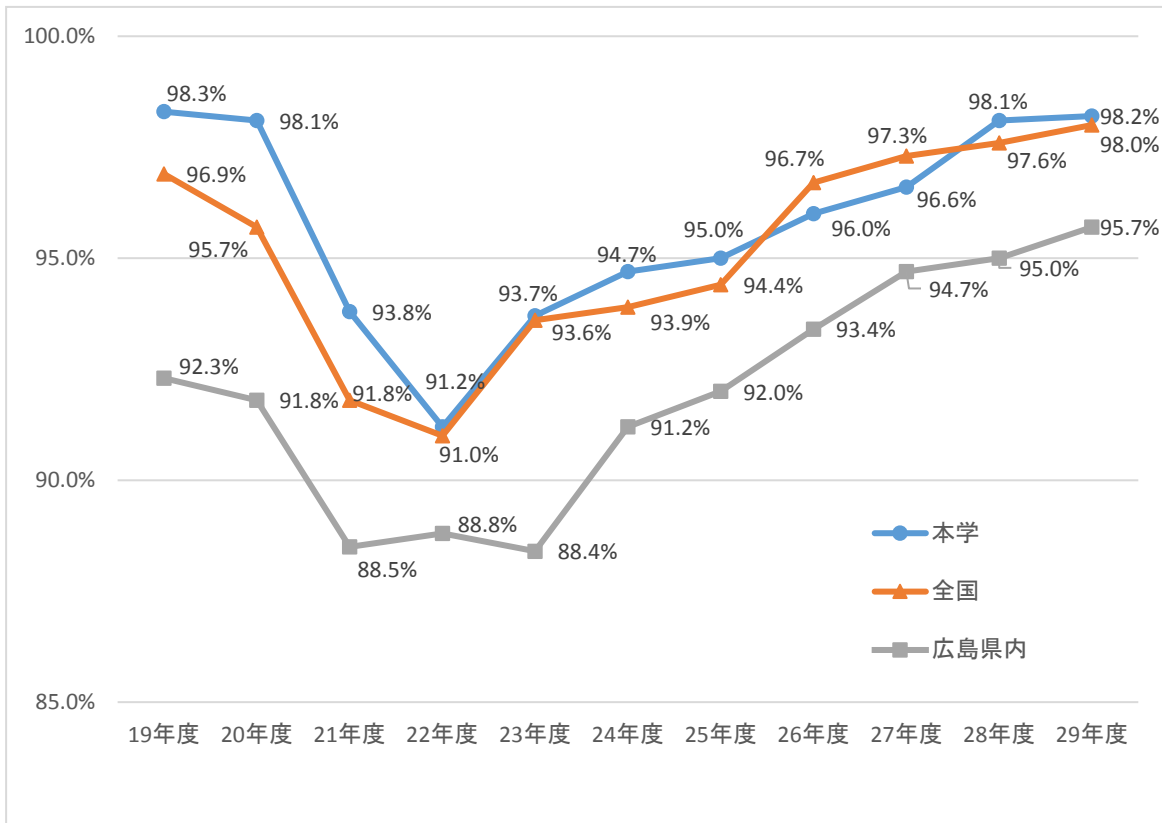
区 分		修 了 者 (A + C + D)	就職希望者			進 学 者 (C)	進 学 ・ 就 職 以 外 (D)	前 年 度(H29年3月卒)					
			希 望 者 (A)	就 職 者 (B)	就 職 決 定 率 (B/A× 100)			修 了 者	就職希望者			進 学 者	進 学 ・ 就 職 以 外 の 者
									希 望 者	就 職 者	就 職 決 定 率		
国際学研究科	男	5	3	2	66.7	0	2	1	0	0	-	0	1
	女	3	1	1	100.0	0	2	10	2	2	100.0	0	8
	計	8	4	3	75.0	0	4	11	2	2	100.0	0	9
情報科学研究科	男	61	58	58	100.0	1	2	75	69	69	100.0	2	4
	女	0	0	0	-	0	0	1	1	1	100.0	0	0
	計	61	58	58	100.0	1	2	76	70	70	100.0	2	4
芸術学研究科	男	8	2	1	50.0	2	4	5	2	2	100.0	2	1
	女	18	4	4	100.0	1	13	26	15	14	93.3	5	6
	計	26	6	5	83.3	3	17	31	17	16	94.1	7	7
合 計	男	74	63	61	96.8	3	8	81	71	71	100.0	4	6
	女	21	5	5	100.0	1	15	37	18	17	94.4	5	14
	計	95	68	66	97.1	4	23	118	89	88	98.9	9	20

(参考)学部生の就職率比較【平成30年3月30日現在】

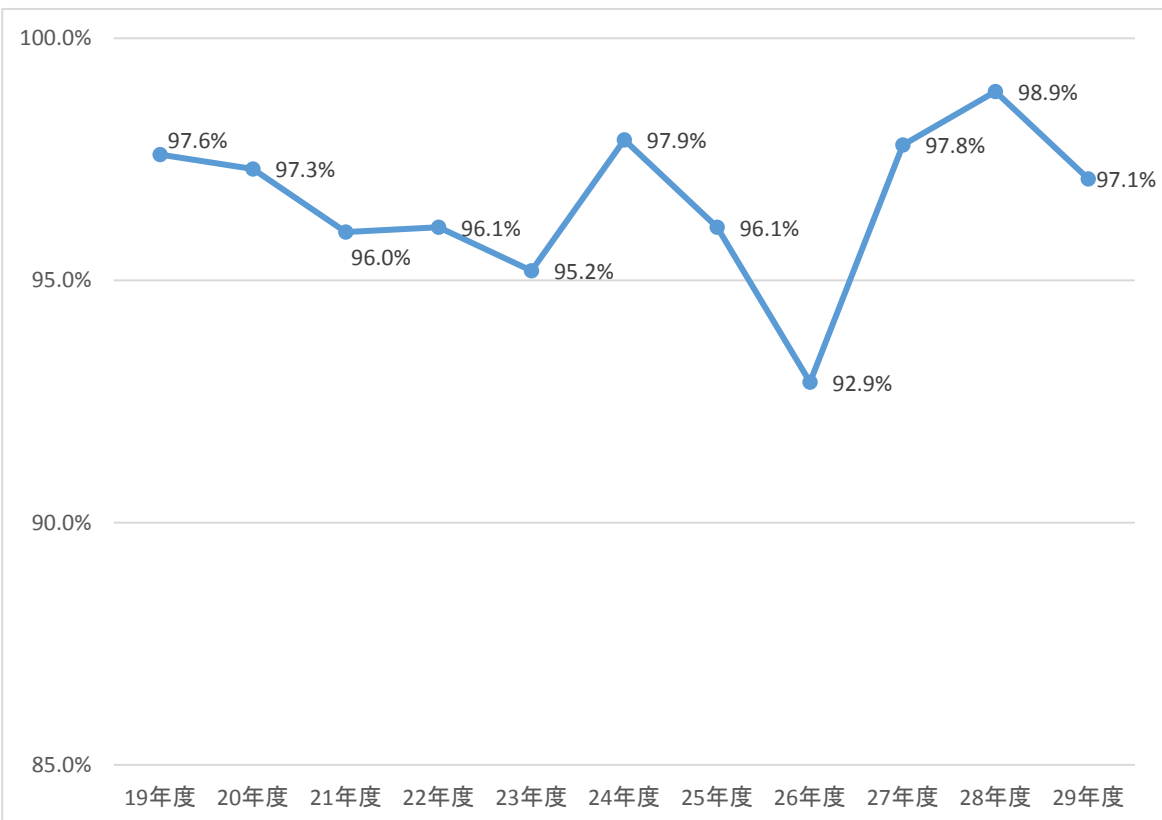
区 分	就職率	備 考
広島市立大学	98.2%	
広 島 県	95.7%	広島労働局
全 国	98.0%	文部科学省・厚生労働省調査

イ 就職率の推移(平成19年度～平成29年度)

ア) 学部



イ) 大学院

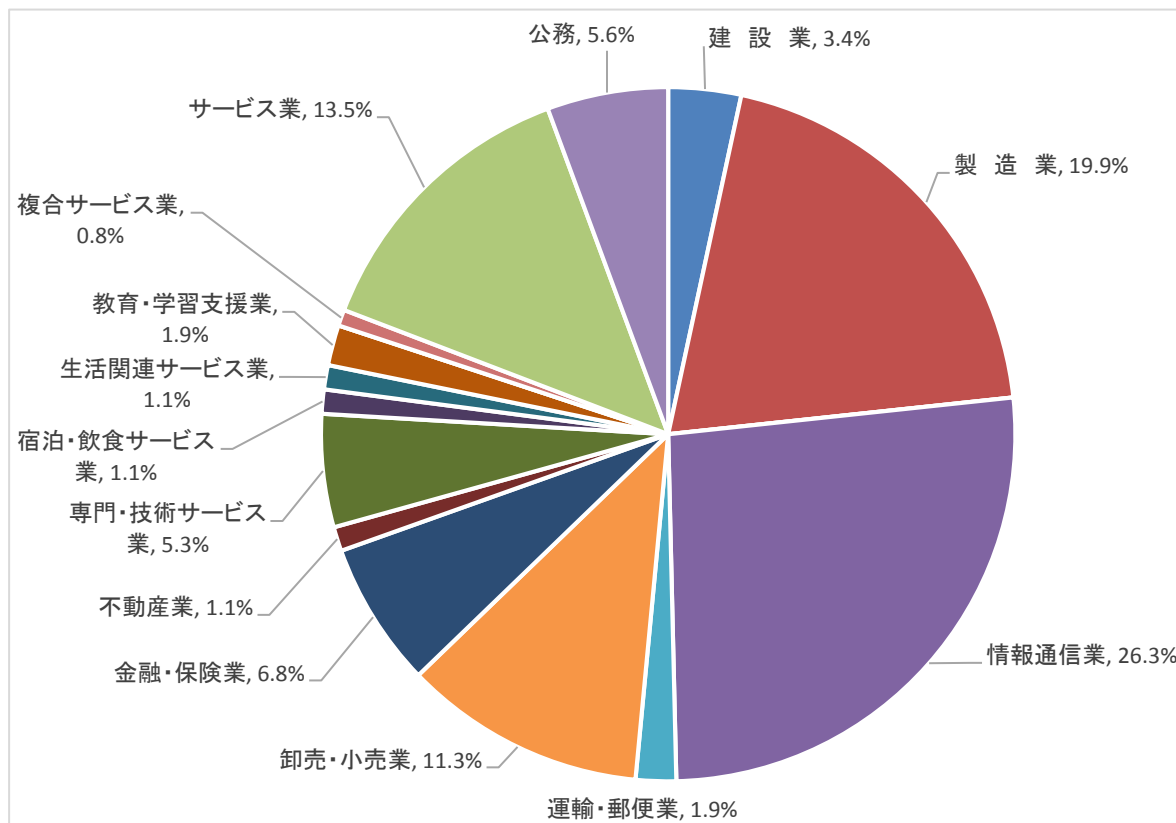


(2) 就職先の構成比

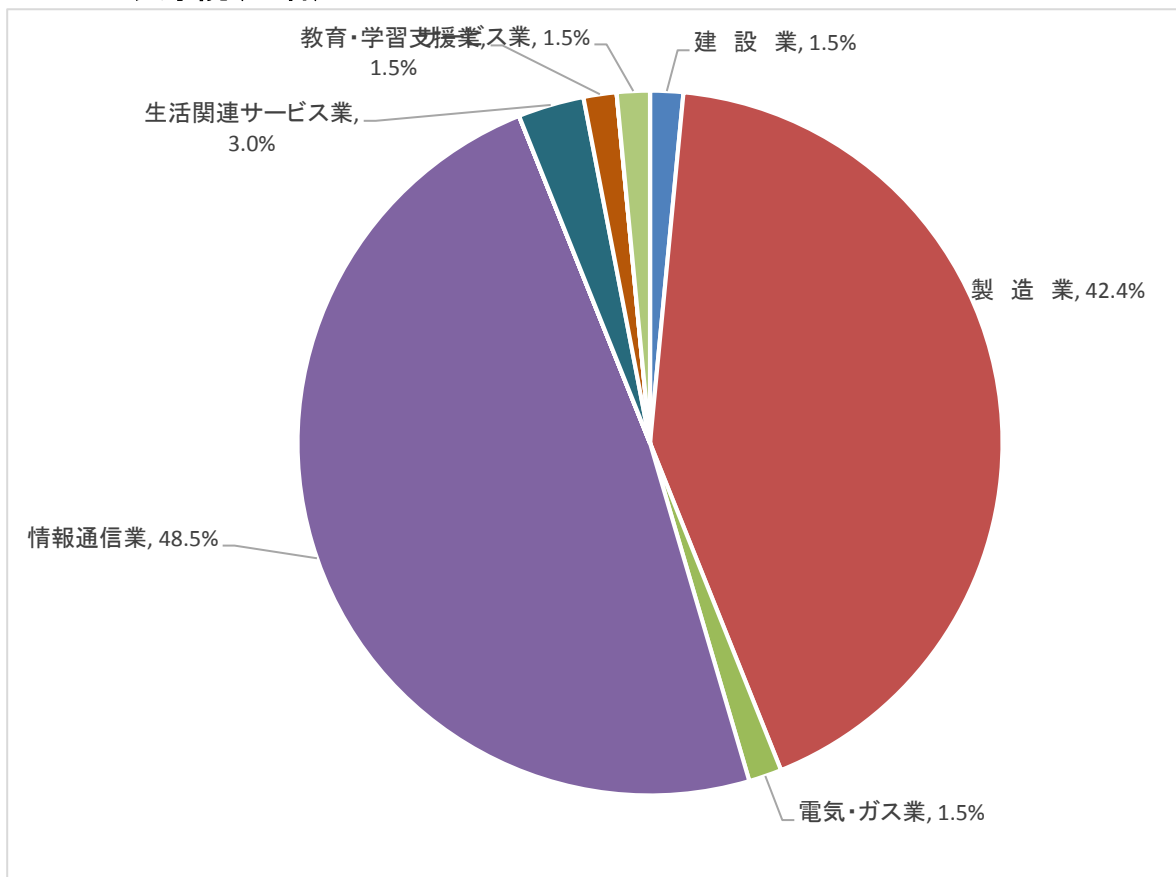
ア 業種別

(ア) 平成29年度卒

a 学部(266名)



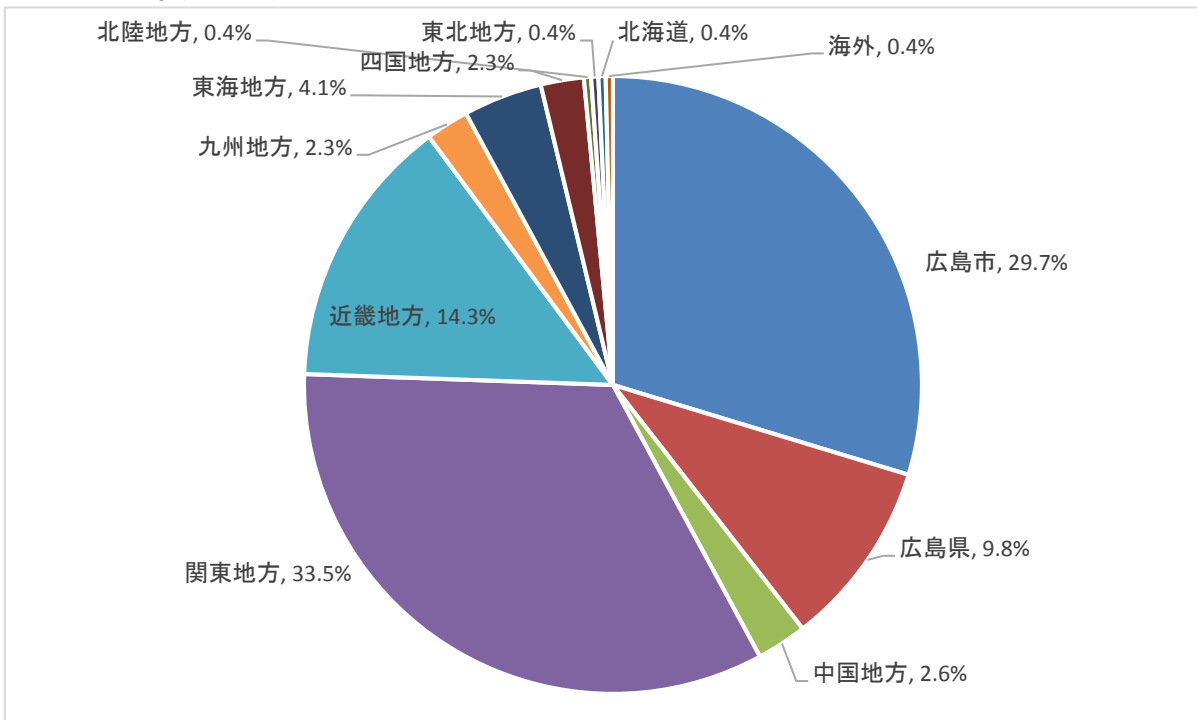
b 大学院(66名)



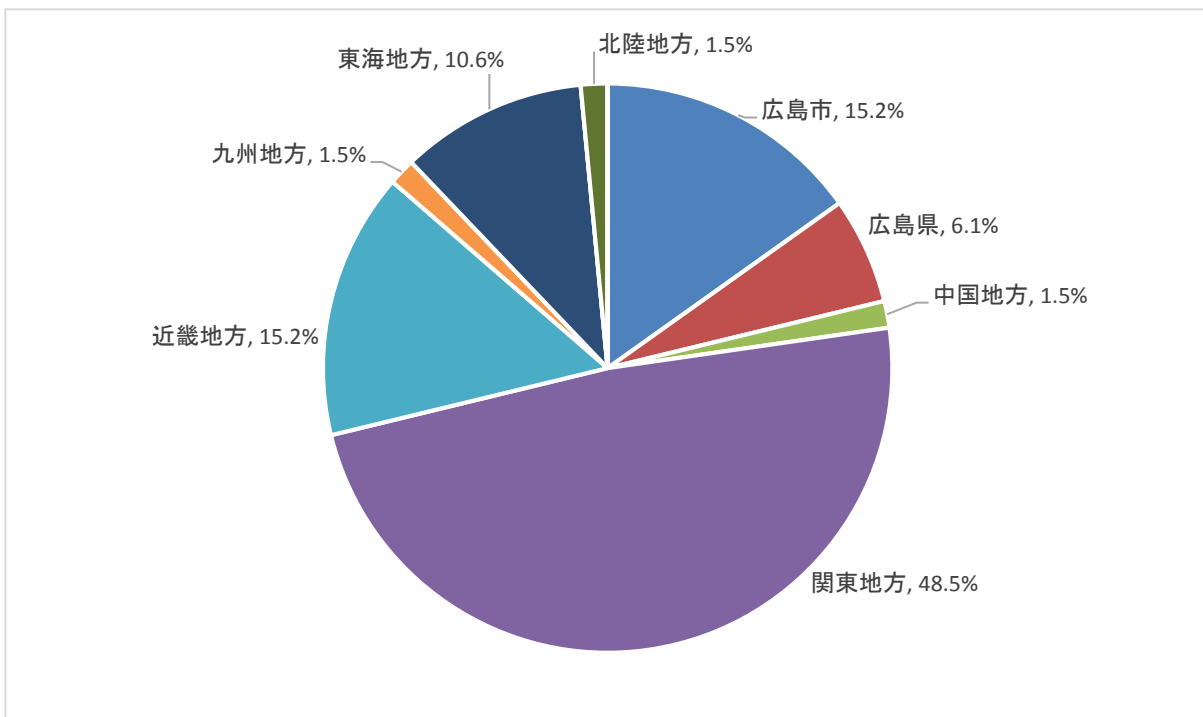
イ 地域別

(ア) 平成29年度卒

a 学部(266名)



b 大学院(66名)



(3)就職先企業等一覧

ア 平成29年度 国際学部及び国際学研究所(大学院)

H30.3.30現在

就 職 先

《広島県内地域》41社44名

- ・アトム(株)(広島県)
- ・(株)アンフィニ広島(広島市)
- ・(株)イシカワ(広島県)
- ・(株)イズミテクノ(広島市)
- ・(株)ウッドワン(広島県)
- ・(株)エネルギーL&Bパートナーズ(広島市)
- ・(株)エンヴィジョン(広島市)
- ・(株)鷗州コーポレーション(広島市)
- ・オタフクソース(株)(広島市)
- ・(株)勝矢和裁(広島市)
- ・(株)経営管理センター(広島市)
- ・広成建設(株)(広島市)
- ・(株)サニクリーン中国(広島市)
- ・三光電業(株)(広島市)
- ・(株)ジェイアールサービスネット広島(広島市)
- ・(株)JTB中国四国(広島市)
- ・supbox(広島市)
- ・(株)シンコー(広島市)
- ・四凱ソフトジャパン(株)(広島市)
- ・(株)総合オリコミ社(広島市)
- ・(株)ダイセック(広島市)
- ・中国木材(株)(広島市)
- ・電力調査(株)(広島市)
- ・廿日市市役所(広島市)
- ・(株)ビーシー・インクス(広島市)
- ・(株)広島銀行(広島市)
- ・広島県中小企業共済協同組合(広島市)
- ・広島県立高等学校(高校英語)(広島市)
- ・広島市農業協同組合(広島市)
- ・広島市役所(広島市)2名
- ・広島信用金庫(広島市)2名
- ・(株)ヒロテック(広島市)2名
- ・(株)古川製作所(広島市)
- ・(株)フレンド商会(広島市)
- ・マツダ(株)(広島市)
- ・マツダロジスティクス(株)(広島市)
- ・万田発酵(株)(広島市)
- ・(株)メンテックワールド(広島市)
- ・(株)ドリーム・アーツ(広島市)
- ・(株)ヤマサキ(広島市)
- ・(株)ユニバーサル・ポスト(広島市)

《関東地域》32社32名

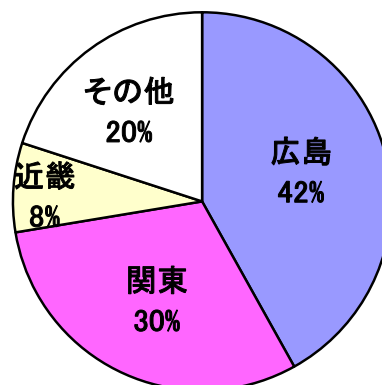
- ・アパグループ(株)(東京都)
- ・飯田グループホールディングス(株)(東京都)
- ・伊藤忠プラスチック(株)(東京都)
- ・(株)エス・ティー・ワールド(東京都)
- ・ANAエアポートサービス(株)(東京都)
- ・エン・ジャパン(株)(東京都)
- ・一般財団法人海外産業人材育成協会(東京都)
- ・京都きもの友禅(株)(東京都)
- ・財務省 関東財務局(埼玉県)
- ・ジー・イー・コンサルタンツ(株)(東京都)
- ・シスコシステムズ合同会社(東京都)
- ・(株)ジュピターテレコム(東京都)
- ・住友林業(株)(東京都)
- ・(株)ティーガイア(東京都)
- ・東京海上日動火災保険(株)(東京都)
- ・トラスコ中山(株)(東京都)
- ・(株)ナルミヤ・インターナショナル(東京都)
- ・日本通運(株)(東京都)
- ・一般財団法人日本ボディセラピスト協会(東京都)
- ・日本郵便(株)(東京都)
- ・(株)ビースタイル(東京都)
- ・日立アプライアンス(株)(東京都)
- ・(株)ファミリーマート(東京都)
- ・防衛省自衛隊(東京都)
- ・ホテル日航成田(東京都)
- ・丸三証券(株)(東京都)
- ・マルハニチロ(株)(東京都)
- ・三井住友海上火災保険(株)(東京都)
- ・明治安田生命保険相互会社(東京都)
- ・ヤマト運輸(株)(東京都)
- ・理想科学工業(株)(東京都)
- ・(株)リビタ(東京都)

《近畿地域》8社8名

- ・(株)アド電通大阪(大阪府)
- ・オルディ(株)(大阪府)
- ・公益財団法人京都市生涯学習振興財団(京都府)
- ・キング醸造(株)(兵庫県)
- ・住友生命保険相互会社(大阪府)
- ・(株)PALTAC(大阪府)
- ・(株)阪急オアシス(大阪府)
- ・フジアルテ(株)(大阪府)

《その他地域》19社21名

- ・(株)穴吹コミュニティ(香川県)
- ・(株)アミティー(岡山県)
- ・(株)アルペン(愛知県)
- ・大分市役所(大分県)
- ・札幌市役所(北海道)
- ・CDS(株)(愛知県)
- ・(株)CTV MID ENJIN(愛知県)
- ・JR九州高速船(福岡県)
- ・JR九州リテール(福岡県)
- ・スズキ(株)(静岡県)
- ・セキスイハイム東四国(株)(高知県)
- ・(株)タダノ(香川県)
- ・(株)中国銀行(岡山県)
- ・(株)ツーリストトップワールド(愛知県)
- ・日本語学校(メキシコ)
- ・(株)福井テレビ開発(福井県)
- ・(株)丸三(高知県)
- ・名鉄観光サービス(株)(愛知県)
- ・(株)山口フィナンシャルグループ(山口県)3名



(注)所在地により地域別に整理

就 職 先

《広島県内地域》39社59名

- ・アイ・エム・シーユナイテッド(株)(広島市)
- ・(株)イズミテクノ(広島市)
- ・(株)インターロジック(広島市)
- ・江田島市消防本部(広島県)
- ・(株)エヌ・ティ・ティ・データ中国(広島市)
- ・(株)エネルギー・コミュニケーションズ(広島市)5名
- ・(株)呉電子計算センター(広島県)3名
- ・(株)コトブキソリューション(広島県)
- ・佐竹電機(株)(広島県)
- ・(株)サンネット(広島市)2名
- ・(株)サン・テクトロ (広島市)
- ・(株)ジェイ・エム・エス JMS (広島市)
- ・(株)ダイセック(広島市)2名
- ・田中電機工業(株)(広島市)
- ・中外テクノス(株)(広島市)
- ・中国電力(株)(広島市)
- ・(株)中電工(広島市)2名
- ・(株)TSSソフトウェア(広島市)
- ・(株)テクノクラーツ(広島市)2名
- ・テクノライブ(株)(広島市)2名
- ・デルタ工業(株)(広島県)
- ・(株)ドコモCS中国(広島市)
- ・西日本高速道路エンジニアリング中国(株)(広島市)
- ・日本アイ・ビー・エム共同ソリューション・サービス(株)(広島市)
- ・日本アイビーエム中国ソリューション(株)(広島市)3名
- ・ノートルダム清心中・高等学校 (情報)(広島市)
- ・(株)日立ソリューションズ西日本(広島市)2名
- ・広島県庁(広島市)
- ・広島市消防局(広島市)
- ・広島市役所(広島市)3名
- ・広島信用金庫(広島市)
- ・(株)ヒロタニ(広島県)
- ・(株)ヒロテック(広島市)
- ・(株)フォーテック(広島市)
- ・マツダ(株)(広島県)4名
- ・(株)マツダE&T(広島市)
- ・マツダエース(株)(広島県)2名
- ・マツダロジスティクス(株)(広島市)
- ・(株)ワイテック(広島県)
- ・(株)ドリーム・アーツ(広島市)

《関東地域》60社78名

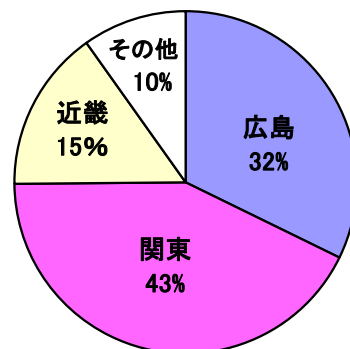
- ・あいおいニッセイ同和損害保険(株)(東京都)
- ・(株)アウトソーシングテクノロジー(東京都)
- ・(株)アイ・エル・シー(東京都)2名
- ・(株)アルトナー (東京都)2名
- ・(株)アルプス技研(東京都)
- ・イオンリテール(株)(千葉県)
- ・(株)インターネットイニシアティブ(東京都)3名
- ・インターネットウェア(株) (東京都)
- ・(株)エイアンドティー(神奈川県)
- ・(株)エクサ(神奈川県)
- ・(株)NECソリューションイノベータ(東京都)5名
- ・NECネクサソリューションズ(株)(東京都)
- ・エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー(株)(神奈川県)
- ・エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)(東京都)
- ・(株)NTTデータ・アイ (東京都)
- ・キヤノン(株)(東京都)
- ・(株)gumi(東京都)
- ・(株)グッド・フィール(東京都)
- ・(株)クロステレビ(東京都)
- ・KDDI(株)(東京都)
- ・(株)コア(東京都)
- ・コンチネタル・オートモーティブ(株)(神奈川県)
- ・(株)システナ(東京都)2名
- ・(株)ジンズ(東京都)
- ・鈴与シンワート(株)(東京都)
- ・WDB工学(株)(東京都)
- ・(株)地方総合研究所(東京都)
- ・TISソリューションリンク(株)(東京都)
- ・(株)ディスコ(東京都)
- ・(株)ディアイティ(東京都)
- ・(株)テクノプロ (テクノプロ・IT社)(東京都)
- ・(株)テクノプロ・エンジニアリング社(東京都)2名
- ・(株)テクノプロ (テクノプロ・デザイン社)(東京都)
- ・(株)デザインネットワーク(東京都)
- ・テラテクノロジー(株) (東京都)
- ・東芝デジタルソリューションズ(株) (株)東芝より分社(東京都)
- ・(株)ドリーム・アーツ(東京都)
- ・日本電気(株) NEC (東京都) 2名
- ・農中情報システム(株)(東京都)
- ・Pioneer DJ(株)(神奈川県)
- ・パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)(東京都)
- ・パナソニックシステムデザイン(株)(神奈川県)
- ・日立INSソフトウェア(株)(神奈川県)
- ・(株)日立公共システム(東京都)
- ・(株)日立ソリューションズ・クリエイト(東京都)2名
- ・(株)ビックカメラ(東京都)
- ・(株)VSN(東京都)
- ・(株)フォーカスシステムズ(東京都)
- ・富士ゼロックスアドバンステクノロジー(株)(神奈川県)
- ・富士ソフト(株)(神奈川県)
- ・(株)富士通ソフトウェアテクノロジーズ(神奈川県)
- ・(株)富士通ビー・エス・シー(東京都)
- ・富士フィルムメディカル(株)(東京都)
- ・本田技研工業(株)(東京都)
- ・マイクロンメモリジャパン(株)(東京都)
- ・三菱電機インフォメーションシステムズ(株)(東京都)
- ・三菱電機インフォメーションネットワーク(株)(東京都)
- ・三菱電機エンジニアリング(株)(東京都)
- ・ミハル通信(株)(神奈川県)2名
- ・(株)メイテック(東京都)6名

《近畿地域》22社28名

- ・アプライアンス&デジタルソリューション(株)(大阪府)
- ・(株)エディオ(大阪府)
- ・エヌ・ティ・ティ・スマートコネク(株)(大阪府)2名
- ・NTTビジネスソリューションズ(株)(大阪府)
- ・(株)NTTフィールドテクノ(大阪府)2名
- ・(株)大阪エヌデーエス(大阪府)
- ・大阪府警察(大阪府)
- ・(株)ケイ・オブティコム(大阪府)
- ・KSR(株)(京都府)
- ・(株)ケーケーシー情報システム(京都府)
- ・シャープ(株)(大阪府)
- ・(株)ソリッドアーツ(大阪府)2名
- ・ダイキン工業(株)(大阪府)
- ・ダイワボウ情報システム(株)(大阪府)
- ・ナビオコンピュータ(株)(大阪府)
- ・(株)南都銀行(奈良県)
- ・(株)日本経営(大阪府)
- ・パナソニックアドバンステクノロジー(株)(大阪府)4名
- ・(株)BSC(大阪府)
- ・富士通テン(株)(兵庫県)
- ・富士通テンテクノロジー(株)(兵庫県)
- ・(株)りそな銀行(大阪府)

《その他地域》16社18名

- ・アイリスオーヤマ(株)(宮城県)
- ・(株)アテック(愛知県)
- ・(株)アミック(静岡県)
- ・(株)インビリティ (愛知県)
- ・エヌティー精密(株)(愛知県)
- ・(株)エヌ・ティ・ティ・データ九州(福岡県)
- ・タック(株)(岐阜県)
- ・デンソーテクノ(株)(愛知県)3名
- ・(株)西日本情報システム(山口県)
- ・日本コンピューターネットワーク(株)(愛知県)
- ・三浦工業(株)(愛媛県)
- ・ミネベアミツミ(株)(長野県)
- ・(株)リブドゥコーポレーション(愛媛県)
- ・(株)リョービシステムサービス(岡山県)
- ・(株)両備システムズ (岡山県)
- ・(株)レベルファイブ(福岡県)



(注)所在地により地域別に整理

就 職 先

《広島県内地域》12社16名

- ・(株)イワタ木エ(広島県)2名
- ・ウエル・ユーカン(株)(広島市)
- ・(株)ゴジョウ(広島市)
- ・(株)ジェイ・エム・エス(広島市)
- ・(有)シーピーシー(広島市)
- ・尚文出版(株)(広島市)
- ・大昌工芸(株)(広島市)
- ・(株)ディレクターズ(広島市)
- ・ナオライ(株)(広島県)
- ・(株)HAKKOインターナショナル(広島市) 2名
- ・広島県立高等学校(高・美)(広島県)
- ・(株)やしま(広島市)3名

《関東地域》11社11名

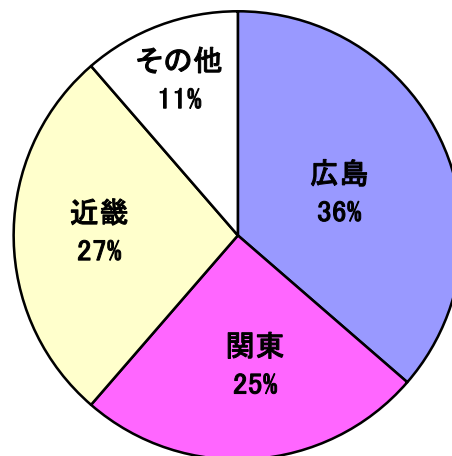
- ・(株)アイガー(東京都)
- ・(株)エコスタイル(東京都)
- ・(株)クロステレビビジョン(東京都)
- ・(株)鈴木石材店(東京都)
- ・(株)テンポストットコム(東京都)
- ・東海東京フィナンシャル・ホールディングス(株)(東京都)
- ・日本美術工芸(株)(東京都)
- ・(株)ピラミッドフィルム(東京都)
- ・富士ソフト(株)(神奈川県)
- ・(株)MAPPA(東京都)
- ・(株)リクスタ(千葉県)

《近畿地域》12社12名

- ・(株)井戸(兵庫県)
- ・(株)インフロント(大阪府)
- ・戎屋化学工業(株)(大阪府)
- ・(株)京ろまん(奈良県)
- ・ジーク(株)(京都府)
- ・(株)龍村美術織物(京都府)
- ・(株)ナラズ(奈良県)
- ・日本eリモデル(株)(兵庫県)
- ・ピアス(株)(大阪府)
- ・(株)フェイス(大阪府)
- ・(有)ほっと広告(兵庫県)
- ・(株)マーブル(京都府)

《その他地域》5社5名

- ・(株)Wext(福岡県)
- ・(株)ケイ・ウノ(愛知県)
- ・住友林業クレスト(株)(愛知県)
- ・(株)センマ化学(愛知県)
- ・(株)ライブル(福岡県)



6 社会連携

(1) 産学官連携

ア 推進体制（平成 30 年 4 月 1 日時点）

◆社会連携センター

○産学官連携推進に係る学内外窓口

- ・企業等からの相談受付（共同研究、技術相談等）
- ・リエゾン活動（教員からの共同研究相手先企業等の開拓）
- ・受託研究、共同研究、助成金、奨学寄附金等受入
- ・他機関との連絡調整 等

○産学官連携コーディネーターの配置（平成 15 年度から）

○知的財産管理体制の構築

○知的財産マネージャーの配置（平成 17 年度から）

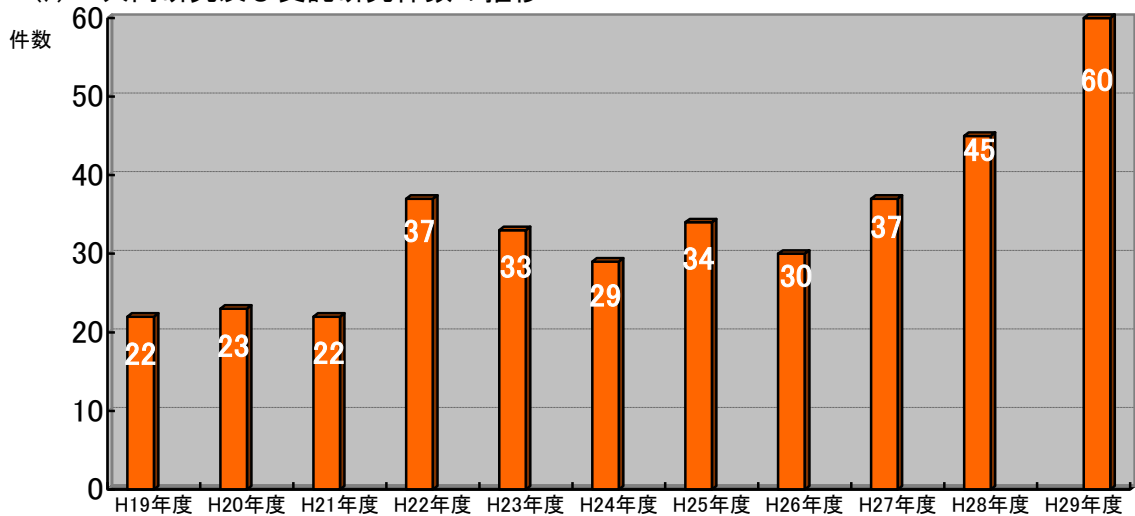
○社会連携センター設置（平成 19 年度 産学官連携推進室から移行）

○地域連携コーディネーターの配置（平成 20 年度から）

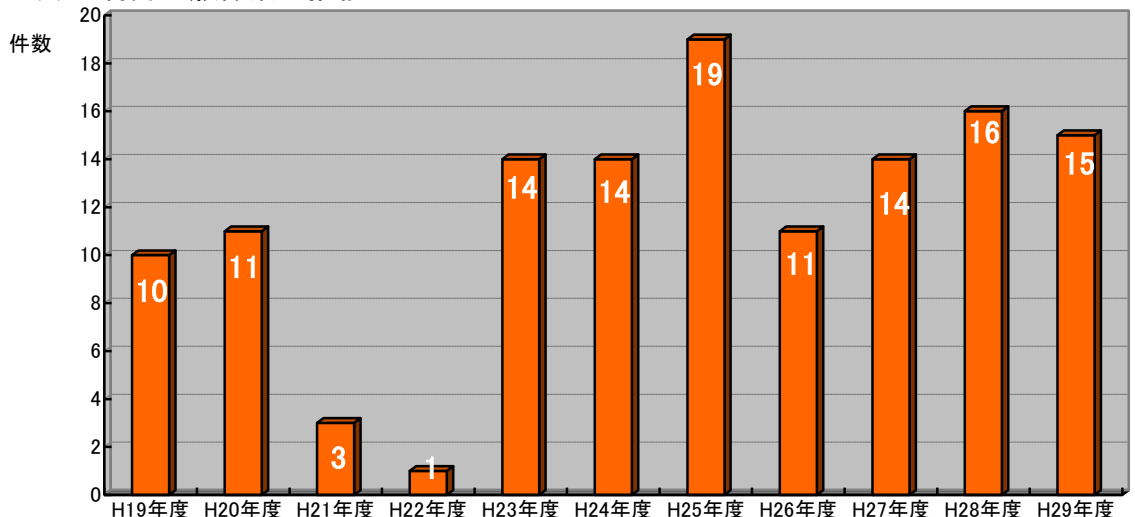
○社会連携コーディネーターの配置（平成 23 年度から）

イ 研究・事業等の実施状況（平成 19 年度～29 年度）

(ア) 共同研究及び受託研究件数の推移



(イ) 特許出願件数の推移



(ウ) 情報発信及び産学共同事業

◆広島市立大学産学連携研究発表会の開催

○平成 29 年度開催概要

日時：平成 29 年 9 月 13 日（水）13：00～16：30

場所：合人社ウエンディひと・まちプラザ（広島市まちづくり市民交流プラザ）
5 階研修室、4 階ギャラリー

<プログラム>

・講演会

基調講演：「マツダのカラーデザイン戦略について」

（マツダ株式会社デザイン本部

クリエイティブデザインエキスパート 岡本 圭一）

研究者講演：「“音”をデザインする～報知音からエンジン音まで～」

（情報科学研究科教授 石光 俊介）

「マツダとの共創ゼミの取り組みについて」

（芸術学部教授 吉田 幸弘）

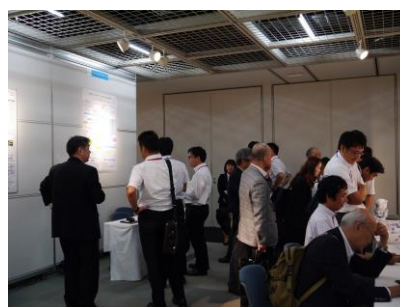
・マッチングセッション、交流会

〔出展：本学各研究室、本学社会連携センター、（公財）広島市産業振興センター、
（公財）ちゅうごく産業創造センター、広島商工会議所、（一社）広島県発明協会〕

<参加者>：H29 実績 約 150 名



講演会



マッチングセッション

◆広島市役所での地域貢献事業発表会

○平成 29 年度開催概要

日時：平成 29 年 11 月 24 日（金）12：00～15：30

場所：広島市役所 2F 講堂

<プログラム>

・事例発表

① 基町プロジェクト

広島市中区市民部地域起こし推進課課長補佐 佐藤 康徳

芸術学部教授（芸術学部長）南 昌伸

非常勤特任教員 新澤 望

② 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）

観光関連データベースの構築・活用

広島市経済観光局観光政策部観光企画担当課長 今富 雅夫

社会連携センター特任准教授 吉岡 研一

・パネル等の展示

<参加者>：H29 実績 約 150 名



事例発表



パネル展示

◆イベント出展、講演、パネル展示等

- ・ 6月29日：マッチングフォーラム（本学）
- ・ 7月26日～7月27日：自動車工学基礎講座2017（広島）
- ・ 8月31日～9月1日：イノベーションジャパン（東京）
- ・ 10月25日～10月27日：ひろしまIT総合展2017（広島）
- ・ 11月1日：地域ICTイノベーションセミナー（広島）
- ・ 11月2日：中国地域さんさんコンソ発 介護工学新技術説明会（東京）
- ・ 11月9日：信用金庫合同ビジネスフェア（広島）

(2) 地域連携

ア 公開講座

《平成 29 年度》

〔国際学部開催分〕

講座名	開催時期	回数	会場	受講料	定員	受講者
国際交流・協力の日に合わせて開催している講座 アメリカ大統領と広島・核兵器-トルーマン・オバマ・トランプ- 〔(公財)広島平和文化センターが主催する「国際交流・協力の日」の中のプログラムのひとつとして開催している講座。毎年、国際学部研究交流委員会において企画している。〕	11/19 (日) * 国際交流・協力の日	1 回	広島国際会議場	無料	100 人	80 人
市大英語 e ラーニング講座 ○ リーディング・リスニング・文法プログラム ○ スピーキングプログラム ○ ライティングプログラム ○ 小学校英語教育指導者養成プログラム ○ 通訳ガイド養成プログラム	(第 1 期) 5/21~8/5 (第 2 期) 7/23~10/15 (第 3 期) 9/24~12/10	—	・ ゆいぽーと ・ 本学サテライトキャンパス ・ 市大語学センター (第 2 期のみ)	リーディング・リスニング・文法プログラム 18,200 円 その他プログラム 各 5,000 円	各期 80 人	(第 1 期) 28 人 (第 2 期) 29 人 (第 3 期) 45 人

【情報科学部開催分】

	講座名	開催時期	回数	会場	受講料	定員	受講者
高校生向け	<p>高校生による情報科学自由研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作ってチャレンジ！ロボットサッカー ・VRで超人スポーツの世界に入門してみよう！ ・ビッグデータの科学～ソーシャルネットワークの分析 ・コンピュータで絵を作る。CGに挑戦！ ・データの裏側を探れ！統計的データ解析 ・無線LANで通信実験！空中を飛んでいるデータを見よう ・素顔のコンピュータと触れ合おう～ゼロとイチで語り合う機械語プログラミング～ ・スマホでスポーツを科学しよう ・ネットワーク対応の組み込みマイコンをプログラミングしてみよう ・競技ロボットの製作～CADによる設計 ・沼田川の洪水予測～雨量と水位の関係～ ・高齢者に優しい小型医療機器の研究 ・多項式の因数分解に挑戦！-Haskellで数式処理を体験 <p>全13テーマ</p>	7～8月	随時	本学各研究室等	無料	1テーマ 5人程度	36人
一般向け	<p>講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひろがるスカスカデータの応用 ・安全で快適なインターネットを影で支えるシステムについて ・ロボット技術の現状と将来 	12/11（月）	1回	本学サテライト キャンパス	無料	50人	26人

[芸術学部開催分]

	講座名	開催時期	回数	会場	受講料 (材料費別)	定員	受講者	
一般向け講座	日本画コース	9/4～8	全5回	本学アトリエ	10,200円	32人	27人	
	油絵コース	7/31～8/4	全5回	油絵 (専門)	12,200円	15人	13人	
				油絵 (一般)	12,200円	35人	15人	
	彫刻コース	7/31～8/4	全5回	版画	12,200円	15人	14人	
				彫刻	10,200円	10人	8人	
				漆造形	10,200円	10人	8人	
	デザイン工芸コース	9/2・9/3・9/9・9/16・9/18	全5回	全5回	現代表現	10,200円	10人	5人
					7/31～8/4	全5回	10人	5人
	サマースクール	日本画コース	7/29, 30	全2回	本学アトリエ	7,200円	20人	21人
		油絵コース	7/30, 31	全2回	本学アトリエ	7,200円	20人	20人
彫刻コース		7/28～30	全3回	本学実習室	8,200円	20人	10人	
デザイン工芸コース		8/11, 12	全2回	本学実習室	6,200円	40人	55人	

講座名	開催時期	回数	会場	受講料 (材料費別)	定員	受講者
芸術学部社会人講座 (工芸・版画通年コース)	H29/4/11～ H30/1/19	—	本学工房	漆 212,000円/年 (週4日)	計10人 各分野若干名	0人
				金工 172,000円/年 (週3日)		1人
				染織 132,000円/年 (週2日)		2人
				版画 92,000円/年 (週1日)		5人
芸術学部社会人講座 (※夏季特別講座)	H29/8/8～ H29/9/29	—	本学工房	漆 42,400円 (週4日)	計10人 各分野若干名	0人
				金工 34,400円 (週3日)		0人
				染織 26,400円 (週2日)		1人
				版画 18,400円 (週1日)		4人

※夏季特別講座は通年コースの受講生のうち、希望者が受講する。

大学連携開催分

【県立広島大学・広島市立大学連携公開講座】

講座名	開催時期	回数	会場	受講料	定員	受講者
ひろしま学を考える 宮島参詣：近世・近代を中心に 【県立広島大学】 庶民食の深層-食文化としてのお好み焼を考える- 【広島市立大学】 外国人が見た明治・大正時代の宮島 【県立広島大学】 「光の肖像」展とは何か 【広島市立大学】	7/5～7/26 (毎週水曜)	全4回	サテライトキャンパス ひろしま (県立広島大学 サテライトキャンパス)	無料	80人	78人
						70人
						68人
						47人
言語を通して世界を知る 新語・流行語からみる現代中国の教育 【県立広島大学】 親日台湾の光と影～時間と国境を超える日本語 【県立広島大学】 日本語から見える世界一国字を通して～ 【広島市立大学】 「サファリ」と「モラン」の21世紀：「野生の王国」 ケニアの将来を考える 【広島市立大学】	10/6～10/27 (毎週金曜)	全4回	本学サテライト キャンパス	無料	40人	37人
						34人
						33人
						26人

〔広島平和研究所開催分〕

講座名	開催時期	回数	会場	受講料	定員	受講者
連続市民講座 前期	戦争被害受忍論と戦後補償制度	全5回	合人社ウエンデイ ひと・まちプラザ (袋町)	無料	100人	105人
	安倍外交は「戦後処理問題」を解決しつつあるか？					74人
	勝者の裁き、敗者の裁き——第二次大戦後の戦犯問題をめぐる日本側対応					80人
	ニュルンベルク裁判と戦後ドイツ					82人
	日ロ関係の展開					80人
連続市民講座 後期	核兵器禁止条約から見た北朝鮮の核・ミサイル問題	全5回	合人社ウエンデイ ひと・まちプラザ (袋町)	無料	100人	89人
	国際法の下での核兵器禁止条約					68人
	核兵器禁止条約と市民の役割					95人
	核兵器禁止条約の展望と平和首長会議の提案					88人
	核兵器禁止条約と日本の役割					73人

講座名	開催時期	回数	場所	受講料	定員	受講者
英語による市民講座	Japan at the Crossroads: PM Abe, Security, and the Constitution	全4回	本学サテライトキャンパス	無料	40人	18人
	Recent Developments in Myanmar's Ethnic Peace Process and the Growing Role of China					12人
	The Cold War and American Culture: Billy Joel's Leningrad					23人
	Discourses of Nuclear Competence and Catastrophe					20人
研究フォーラム	東南アジア政治における軍の役割の比較	1回	本学サテライトキャンパス	無料	40人	10人
	連綿と受け継がれる暴力と生きる—現代の米国南部における歴史、記憶、トラウマ	1回	本学サテライトキャンパス	無料	40人	11人
	Thailand's Post-2014 Coup Foreign Relations: Riding on the New International Trend	1回	本学サテライトキャンパス	無料	40人	9人
	平和のために働く人材を育てる—ルワンダの経験から学ぶ	1回	本学サテライトキャンパス	無料	40人	33人
	原子力施設労働者国際共同研究(INWORKS)における労働者の固形がん死亡率	1回	本学サテライトキャンパス	無料	40人	20人
	アジアの核・ガヴァナンス・平和	1回	広島国際会議場地下2階 ダリア	無料	各日100人	140人 (2日間の延べ人数)
国際シンポジウム	3/17~3/18	1回				

イ その他の事業

- ◆ 行政課題解決への協力
 - ・基町プロジェクト（平成25年7月広島市策定「基町住宅地区活性化」に掲げるにぎわい再生事業）
 - ・あさみなみ芸術化構想2017
 - ・砂持加勢まつりシンボル山車制作研究 など

- ◆ NPO、市民などとの協働事業
 - ・横川商店街ワークショップ「日本画を描く」など

ウ 広島市等の審議会委員等の就任状況（平成29年度に任期が含まれたものを対象）

【理事長・学長、理事・副学長】

区分	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
広島市	公益財団法人広島市産業振興センター	評議員	理事 (副学長)	青木 信之	H28. 6. 3	～ ※1
広島市	公益財団法人広島市文化財団	評議員	理事長 (学長)	青木 信之	H26. 4. 1	～ ※2
広島市	公益財団法人広島観光コンベンションビューロー	評議員	理事長 (学長)	青木 信之	H27. 6. 11	～ ※3
広島市	公益財団法人広島平和文化センター	評議員	理事長 (学長)	青木 信之	H27. 6. 12	～ ※4
広島市	広島市総合計画審議会専門部会	専門委員	理事長 (学長)	青木 信之	H30. 2. 5	～ ※5
広島市	彫像・記念碑等の設置審査委員会	委員	理事 (副学長)	前川 義春	H27. 7. 10	～ H29. 7. 9
広島県	ひろしま平和貢献ネットワーク協議会	委員	理事長 (学長)	青木 信之	H24. 4. 1	～ H31. 3. 31
広島県	広島県留学生生活躍支援センター	委員	理事長 (学長)	青木 信之	H25. 4. 1	～ H31. 3. 31
その他	公益財団法人もみじ銀行育英会	評議員	理事長 (学長)	青木 信之	H28. 6. 3	～ ※6
その他	公益財団法人大学基準協会	評議員	理事長 (学長)	青木 信之	H28. 6. 21	～ ※6
その他	広島シンガポール協会	理事	理事長 (学長)	青木 信之	H28. 6. 1	～ ※7
その他	公益財団法人ヒロシマ平和創造基金	理事	理事長 (学長)	青木 信之	H28. 6. 23	～ ※8
その他	財団法人放射線影響研究所	広島地元連絡協議会委員	理事長 (学長)	青木 信之	H29. 4. 1	～ H31. 3. 31
その他	一般社団法人公立大学協会	委員	理事長 (学長)	青木 信之	H29. 5. 23	～ ※9
その他	公益財団法人ひろしん文化財団	理事	理事長 (学長)	青木 信之	H29. 6. 12	～ ※10
その他	一般社団法人教育ネットワーク中国	理事	理事長 (学長)	青木 信之	H29. 6. 29	～ ※11
その他	公益財団法人ひろしま産業振興機構	ひろしま医工連携イノベーション推進協議会委員	理事 (副学長)	若林 真一	H28. 7. 6	～ H30. 3. 31
その他	一般社団法人教育ネットワーク中国	運営委員会委員、大学間・高大連携委員会委員	理事 (副学長)	前川 義春	H28. 4. 1	～ H30. 3. 31

※1 平成31年5月開催の定時評議会終結の時まで

※2 登記を行った日から4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで

※3 平成31年定時評議員会の終結の時まで

※4 平成30年度に関する定時評議員会の終結の日まで

※5 総合計画改定に関する重要事項の審議が終了するまで

※6 平成31年度に関する定時評議員会の終結の日まで

※7 平成30年度に関する定時総会の終結の時まで

※8 平成30年6月開催の評議員会終結の時まで

※9 平成31年度定時総会まで

※10 選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

※11 平成31年6月の定時社員総会の日まで

【国際学部】

	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
広島市	広島市市民局人権啓発部人権啓発課	広島市多文化共生市民会議委員	教授	ヴェール, ウルリケ	H27. 9. 5	～ H29. 9. 4
広島市	広島市企画総務局公文書館	広島市公文書館運営委員会委員	教授	曾根 幹子	H27. 12. 10	～ H30. 3. 31
広島市	広島市都市整備局都市機能調整部	広島市球場場運営協議会委員	教授	曾根 幹子	H28. 12. 1	～ H30. 3. 31
広島市	広島市男女共同参画推進センター	2017年度公募型男女共同参画共催事業選考委員会委員	教授	金谷 信子	H29. 7. 1	～ H29. 8. 31
広島市	広島市市民局人権啓発部人権啓発課	広島市多文化共生市民会議委員	教授	ヴェール, ウルリケ	H29. 9. 5	～ H31. 9. 4
広島市	公益財団法人広島市文化財団	ひろしまオペラ・音楽推進委員会委員	准教授	柿木 伸之	H28. 6. 1	～ H30. 5. 31
国	国土交通省中国地方整備局	中国地方整備局事業評価監視委員会委員	教授	寺田 英子	H27. 6. 24	～ H31. 3. 31
広島県	広島県環境県民局学事課	広島県私立学校審議会委員	教授	太田 育子	H26. 12. 24	～ H30. 12. 24
広島県	広島県教育委員会	広島県生涯学習審議会委員	教授	曾根 幹子	H27. 8. 12	～ H29. 8. 11
広島県	広島県（港湾振興課）	広島県海域利用審査会委員	教授	寺田 英子	H27. 9. 1	～ H29. 8. 31
広島県	広島県総務課	広島県情報公開・個人情報保護審査会委員	教授	太田 育子	H28. 12. 1	～ H30. 11. 30
広島県	広島県	広島県地方港湾審議会委員	教授	寺田 英子	H28. 12. 21	～ H30. 12. 20
広島県	広島県知事 自然環境課	広島県指定管理者選定委員会自然公園部会	教授	金谷 信子	H29. 7. 12	～ H29. 12. 16

広島県	広島県	広島県海域利用審査会委員	教授	寺田 英子	H29.9.1	～	H31.8.31
広島県	広島県都市計画課	広島県都市計画審議会委員	教授	太田 育子	H30.2.1	～	H34.1.31
その他	関西大学 ソシオネットワーク戦略研究機構	関西大学 経済実験センター研究員	教授	高橋 広雅	H26.7.1	～	H31.3.31
その他	特定非営利活動法人全国ラジオ体操連盟	特定非営利活動法人全国ラジオ体操連盟評議員	教授	曾根 幹子	H27.7.1	～	H29.6.30
その他	大竹市	大竹市総合戦略推進会議委員	教授	金谷 信子	H27.7.6	～	H32.3.31
その他	公益財団法人広島市スポーツ協会	広島市スポーツ振興基金選考委員会	教授	曾根 幹子	H28.4.1	～	H30.3.31
その他	中国地方ラジオ体操連盟	中国地方ラジオ体操連盟役員	教授	曾根 幹子	H28.5.10	～	H30.3.31
その他	大竹市 市民生活部自治振興課	大竹市市民活動助成審査委員会	教授	金谷 信子	H28.6.1	～	H30.5.31
その他	独立行政法人 日本学術振興会	科学研究費委員会専門委員	教授	岩井 千秋	H28.12.1	～	H29.11.30
その他	独立行政法人 日本学術振興会	科学研究費委員会専門委員	教授	関村 誠	H28.12.1	～	H29.11.30
その他	独立行政法人 日本学術振興会	科学研究費委員会専門委員	教授	田川 玄	H28.12.1	～	H29.11.30
その他	独立行政法人 日本学術振興会	委員・審査員・評価員就任（特別研究員等審査会専門委員及び国際事業委員会書面審査員・書面評価員）	准教授	吉江 貴文	H28.8.1	～	H29.7.31
その他	公益財団法人大学基準協会	委員就任（平成29年度大学評価委員会大学評価分科会第28群委員）	教授	大庭 千恵子	H29.4.1	～	H30.3.31
その他	一般財団法人どんぐり財団	理事就任	教授	曾根 幹子	H29.4.1	～	H30.3.31
その他	公益財団法人 広島市文化財団	委員就任（市民美術作品集編集委員）	教授	関村 誠	H29.4.21	～	H31.3.31
その他	公益財団法人広島県教育事業団評議員	評議員就任	教授	曾根 幹子	H29.6.15	～	H30.3.31
その他	公益財団法人広島市文化財団	審査員就任（文化活動助成事業）	教授	金谷 信子	H29.7.4	～	H30.3.31
その他	読売新聞	審査委員委嘱（高円宮杯全日本中学校英語弁論大会広島県大会審査員）	教授	岩井 千秋	H29.9.30	～	H29.9.30
その他	三原市教育委員会	三原市文化財保護審議会委員	准教授	城市 真理子	H27.5.15	～	H29.4.30
その他	広島大学付属高等学校	運営指導委員（平成29年度スーパーサイエンスハイスクール）	准教授	卜部 匡司	H29.4.1	～	H30.3.31
その他	独立行政法人 経済産業研究所	プロジェクトメンバー就任 （独立行政法人経済産業研究所プロジェクト）	准教授	高久 賢也	H29.5.22	～	H29.6.30
その他	三原市（文化課）	平成29年度企画展覧会運営協議会委員	准教授	城市 真理子	H29.10.1	～	H31.9.30
その他	三原市（文化課）	三原市文化財保護審議会委員	准教授	城市 真理子	H29.11.8	～	H31.4.30
その他	頼山陽史跡資料館特別展実行委員会	「南画精華展」査員就任	准教授	城市 真理子	H30.1.8	～	H30.1.8

【情報科学部】

区分	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
広島市	広島市企画総務局企画調整部政策企画課	広島市総合計画審議会専門部会専門委員	教授	前田 香織	H30.1	～ 2年間
その他	日本学術会議	日本学術会議連携会員	教授	前田 香織	H29.10.2	～ H35.9.30
広島市	広島市消防局警防部警防課	消防通信指令管制システム更新整備及び運用・保守業務プロポーザル審査委員会（意見聴取）	教授	前田 香織	H29.9月上旬	～ H29.11.下旬
その他	一般財団法人 日本規格協会	平成29年度 IEC SyC Smart Energy国内委員会委員	教授	田中 宏和	H29.7.12	～ H30.2.28
国	総務省行政管理局	電子政府推進員	教授	前田 香織	委嘱の日	～ （2年間）
その他	広島県立広島井口高等学校	学校関係者評価委員会委員	准教授	内田 智之	H29.6.1	～ H30.3.31
国	総務省情報流通行政局地域通信振興課	地域情報化アドバイザー	教授	前田 香織	H29.6.26	～ H30.3.31
その他	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所	学術認証運営委員会委員	教授	前田 香織	承諾日	～ H30.3.31
広島県	広島県職業能力開発課	広島県IoT人材育成検討会議委員	准教授	田村 慶一	H29.8.1	～ H30.3.31
広島市	広島市市民局市民安全推進課	広島市安全なまちづくり推進協議会委員	准教授	高野 知佐	H29.9.1	～ H31.8.31
その他	広島県立祇園北高等学校	学校評議員	教授	角田 良明	H29.4.1	～ H30.3.31
その他	広島大学	グローバルサイエンスキャンパス事業 コンソーシアム会議委員	教授	井上 智生	H29.7.15	～ H30.3.31
その他	株式会社 情報通信総合研究所	メディア融合時代の通信産業研究会委員	教授	前田 香織	H29.6.13	～ H30.3.30
その他	一般財団法人大阪科学技術センター	「電磁界(EMF)に関する調査研究委員会」委員	教授	樋脇 治	就任承諾日	～ H32.3.31
その他	広島市立沼田高等学校	学校協力者会議委員	教授	井上 智生	H29.6.16	～ H30.2.21
その他	広島市立美鈴が丘高等学校	平成29年度学校協力者会議委員	教授	松原 行宏	就任承諾日	～ H30.3.31
その他	安田女子中学高等学校	スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員	教授	井上 智生	H29.4	～ H30.3

その他	中国経済連合会	中国経済連合会 人材育成専門部会への参加	教授	井上 智生	H29.4.20	～	H30.3.31
広島市	広島市企画総務局	広島市情報政策アドバイザー・ボード委員	教授	前田 香織	H29.4.1	～	H30.3.31
その他	一般財団法人 電子情報技術産業協会	IEC国際規格原案作成委員会委員	教授	田中 宏和	H29.4.1	～	H31.3.31
広島市	企画総務局情報システム課	庁内LANの借上一式総合評価審査委員会の特別委員	教授	前田 香織	就任承諾日	～	H29.7
その他	広島県後期高齢者医療広域連合	広島県後期高齢者医療広域連合情報公開・個人情報保護審査会委員	教授	前田 香織	H29.6.1	～	H31.5.31
広島市	公益財団法人広島市産業振興センター	評議員	教授	石田 賢治	評議員選任の日	～	H31(定時評議員会)
その他	中国情報通信懇談会	中国情報通信懇談会 放送部会幹事	教授	西 正博	H29.4.1	～	H30.3.31
広島県	広島県	広島県個人情報保護審議会委員	教授	前田 香織	H29.4.1	～	H31.3.31

【芸術学部】

区分	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
その他	公益財団法人広島市産業振興センター	「平成29年度 ひろしまデザインネットワーク」会員	教授	吉田 幸弘	H29.4.1	～ H30.3.31
その他	特定非営利活動法人 ひゅーるぼん	「平成29年度 障害者芸術文化活動普及支援事業」協力委員	教授	吉田 幸弘	事業実施団体として決定通知を受けた日	～ H30.3.31
その他	特定非営利活動法人 ひゅーるぼん	「平成29年度 障害者芸術文化活動普及支援事業」協力委員	講師	中村 圭	事業実施団体として決定通知を受けた日	～ H30.3.31
その他	公益財団法人広島市産業振興センター	「第15回ひろしまグッドデザイン」選定委員	教授	吉田 幸弘	委嘱の日	～ H30.3.31
その他	公益財団法人広島市産業振興センター	「第15回ひろしまグッドデザイン」選定委員	講師	中村 圭	委嘱の日	～ H.30.3.31
広島市	広島市経済観光局産業振興部商業振興課	広島市特産品等ブランド化推進審議会委員	教授	吉田 幸弘	H29.4.1	～ H31.3.31
広島市	広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会	広島国際アニメーションフェスティバル実行委員	教授	笠原 浩	H29.4.1	～ H31.3.31
呉市	呉市文化スポーツ部文化振興課	呉市立美術館運営審議会 委員	教授	前川 義春	H29.7.1	～ H31.6.30
その他	手作りフェアin広島 実行委員会	第5回広島ジュニアハンドメイド大賞審査委員長	教授	及川 久男	H29.9.11	～ H29.10.21
その他	特定非営利活動法人 ひゅーるぼん	「アート・ルネッサンス2018」審査員	講師	中村 圭	H29.9.1	～ H30.3.31
その他	広島広告協会	第38回広島広告企画制作賞審査員	教授	及川 久男	H29.5.9、H29.6.5	
広島県	広島県環境県民局	第5回新県美展(第69回広島県美術展)審査員	教授	大矢 英雄	H29.6.8	
広島県	広島県環境県民局	第5回新県美展(第69回広島県美術展)審査員	教授	倉内 啓	H29.6.6	
広島県	広島県環境県民局	第5回新県美展(第69回広島県美術展)審査員	教授	笠原 浩	H29.6.8	
その他	石川県輪島漆芸美術館	企画展「10周年記念 漆芸の未来を拓く一生涯の時2017ー」ギャラリートーク、シンポジウム出席	准教授	大塚 智嗣	H29.6.10	
その他	広島修道大学ひろしま未来協創センター	広島修道大学特別講義「ひろしま未来協創特講(発見・デザイン・都心)」ゲストスピーカー	講師	中村 圭	H29.6.19	
広島市	公益財団法人広島市文化財団佐伯区民文化センター	「さえきアートキャンパス2017」講師	教授	森永 昌司	H29.8.19、H29.8.20	
その他	広島市立牛田新町小学校	PTC「山浦先生と絵をかく会」講師	助教	山浦 めぐみ	H29.10.16	
岩国市	岩国市市民生活部文化振興課文化芸術班	「第61回岩国市美術展覧会」審査員	准教授	大塚 智嗣	H29.10.4	
東広島市	東広島市教育委員会生涯学習部文化課	「第30回東広島市美術展」審査員	准教授	石松 紀子	H29.10.25	
東広島市	東広島市教育委員会生涯学習部文化課	「第30回東広島市美術展」審査員	教授	藁谷 実	H29.10.31	
広島市	広島市都市整備局都市計画課	「広島市屋外広告物講習会」講師	教授	及川 久男	H29.11.16	
三原市	三原市教育委員会文化課	「第66回三原市美術展覧会」審査員	教授	大矢 英雄	H29.11.12、H29.11.18	
その他	宮島弥山を守る会	定例勉強会 講師	准教授	大塚 智嗣	H29.12.13	
その他	公益財団法人広島観光コンベンションビューロー	MICEロゴマーク選考委員会アドバイザー	教授	及川 久男	H29.12.14、H29.12.18	
広島市	都市整備局都市計画課	「広島市ひろしま街づくりデザイン賞受賞者選考審議会」委員	講師	中村 圭	委員就任の日	～ H29.5.31
広島市	広島市都市整備局都市計画課	「広島市ひろしま街づくりデザイン賞受賞者選考審議会」審査委員	教授	及川 久男	H25.6.1	～ H29.5.31
広島市	広島市都市整備局都市計画課	広島市景観審議会委員	教授	吉田 幸弘	H28.10.20	～ H30.10.19
広島市	都市整備局都市計画課	広島市都市デザインアドバイザー会議委員	教授	鯉澤 達夫	H28.5.26	～ H30. 5.25
広島市	健康福祉局障害福祉部障害福祉課	広島市障害者施策推進協議会委員	教授	吉田 幸弘	H28.6	～ H30. 5
広島市	市民局文化スポーツ部文化振興課	広島市ヒロシマ賞受賞者選考審議会委員	教授	南昌 伸	委嘱の日	～ H32展覧会終了まで

【平和研究所】

区分	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
広島市	公益財団法人広島平和文化センター	広島平和記念資料館展示検討会議委員	副所長	水本 和実	就任承諾日 (H22.5.27)	～ H31.3.31
広島市	公益財団法人広島平和文化センター	広島平和記念資料館展示説明文執筆会議委員	副所長	水本 和実	就任承諾日 (H25.7.11)	～ H31.3.31
広島市	公益財団法人広島平和文化センター	広島平和記念資料館展示説明文執筆会議委員	教授	ジェイコブズ, ロバート	就任承諾日 (H25.7.11)	～ H31.3.31
広島市	教育委員会青少年育成部育成課	青少年国際平和と未来会議ヒロシマ2017実行委員会委員	副所長	水本 和実	H29.4.5	～ H30.3.31
広島市	経済観光局観光政策部	ピースツーリズム推進懇談会委員	副所長	水本 和実	H29.6.16	～ H31.3.31
広島市	企画総務局企画調整部政策企画課	広島市総合計画審議会専門部会専門委員	教授	直野 章子	平成30年1月頃から概ね2年間	
その他	財団法人放射線影響研究所	広島地元連絡協議会委員	所長	吉川 元	H27.4.1	～ H31.3.31
その他	公益財団法人日本国際問題研究所 軍縮・不拡散促進センター	平成29年度広島県委託「ひろしまレポート作成事業」委員	副所長	水本 和実	H30.2.13	～ H30.3.31
その他	自労労広島県本部	広島地方自治研究センター理事	准教授	河上 暁弘	H29.2.1	～ H31.1.31

(3) 高大連携

ア 教育ネットワーク中国における高大連携（平成 29 年度）

◆中高大連携公開講座「大学で何を学ぶか」（庄原地区）

実施日	曜日	開催時間	開催高校	内 容	人数	出席者
7/8	土	11:45 ~ 12:35	庄原格致高等学校	情報科学とサウンドデザイン	29	【情報】石光教授

イ 広島市教育委員会との高大連携講座（平成 29 年度）

◆美術分野

- 講 座 名 「立体ゾートロープ製作」
- 参 加 者 市立高等学校生徒 18名 市立高等学校教員 2名
- 日 時 平成29年8月17日(木)、18日(金)、19日(土) 10:00~17:00
- 実施場所 広島市立大学
- 内 容 フィルム映画発明以前の動画再生玩具であるゾートロープの仕掛けを利用し、軽素材で制作した連続する立体（半立体）オブジェクトによる立体ゾートロープを制作する。

ウ 高校での模擬授業の開催（平成 29 年度）

実施日	開催時間	場 所	内 容	対象者	人数	授業者
7/6 (木)	14:30 ~ 16:00	広島県立賀茂高校	模擬授業（情報）	2年生	15	岡山（情報）
7/12 (水)	14:25 ~ 15:15	広島県立可部高校	模擬授業（情報）	1・2年生	36	宮崎（情報）
7/13 (木)	14:10 ~ 15:55	広島県立広高校	模擬授業（情報）	2年生	24	永山（情報）
7/13 (木)	13:25 ~ 14:55	広島県立皆実高校	模擬授業（情報）	2年生	11	市原（情報）
7/19 (水)	14:35 ~ 15:35	広島市立美鈴が丘高校	模擬授業（国際）	1・2年生	40	高橋（国際）
7/19 (水)	14:25 ~ 15:55	広島県立祇園北高校	模擬授業（国際）	2年生	38	湯浅（国際）
7/19 (水)	14:25 ~ 15:55	広島県立祇園北高校	模擬授業（情報）	2年生	33	内田（芸術）
7/31 (月)	13:00 ~ 16:00	広島県立安芸高校	模擬授業（国際）	2年生	5	目黒（国際）
7/31 (月)	13:00 ~ 16:00	広島県立安芸高校	模擬授業（情報）	2年生	5	釘宮（情報）
8/30 (水)	9:55 ~ 10:40	広島国際学院高校	模擬授業（国際）	2年生	36	李(在)（国際）
9/7 (木)	14:20 ~ 15:10	広島県立賀茂高校	模擬授業（情報）	1年生	26	式田（情報）
9/27 (水)	14:35 ~ 15:35	広島県立呉宮原高校	模擬授業（国際）	1・2年生	12	城市（国際）
9/27 (水)	14:35 ~ 15:35	広島県立呉宮原高校	模擬授業（情報）	1・2年生	27	小寄（情報）
9/27 (水)	14:35 ~ 15:35	広島県立呉宮原高校	模擬授業（芸術）	1・2年生	13	山浦（芸術）
10/5 (木)	13:20 ~ 14:10	広陵高校	模擬授業（芸術）	1年生	24	永見（芸術）

10/18 (水)	14:30 ~ 15:30	広島県立廿日市高校	模擬授業 (情報)	1 年生	25	井上(博) (情報)
10/18 (水)	14:30 ~ 15:30	広島県立廿日市高校	模擬授業 (芸術)	1 年生	8	田中 (芸術)
10/25 (水)	16:00 ~ 17:00	広島城北高校	模擬授業 (国際)	中 3~高 3	30	常盤 (情報)
10/26 (木)	10:40 ~ 12:10	比治山女子高校	模擬授業 (国際)	2 年生	18	井上 (国際)
10/26 (木)	10:40 ~ 12:10	比治山女子高校	模擬授業 (情報)	2 年生	24	馬場 (情報)
11/2 (木)	14:20 ~ 15:10	広陵高校	模擬授業 (情報)	2 年生	28	岩城 (情報)
11/13 (月)	15:30 ~ 16:20	広島市立沼田高校	模擬授業 (国際)	1・2 年生	23	目黒 (国際)

(4) その他の連携（平成 30 年 4 月 1 日時点）

機関名	締結年月日	内容	備考
株式会社広島銀行	平成 17 年 12 月 20 日	相互協力に関する協定（具体的案件及び内容は、協議して定める。）	広島市立大学教育ローンに関する覚書（平成 19 年 10 月 31 日締結）
公益財団法人広島 平和文化センター	平成 20 年 9 月 30 日	相互協力に関する協定（具体的案件及び内容は、協議して定める。）	財団法人広島平和文化センターが所管する「ヒロシマ・ピース・ボランティアを対象とした広島市立大学の授業公開等に係る覚書」（平成 16 年 9 月 30 日締結）
広島修道大学	平成 21 年 2 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の教育に関すること ・学生の諸活動の支援に関すること ・学術研究に関すること ・地域貢献に関すること ・その他両者が協議して必要と認めること 	
広島東洋カープ	平成 21 年 3 月 10 日	国際学部「企業インターンシップ」に関する覚書	
広島大学	平成 21 年 3 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> ・共同の研究プロジェクト ・教職員の交流 ・学生の交流 ・施設の利用 ・その他必要な事項 	
広島大学、 広島工業大学	平成 21 年 9 月 7 日	大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラムの共同実施に関する協定	情報医工学プログラムの共同実施
広島市安佐南区	平成 22 年 9 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの推進 ・教育・文化・スポーツの振興及び健康づくりの推進 ・人材の育成 ・その他両者が協議して必要と認める分野 	
日本公認会計士協会 中国会	平成 24 年 7 月 31 日	<ul style="list-style-type: none"> ・双方が主催する公開セミナー等への参加 ・本学が開講する会計及び監査関連講座への公認会計士協会の講師派遣 ・定期的な相互情報交換や意見交換 	
広島大学、広島工 業大学、広島国際 大学	平成 24 年 9 月 21 日	大学間連携共同教育推進事業の共同実施に関する協定	臨床情報医工学プログラムの共同実施
長崎大学核兵器廃 絶研究センター	平成 24 年 11 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> ・核兵器廃絶、核軍縮及び核不拡散に関する情報の調査、収集及び分析 ・核兵器廃絶、核軍縮及び核不拡散に関する研究会、シンポジウム等の実施 ・収集、分析及び蓄積した文献、資料、電子情報等の活用 ・研究者の人的交流 ・その他本協定の目的を達成するために必要な事項 	

機関名	締結年月日	内容	備考
横浜市立大学ほか 10校	平成 26 年 4 月 1 日	就職支援パートナーシップ制度における パートナー大学での支援内容 ・就職支援 ・就職関連資料の閲覧 ・就職ラウンジの利用	(協定締結大学、本学を含む 全 11 校) 横浜市立大学、北九州市立 大学、静岡県立大学、兵庫 県立大学、広島市立大学、 大阪市立大学、福井県立大 学、信州大学、都留文科大 学、国際教養大学、名古屋 市立大学
呉信用金庫	平成 26 年 11 月 11 日	・地域経済・地域企業の活性化に関する事 項 ・中小企業等の新分野進出・新規事業創出 の支援に関する事項 ・中小企業等の技術および経営管理の相談 や共同事業に関する事項 ・その他前条の目的に沿った諸課題に関す る事項	
広島修道大学商学 部	平成 27 年 3 月 19 日	大学連携による新たな教育プログラム開 発・実施事業	代表校：広島修道大学商学 部 連携校：広島市立大学国際 学部
広島大学ほか 8 校	平成 29 年 1 月 23 日	COC+事業参加大学間の単位互換に関す る協定	(協定締結大学、本学を含 む全 9 校) 広島市立大学、広島大学、 尾道市立大学、広島経済大 学、広島工業大学、広島国 際大学、広島修道大学、安 田女子大学、広島商船高等 専門学校

7 国際交流

(1) 海外学術交流協定校（平成30年4月1日時点） 計18大学

	国名	締結年月日	主な交流内容
梨花女子大学校	大韓民国	平成21年3月4日	教員・学生交流 共同研究等
西京大学校	大韓民国	平成17年3月15日	
慶北国立大学校人文大学	大韓民国	平成29年11月25日	
国際関係学院	中華人民共和国	平成20年4月4日	
西南大学	中華人民共和国	平成18年11月17日	
ハワイ大学マノア校	アメリカ合衆国	平成13年1月11日	
ベルリン・バイセンゼー芸術大学	ドイツ連邦共和国	平成17年12月9日	
アラヌス大学	ドイツ連邦共和国	平成17年10月12日	
ハノーバー専科大学	ドイツ連邦共和国	平成9年5月30日	
ヴァインガルテン教育大学	ドイツ連邦共和国	平成29年12月1日	
ベルリン・フンボルト大学 (学部間協定)	ドイツ連邦共和国	平成25年9月24日	
オルレアン大学	フランス共和国	平成15年6月4日	
レンヌ第2大学	フランス共和国	平成23年10月4日	
マレーシア科学大学	マレーシア	平成29年12月21日	
エミリー・カー美術デザイン大学	カナダ	平成30年1月15日	
ブラッドフォード大学	英国	平成30年2月1日	
国連平和大学	コスタリカ共和国	平成24年11月6日	
モハメド五世大学	モロッコ王国	平成12年12月12日	

(2) 学生交流に関する覚書締結校（平成30年4月1日時点）

	国名	締結年月日	主な交流内容
上海大学	中華人民共和国	平成25年2月25日	学生交流

(3) 国際交流事業実績（平成29年度）

事業名	日程	内容	人員等
中国・国際関係学院との学術交流	学生交換 通年	学術交流協定を締結している国際関係学院との学術交流	学生受入：2名 学生派遣：0名
中国・西南大学との学術交流	教員派遣 平成29年9/6～27 学生交換 通年 学生短期派遣 平成29年9/6～27	学術交流協定を締結している西南大学との学術交流	教員派遣：1名 学生受入：2名 学生派遣：7名 (短期5名)
中国・上海大学との学生交流	学生交換 通年	学生交流に関する覚書を締結している上海大学との学術交流	学生受入：1名 学生派遣：0名
韓国・西京大学校との学術交流	学生交換 通年	学術交流協定を締結している西京大学校との学術交流	学生受入：3名 学生派遣：2名
韓国・梨花女子大学校との学術交流	学生交換 通年	学術交流協定を締結している梨花女子大学校との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：2名
ドイツ・ハノーバー専科大学との学術交流	教職員受入 平成29年5/27～6/1 学生交換 通年	学術交流協定を締結しているハノーバー専科大学との学術交流	教職員受入：9名 学生受入：5名 学生派遣：3名
ドイツ・ベルリンバイセンゼー芸術大学との学術交流	学生交換 通年	学術交流協定を締結しているベルリン・バイセンゼー芸術大学との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
ドイツ・アラヌス大学との学術交流	学生交換 通年	学術交流協定を締結しているアラヌス大学との学術交流	学生派遣：2名 学生受入：0名
ドイツ・フンボルト大学との学術交流（学部間）	学生交換 通年	学術交流協定を締結しているフンボルト大学との学術交流（情報科学部）	学生派遣：0名 学生受入：0名
ドイツ・ヴァインガルテン教育大学との学術交流（学部間）	学生交換 通年	学術交流協定を締結しているヴァインガルテン教育大学との学術交流（国際学部）	学生派遣：1名

事業名	日程	内容	人員等
フランス・オルレアン大学との学術交流	教員派遣 平成29年9/1, 9/5, 9/7 学生交換 通年	学術交流協定を締結しているオルレアン大学との学術交流	教員派遣：1名 学生派遣：0名 学生受入：1名
フランス・レンヌ第2大学との学術交流	教員派遣 平成29年9/11 学生交換 通年	学術交流協定を締結しているレンヌ第2大学との学術交流	教員派遣：1名 学生派遣：1名 学生受入：2名
アメリカ合衆国・ハワイ大学マノア校との学術交流	教員受入 平成29年8/1～8/9 学生交換 通年	学術交流協定を締結しているハワイ大学マノア校との学術交流	教員受入：1名 学生受入：0名 (短期0名) 学生派遣：2名
語学研修/ハワイ大学英語文化研修	学生派遣 平成29年9/3～9/17	アメリカ合衆国・ハワイ大学マノア校での英語文化研修	学生派遣：12名
語学研修/オルレアン大学短期語学研修	学生派遣 平成29年8/25～9/24	フランス・オルレアン大学での短期語学研修	学生派遣：10名
交流プログラム/米国サンフランシスコ・セントメアリーズカレッジの学生との交流	学生派遣 平成29年9/20～9/28		学生派遣：11名
交流プログラム/シンガポール・シンガポール国立大学の学生との交流	学生受入 平成29年12/13 学生派遣 平成30年3/1～3/8		学生受入：13名 学生派遣：19名
交流プログラム/マレーシア・マレーシア科学大学の学生との交流	学生受入 平成29年8/19～8/27 学生派遣 平成29年9/8～9/16		学生受入：20名 学生派遣：10名
韓国・慶北国立大学校からの学生受入れ	学生受入 平成30年1/7～1/28		学生受入：20名
夏期集中講座「HIROSHIMA and PEACE 2017」の開催	平成29年8/1～8/9	戦争と平和の本質を理解し、同時にグローバル化の時代における世界平和に関するより現代的な問題を探求することを目的に、国内外の大学生を対象として夏期集中講座を開催した。	国内外（学外）からの受講者19名、本学学生14名 計33名
広島平和研究所（シンポジウムの開催）	平成30年3/17～3/18	「アジアの核・ガヴァナンス・平和」をテーマに国際シンポジウムを開催し、当研究所の研究成果を市民等に公開した。	140名（学内外、両日合わせて）